

居リタリトノ名義ノ下ニ曳出シタルモノニシテ之レヲ「エンセナダ」港ニ繋留シ居ルモノナリ故ニ此問題ハ一、エム、ケー漁業会社代表者近藤政治ハ漁業権享有者須沢豊一郎氏ノ代理者ニシテ其漁業権ニヨリ業務ヲ営ムモノニシテ「カンツ」ハ之レヲ承認セザル可ラザルモノナルコト二、既ニタートル湾管轄税関マグラレナ湾税関ニヨリテ承認セラレアルコト三、「カンツ」氏ノ巡邏船「エンセナダ」ハ其管轄外タルタートル湾ニ侵入シ不法ニ Asia 号ヲ捕獲シ

且ツ管轄違ナル「エンセナダ」ニ拘繋スルコト四、アシヤ号ハ漁業ニ營業的ニ従事シ居ラズ只自己食料又ハ娯樂ノタメニ漁獲ナシタルコトアリトスルモ既ニ漁業権ヲ有スル以上密猟ノ問題ヲ惹起スルノ余地ナキモノナリ
右ノ四点ヨリ「カンツ」行為ノ不法ナルハ明瞭ナル所ナリ

事項一六 露国内政関係雑纂

四二八 二月二日

在モスコー平田総領事代理ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国首相交渉ニ関スル Utro Rossi 新聞ノ社

説報告ノ件

第四号

露国内閣議長ノ交渉ニ関シ当地新聞 Utro Rossi ハ二月二日ノ社説ニ於テ議會カ未タ再開セラレス民論亦稍々下火トナレルニ当リ此事アリタルヲ以テ意想外ナリトナシ Gorenukin 氏ノ引退ハ畢竟議會再開問題ニ関シ内閣外ノ或ル権力トノ意見ノ衝突ニ基ケルモノタルハ疑ナキ所ニシテ後任者 Shurner 氏ハ上院議員トシテ右党ニ屬スルモ近来保守の政治運動ニ荷担スルヲ避ケタルモノ從テ今回ノ就任ハ間接ニ内閣ト民間殊ニ進歩派トノ調和ニ若干ノ歩武ヲ進ムルモノナリト觀察セリ

(露都經由二月三日前一、〇五第六七号)

四二九 二月三日

在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国新首相ノ戦争遂行内政問題等ニ関スル新

聞記者ヘノ談話報告ノ件

第六四号

二月二日総理大臣「ゴレムキン」氏ハ願ニ依リ其職ヲ免セラレ Shurner 氏総理大臣ニ任セラル同氏ハ上院右党ニ屬シ知事内務省総務局長タリシコトアリ氏ハ新聞記者ニ對シ戦争終局ノ勝利ノ必要单独講和ノ不能ヲ説キタル後「平和ハ露国ノ品位ヲ保チ且露国ノ物質的及ヒ精神的發展ニ資スルモノタルヲ要ス露国カ此歴史的大目的ヲ達スルニハ国民ノ総テノ力ヲ結束シ挙国一致ノ実ヲ挙クルヲ要ス予ハ政府ト議會ト力提携シテ国事ニ当ルノ必要ナルヲ確信ス近々開カルヘキ議會ニハ單ニ予算案ノミナラス国力ニ關係スル經濟財政問題ヲモ議セシムヲ要ス外強敵ニ当ルノ今日内政ニ関スル諸問題ヲ議スルハ其ノ時期ニアラス予ハ又政府ト公共自治団体ト力協同シテ活動スルノ必要ヲ認ム政府

ハ宜シク同団体ヲシテ国家生活ニ関与セシムヘキナリ」ト述ベタリ

四三〇 二月三日

在モスコイ平田總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国首相更迭ニ関スル「モスコイ」諸新聞ノ

論評報告ノ件

第五号

往電第四号ニ関シ「ルスキヤ、ウエドモステ」二月三日社説ニ於テ新旧首相ノ政策ヲ批評シタル後露国ハ最後ノ戦捷ヲ期セザルベカラサルニ当リ官僚派ハ単ニ行政機關ヲ變改スルヲ以テ戦捷ノ要義トシ国民ハ政府ガ民論ヲ容ルルニ非サレバ戦捷ヲ期シ難シトシ斯克テ双方相疎隔セルガ如キハ大ナル誤謬ニシテ吾人ハ旧首相ノ失政玆ニ存スルヲ認ムルト共ニ新首相ニ対シ過ヲ再ビセサランコトヲ望ムト述ベ「ルスコエ、スロウオ」ハ新首相ガ此際民意ヲ重シシ相協力シテ国難ニ当ランコトヲ宣言シタルハ大ニ我意ヲ得タル所ナルモ従来政弊タル政府国民間ノ疎隔ヲ融和スルニ多大ノ困難ヲ感スベシト云ヒ半官報 Moscovskiya Uedomosti ハ新首相ノ人物議論ヲ称揚シ今回ノ交迭ハ国政ノ大局ニ何

等ノ變化ヲ齎スコトナカルヘシト論セリ

(露都經由二月三日後十一時五十三分第六八号)

四三一 二月五日

在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛

露国政況内情報告ノ件

附屬書 右調査報告書(第三)

機密往第六号

(二月二十二日接受)

大正五年二月五日

在 露

特命全權大臣男爵 本 野 一 郎(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

露国政況内情ニ関スル上田書記官調査報告書第三及進達候条御査閱相成度此段申進候 敬具

(附屬書)

露国政況内情(第三)

一、新内務大臣ノ内政策

二、内務大臣ト閣員一部ノ更迭

三、内閣方針

四、保守団會議

五、議會召集延期

六、保守団ト改進黨

七、戦争ト露国国民

八、单独平和説

九、物価騰貴及日常生活品欠乏ノ原因

一、新内務大臣ノ内政策

新内務大臣「フウォストフ」氏ハ就職後直ニ二三ノ新聞記者ニ漏ラシタル内政政策方針ノ一端ハ大体ニ於テ改進黨ノ綱領ト一致シタルモノナルヲ以テ當時世人ハ同政策ノ実現ヲ疑ヒタリ何トナレハ同政策ハ氏カ「ニゼゴロド」県知事乃至下院右党總理トシテ抱持シ又ハ発表シタル政見主義ト全然相容レサルモノナルヲ以テナリ加之上下兩院ノ右黨議員及同党機關新聞ハ氏カ新聞記者ニ漏ラシタル政策ヲ以テ一種ノ御世辭ニ過キササルモノナリト断言シ氏ヲ以テ依然我党ノ士ナリトシタリ之カ為メ識者ハ夙ニ「フウォストフ」氏ノ言ニ重キヲ置カスシテ其言ハ敢テ氏ノ肺肝ヨリ出テタルモノニアラストシタリ果セル哉氏ハ近来ニ至リテ其本色ヲ露ハシ事実上改進黨ノ要求ヲ斥ケテ保守団ノ主張ヲ容レツツアリ

二、内務大臣ト閣員一部ノ更迭

改進黨ノ綱領ニ同意ヲ表シタル内務大臣「シチエルバートフ」公其職ヲ去リ「フウォストフ」氏カ之ニ代リ内務大臣トナリテ事実上保守団ノ主張ヲ容レ而シテ總理大臣「ゴレムイキン」氏カ司法大臣「フウォストフ」氏ト共ニ閣員ノ多数ト其意見ヲ異ニシ改進黨ノ主張ヲ全然無視スルノ態度ニ出ツルヤ内閣ニ在リテ同団ニ同情ヲ寄セタル諸大臣ハ内閣ヲ去ルコトニ決セリ玆ニ於テ農務大臣「クリウオセイ」氏外二三大臣ハ辞表ヲ奉呈シ今ヤ總理ト最後マテ進退ヲ共ニセント欲スル者ハ司法大臣「フウォストフ」内務大臣「フウォストフ」兩氏外一二大臣ニ過キササルコトナレリ右諸大臣ノ辞職ハ久シク皇帝ノ嘉納セララル所トナラサリシカ昨年十月二十六日ニ至リ皇帝ハ農務大臣「クリウオセイ」氏ノ辞職ヲ嘉納セラレタリ同氏ハ内閣ノ重鎮ニシテ世人ヨリ所謂拳國一致内閣ノ總理大臣ヲ以テ目セラレタルノ人トス「クリウオセイ」氏ハ他ノ官僚ト同シク保守主義ノ士ニハ相違無キモ進歩的思想ヲ有シテ而モ内外ノ大勢ヲ詳カニセリ之カ為メ今回ノ戦争ニ際シ露国カ強敵ニ対シ勝利ヲ制セントスルニハ官民上下拳國一致ノ必要アルヲ

以テ氏ハ時勢ニ鑑ミ此際政府力改進黨ト接近スルヲ刻下ノ急務ナリトシテ在職中其意見ヲ閣議ニ提起シ閣員ノ多数ハ同意見ニ賛成ヲ表シタリト云フト雖總理大臣「ゴレムイキン」氏ハ宮中派人士ニ支持セラレテ一二閣員ト共ニ之ニ反対セリ茲ニ於テ「クリウオセイ」氏ハ其職ヲ去リ而シテ内閣ハ少数派ノ意見ニ從ヒテ保守団ト接近スルニ至レリ「クリウオセイ」氏辭職嘉納ノ翌日交通大臣「ルフロ」氏ノ辭職モ亦嘉納セラレタリ「ルフロ」氏辭職ノ原因ハ主トシテ交通行政殊ニ鉄道輸送ノ不整頓ニ關係シテ「クリウオセイ」氏ノ夫レト其趣ヲ異ニセリ然レトモ「フウオストフ」氏カ内務大臣トナリ交通行政ニ嘴ヲ容レテ交通大臣ト權限ヲ争ヒタルコトモ亦「ルフロ」氏辭職ノ原因ノ一二數ヘラルル新交通大臣「トレポフ」氏ハ新農務大臣「ナウーモフ」氏ト同シク上院右黨議員タリ「ナウーモフ」氏ハ官歴ヲ有セスト雖夙ニ農貴族會長及地方會議員トシテ多年地方行政ニ干与シ從ツテ多少農務行政ニ經驗ヲ有スルモ「トレポフ」氏ハ未タ嘗テ交通行政ニ参与シタルコト無ク鐵道輸送事項等ニ関シテハ何等ノ經驗無シト云フ

三、内閣方針

時ニ同団体カ戰時中此等ノコトニ積極的ニ一層尽力スルヲ必要ナリトシ之ヲ声言スル所アリタルニ拘ハラス全露地方及市會代表者カ其後「モスクワ」市ニ於テ連合會議ヲ開カントスルヤ政府ハ内務大臣ノ意見ニ基キ之カ開會ヲ禁シ又内務大臣ハ右代表者會議本部ニ戰地ヨリノ避難民救助事務ヲ一任スルコトヲ拒メリスノ如キ政府ノ措置ハ畢竟内務大臣カ地方自治団体ノ權能ヲ大ニスルハ露國ノ將來ニ危險ナリトノ保守団ノ綱領ヲ容レタルノ結果ニ外ナラス要之「ゴレムイキン」内閣ノ方針ハ最近ニ至リ改進黨ノ綱領ト全然背反スルニ至リタルニ反シ保守団ノ綱領ト符合スルニ至レリ

四、保守団會議

内閣力最近ニ至リ保守団ノ綱領ニ同意ヲ表スルニ至ルヤ政府ハ改進黨ト其態度ヲ全然一ニスル全露地方及市會代表者連合會カ會議ヲ「モスクワ」市ニ開クコトヲ認可セサリシニ拘ハラス保守団ニ屬スル右黨帝王派団体カ開カントスル會議ハ一々之ヲ認可シタリ現ニ此間「ペトログラード」及「ニジニノーゴロド」兩市ニ於テ右黨帝王保守派団体ハ政府ノ認可ヲ經テ大會ヲ開ケリ

歐洲戰爭發生以來今日マテ「ゴレムイキン」内閣ノ内政政策及施政ノ方針ハ朝三暮四ニシテ再々變更ヲ來シ或時ハ左ニ傾キ又或時ハ右ニ馳セタリ現ニ前内務大臣「マクラコフ」及司法大臣「シチュエグロウイートフ」兩氏在職中ニ在リテハ内閣ハ兩氏ノ説ニ從ヒ民論ヲ容ルルコトヲ欲セサリシモ兩氏カ其職ヲ去リテ「シチュエルバートフ」公カ内務大臣ニ任セラルルヤ公ハ農務大臣「クリウオセイ」氏ト共ニ極力民論ヲ容ルルノ必要ヲ主張シタリ之カ為メ内閣ハ「シチュエルバートフ」公及「クリウオセイ」氏ノ主張ニ基キ改進黨ノ綱領ニ同意シテ民論ヲ容ルルコトニ決シ其結果政府ハ議會ヲ召集スルニ至レリ然レトモ公カ「クリウオセイ」氏ト前後シテ其職ヲ去リ而シテ「フウオストフ」氏カ内務大臣ニ任セラルルニ至ルヤ總理大臣「ゴレムイキン」氏ハ司法大臣「フウオストフ」氏等ト共ニ新内務大臣ノ意見ニ同意シ茲ニ於テ内閣ハ事實上保守団ノ綱領ヲ容ルルコトナレリ

当初内務大臣「フウオストフ」氏ハ全露地方及市自治団體カ戰時傷病軍人救護、出征軍人家族戰死軍人遺族保護及避難民救助等ノコトニ関シテ既ニ尽シタル功績ヲ認ムルト同

「ペトログラード」市ニ於ケル右黨保守派団體會議ハ昨年十一月二十一日ニ開ケ議事三日ニ亘リ二十四日閉會ヲ告ケタリ同會議ニハ上下兩院ノ右黨議員帝王黨員正教僧侶等出席シ下院右黨總理「レワシヨフ」氏ハ開會ノ趣旨ヲ述ヘ前司法大臣「シチュエグロウイートフ」氏ハ議長ニ推サレテ一場ノ挨拶演說ヲナシ現内務次官「ベレッツキー」氏ハ同會議ニ出席シ内務大臣「フウオストフ」氏ヲ代表シ氏ノ名ヲ以テ祝辭ヲ述ヘタリソレヨリ會議ハ議長以下幹部員ノ選舉ヲ行ヒ而シテ其選舉ノ結果ハ左ノ如シ

大臣

議長 上院議員 シチュエグロウイートフ（前司法

副議長 下院議員 レワシヨフ（右黨院内總理）

幹事 上院議員 マクラコフ（前内務大臣）

下院議員 ザムイスロフスキー（右黨）

ドブロウイン（右黨院外總理）

右會議ニ列シタル右黨帝王黨等ノ保守派人士ハ開會三日間交々演說シテ上下兩院議員ヨリ成レル改進黨ノ主張ヲ非難スルト同時ニ全露地方及市會代表者會議并ニ戰時産業委員會ノ行動ヲ攻撃シ以テ政府力濫リニ民意ヲ容ルルハ國家

將來ノ為メ危險ナリトシテ政府ニ警戒ヲ与ヘタリ殊ニ議長及副議長ハ改進黨ノ主義綱領ヲ非難シテ同團ハ露国根本法ヲ蹂躪シ皇帝ノ大権ヲ無視シ露国ニ責任内閣ヲ要求スルモノナリトノ嚴シキ攻撃演説ヲ為セリ議長「シチュエグロウィートフ」氏ハ保守団會議ノ決議ニ基キ閉会ニ臨ミ會議ノ名ヲ以テ皇帝ニ忠誠ノ意ヲ電奏シ皇帝ハ之ニ對シ謝電ヲ下サレタリ同會議閉会後内務大臣「フウォストフ」氏力會議ニ出席シタル重ナル人士ヲ招待シテ晚餐ノ宴ヲ開キタルコトハ時節柄世人ノ注意ヲ惹キタリ

以上「ベトログラード」會議後十一月二十七日「ニジニノゴロド」市ニ於テモ亦保守団會議開カレタリ同會議ニハ下院右黨議員「マルコフ」氏等出席シ会スル者二百余人ニシテ盛會ナリシト云フ同日「マルコフ」氏ハ其演説ヲ以テ改進黨ノ主義綱領ヲ非難シ同團ヲ以テ國家ヲ亡ホスモノナリト説ケリ

五、議會召集延期

昨年八月三十日議會閉会ニ關スル勅令ニ依レハ第三次戰時議會ノ召集ハ同年十一月以前タルヘシトアルヲ以テ議會ハ遅クモ十月三十一日マテニハ召集セラルヘキモノナリシニ

リテ而モ必要ナル諸問題ヲ議スルヲ必要トシ從ツテ議會會期ノ如キモ成ルヘク之ヲ永クスルヲ希望シタルニ反シ政府ハ同院少數派タル保守団ノ主張ヲ容レ議會ヲシテ予算案以外ノ諸問題ヲ議セシメ以テ會期ヲ永クスルコトハ國家ノ為メ危險ナリトノ説ニ同意シテ第三次戰時議會ヲシテ単ニ予算案ノミヲ議セシメテ短期日ニテ議會ニ閉会ヲ命スルノ決心ヲ有セリコレ即チ政府力年度予算案ノ審査未タ終ラサルコトヲ口実トシテ議會ノ召集ヲ延期シタル所以ナリ然レトモ下院ノ多數黨ハ議會ヲ一日モ早ク召集スルコトヲ希望スルヲ以テ同院予算委員會ハ右議會召集延期ニ關スル勅令下ルニ至ルヤ議會速開ノ目的ヲ以テ案ノ審査ヲ急キ其結果今ヤ予算案ノ審査終リタルヲ以テ政府ハ近々議會ヲ召集スルノ已ムヲ得サルニ至ルヘシト雖未タ之カ召集期日決定スルニ至ラス

六、保守団ト改進黨

保守団及改進黨ハ露国政界現代ノ二大勢力トス兩者ハ固ヨリ内政問題ニ關シテハ互ニ其主義目的ヲ異ニシ其政見氷炭相容レサルナリ此両団中前者ハ野ニ在リテハ勢力無シト雖宮中及府中ニ根拠ヲ有シ從ツテ内閣ニ對スル其勢力實ニ侮

拘ハラス政府ハ議會ヲ召集セハ上下兩院ノ大多數ヨリ成ル改進黨カ其主義綱領ノ実行ヲ政府ニ迫ルヘキヲ以テ之ヲ召集スルヲ欲セサリ然レトモ政府ハ議會ヲシテ年度予算案ヲ査定セシムルノ必要アルヲ以テ無制限ニ之カ召集ヲ延期スルヲ得サルト同時ニ理由無シニ召集ヲ延期セハ民心激昂スヘキヲ以テ其後政府ハ理由ヲ具シテ之カ召集ヲ延期シテ政府ニ議會召集ノ意アルコトヲ國民ニ知ラシムルコトニ決セリ其結果昨年十一月二十三日皇帝ハ勅令ヲ以テ議會召集延期ヲ命シ同時ニ上下兩院議長ニ特ニ詔勅ヲ下シテ召集延期ノ理由ヲ宣セリ

右勅令及詔勅ニ依レハ政府力議會ノ召集ヲ延期スルニ至リタルノ理由ハ戰時多忙ニテ政府力年度總予算案ノ編纂ニ後レタル結果トシテ下院予算委員會カ未タ同案ノ審査ヲ終ルニ至ラサルカ為メナリトアリ然レトモ此理由ヤ一種ノ口実ニシテ其真ノ理由ハ議會召集セラルルニ至レハ改進黨カ其主義及綱領ノ実行ヲ政府ニ迫ルノ危險アリトノ保守団ノ意見ニ政府力同意シタルノ点ニ外ナラス

下院多數黨タル改進黨ハ社会労働団ト同シク第三次戰時議會ニ於テハ予算案以外ニ直接又ハ間接ニ戰爭継続ニ關係ア

ルヘカラサルモノアリ又後者ハ宮中ニハ勿論府中ニ於テモ亦勢力無シト雖民間殊ニ地方及市自治団体并ニ商工業者間ニ大ナル勢力ヲ有ス

以上二勢力ノ外ニ露国ニ於テハ社会民主労働団ナルモノアリト雖同團ハ職工労働者間ニ勢力ヲ有スルノミニシテ未タ農民間ニ何等ノ根拠ヲ有スルニ至ラス從ツテ同團ハ將來ハ兎モ角現在ニ於テハ右二大勢力ト匹敵スルニ至ラス然レトモ同團カ近年農民間ニ勢力ヲ扶植スルノ方法ヲ講シツツアルト同時ニコレマテ露国民族ノ主要部分ヲ占ムルニ拘ハラズ政界ニ於テ零点以下ニ位シタル農民カ近年露国政界ノ一大勢力タルノ域ニ進ムノ傾向ヲ顯ハシタレハ社会民主労働団モ今度ノ戰爭ノ結果如何ニ依リテハ將來意外ニ大勢力ヲ得ルノ機會ニ遭遇スルヤモ亦知ルヘカラサルナリ要之刻下露国政界ノ二大原動力ハ保守及改進黨兩団ニシテ而モ兩団ノ勢力ハ互ニ消長アリ

右保守及改進黨兩団ノ對内閣關係ヲ案スルニ一時改進黨ノ勢力ハ内閣ヲ左右シタリシモ最近ニ至リテハ内閣ハ保守団ニ左右セラルルニ至レリ茲ニ於テ政府ハ直接又ハ間接ニ保守団ヲ支持シ其結果上院改進黨ニ屬スル中央黨ニ席ヲ有シテ

而モ常ニ其時ノ形勢ヲ見テ態度ヲ左右スル官僚議員ニシテ同党ヲ脱シテ右党ニ入党シタル者無シトセス加フルニ政府ハ上院右党ノ勢力ヲ増サシメンカ為メ右党ニ属スヘキ人士ヲ勅選議員ニ任命シタルカ為メ昨今保守団ノ勢力ハ改進黨ノ夫レヲ凌駕シテ保守団ノ主張ハ一々内閣ノ容ルル所トナル有様ナリ斯ノ如ク保守団ハ政府ニ支持セラレテ自由ニ活動スルヲ得ルニ反シ改進黨ハ政府ヨリ運動ヲ禁セラルルニ拘ハラス改進黨ノ民間ニ於ケル勢力ハ偉大ナルヲ以テ改進黨ハ議會召集ニ至レハ自然再ヒ多少ノ活動ヲ試ミルニ至ルヘシ然レトモ同団ノ活動ハ直接ニ保守団ニ対スル大々的打撃ナルヲ以テ保守団ハ政府ヲシテ第三戰時議會ノ会期ヲ可成の短クシテ改進黨ノ活動ヲ妨止セシムルコトニ協力奔走スルニ至ルヘシ

七、戦争ト露国民

今回ノ歐洲大戦争ハ英仏同盟軍諸國ニ於ケルト同シク露國ニ於テモ亦全國民のナリ之カ為メ露國國民ハ其民族階級宗教ノ如何ニ拘ハラス又政見主義目的ノ異同ヲ問ハス当初ヨリ自國政府カ独逸ト開戦シタルコトヲ歡迎シテ此戦争ヲ是認セリ現ニ今度ノ戦争ヲ是認シテ政府ヲ支持スルモノハ嘗

考シタリト云フ然ルニ今度ノ戦争ハ右ノ原則ト全ク正反對ニ出テテ外寇ハ内乱ヲ一掃セリ現ニ開戦前露國ニ行ハレタル労働者及職工等ノ所謂政治的同盟罷工ハ独逸カ露國ニ宣戦ヲ布告シタルト同時ニ自カラ消滅シテ露國ニ愛國の示威運動發生セリ

斯ノ如ク外寇カ内乱ヲ一掃スルニ至リシ原因ハ頗ル複雑ニシテ就中内部ノ原因換言スレハ改進黨自由及社会労働諸黨ノ政府反對党カ政府党ト共ニ戦争ニ関シテ政府ヲ支持スルニ至リタル所以ハ本戦争カ露國將來ノ運命ニ関スル大戦争ナルカ為メナリト雖尚其他特殊ノ理由ハ第一帝權ノ大ナル独逸皇帝ノ政府ト提携シテ神聖同盟ヲ再興シ民主主義ヲ圧スルノ目的ヲ有スル官僚政府カ民主主義ノ敵タル「ウィルヘルム」二世ノ政府ト國交ヲ断絶シ而モ露國カ露國ヲ以テ自己ノ一種ノ經濟の殖民地トスル独逸ト戦争スルカ為メニシテ第二露國國民カ自國ノ兵力ニ対シ過度ノ信用ヲ払ヒ以テ戦争ハ当然ニ而モ容易ニ自國軍ノ勝利ニ歸シテ早ク決着シ到底永統セサルヘシトノ觀察ヲ下シタルノ結果政府反對党カ此際寧ロ政府ヲ支持シ戦後之カ支持ノ代償トシテ政府ヨリ一定ノ改革ヲ要求スルノ勝レルニ如カストノ見解ヲ下シ

ニ政府党タル保守派ニ止ラスシテ又政府反對党タル改進黨由及社会諸黨モ亦之ヲ是認シテ戦争ノコトニ関シテハ政府ヲ支持セリ尤モ社会党ノ一部ハ当初此戦争ヲ否認シタリト雖同黨議員拘引事件以後同黨員ノ多數ハ労働党ト共ニ之ヲ是認シ今ヤ同黨領袖トシテ内外ニ其名高キ「ブレハーフ」「ブルチエフ」諸氏ハ其著書又ハ談話ヲ以テ熱心ニ戦争繼續説ヲ主張スルニ至レリ

元來露國國民ハ各々其民族階級宗教風俗習慣等ヲ異ニスル關係ヨリシテ兎角一致ヲ欠キテ互ニ相軋轢シ而シテ政府ハ「露國ハ露西亞民族ノ露國ナリ」トノ狹隘ナル國民主義ヲ以テ或民族及階級換言スレハ國民ノ少數ニ厚クシテ其他ノ諸民族階級換言スレハ國民ノ多數ニ薄キ政策ニ出デタリ之カ為メ國民ノ大多數ハ現制度ヲ喜ハスシテ常ニ政府ヲ敵視シ以テ現制度打破ノ機會ヲ待テリ此等國民ノ大多數カ現制度打破ノ目的ヲ達シ得ル唯一ノ機會ハ政府カ事ヲ外ニ構ヘテ内ヲ顧ミルノ暇ヲ有セサルノ時ニシテコレ即チ露國ニ於テハ外寇ハ内乱ヲ醸サシムルヲ以テ原則トスル所以ナリ此事ヤ日露戦争當時ノ實例ニ徴シテ明白ニシテ又今度独逸カ露國ニ対シ宣戦布告スルニ際シテモ独逸ハ予メ此原則ヲ勘

タルカ為メ外ナラス

然ルニ其後戦争カ露國國民ノ予想ニ反シ露國ノ意ノ如クナラスシテ独逸ニ利アリ而モ露國カ独逸ニ対シ勝利ヲ制スルニハ尚多大ノ決心ト犠牲トヲ要スルコト明白トナルト同時ニ戦争ノ終局ハ前途遼遠ナルコト明了ナルニ至ルヤ政府反對党ノ政府ニ対スル態度ハ自ラ一変スルニ至レリ茲ニ於テコレ迄戦争ノ事ハ之ヲ一切政府ニ一任シテ軍備ノ点ニ関シ政府ヲ信用シ以テ政府ヲ支持シタル政府反對党ハ今ヤ此事ヲ政府ニ一任スルヲ危險トシテ英仏諸國ニ於ケルト同シク國民ノ信用アル人士ヲ内閣ニ入レ政府ヲ改造シテ現制度ヲ一変シ上下官民挙國一致以テ兵器彈藥ヲ充分ニ準備シ戦争ヲ永ク繼續シテ最後ノ勝利ヲ必要トシ就中社会民主労働黨員中ニハ他ノ目的ノ為メ戦争繼續ヲ必要トスル者アルニ至レリ

右政府反對党ノ主張ノ全部ハ政府之ヲ容ルルヲ欲セサリシト雖其一部ハ政府ニ容レラレ其結果國民ハ兵器彈藥ノ供給事務ニ直接關係スル所トナレリ茲ニ於テ保守派人士中ニハ國民カ兵器彈藥供給事務ニ直接關係スルヲ好マサル者多ク而シテ此等人士ハ政府カ兵器彈藥ノ供給事務ニ直接國民ヲ

關係セシメタル以上ハヨシヤ露国カ独逸ニ対シ勝利ヲ制シタリトシテモ政府反対党ハ国民力之ニ關係シテ政府ヲ支持シタル代償トシテ戦後政府ニ内政改革ヲ迫ルノ危険アリトセリ保守派人士ノ一部ハ独逸カ敗戦シテ「ウィルヘルム」二世ノ政府カ倒ルル場合ニハ民主主義ハ露国ニ於テモ亦跋扈シ来リテ遂ニハ露国伝来建国ノ基礎危クナルニ至ルヘシトノ意見ヲ有セリ此故ニ彼等一部人士中ニハ当初戦争ニ賛成シタルニ拘ハラス内心ニ戦争ノ継続ヲ好マサル者アリト云フ然レトモ露国国民ノ大多数ハ既ニ戦争継続説ニ一致シ而シテ戦争継続ナル言葉ハ露国国民ノ一種ノ旗号トナリ居レルヲ以テ之カ継続ヲ好マサル者ト雖口ニハ戦争継続説ヲ称シ居レリ尤モ保守派人士ノ大部分ハ夙ニ大勢ヨリ打算シテ政府カ独逸ト平和ヲ締結スル場合ニハ国民ノ大多数ハ之ニ反対スヘキヲ以テ此際政府ハ国民力平和締結ヲ主張スルニ至ラサル限り戦争ヲ継続シテ独逸ニ対シ必勝ヲ期スルノ外無シトノ意見ヲ有スルモノノ如シ

右ハ露国ノ民衆ヲ指導シテ国民一般ノ意向ヲ表示シ輿論ヲ基成スル所謂政府党(保守派)及政府反対党(改進黨自由及社会民主派)ノ兩意見ニシテ必ズシモ民衆其者ノ意向ニア

改進黨ナルモノヲ組織シ茲ニ於テ国民改進黨ハ其左ニ位スル中央党ト共ニ事実上政府反対ノ側ニ立チテ十月改進黨自由諸党ト相共ニ改進黨ヲ組織シ以テ社会党ト同シク政府反対党トナルニ至レリ尤モ社会党ハ改進黨トハ各々互ニ異リタル自己ノ大目的ヲ有スルノミナラス改進黨中ニ於テモ亦立憲民主党ト国民改進黨トノ間ニ大ニ其目的ヲ異ニスルモノアルコト勿論ナリ故ヲ以テ戦争継続ニ関シテモ嘗ニ改進黨ト社会民主労働団トノ間ニ其目的ノ相違アルノミナラス又改進黨中ニモ諸党ハ各々其目的ヲ異ニセリ故ヲ以テ戦争カ終局ヲ告クルマデニハ露国国民ノ戦争ニ対スル態度ハ多少變更ヲ来サヤモ知ルヘカラサルナリ殊ニ保守団カ戦争継続ヲ必要トスルノ目的ハ改進黨ノ夫レト根本的ニ相違アルノミナラス又改進黨カ之ヲ必要トスル目的ト社会労働団ノ夫レトノ間ニモ大ニ軒輊アリ自由改進黨人士ニ曰ハシムレハ保守団中ニハ露独逸三帝神聖同盟再興論者アリテ此等論者ハ皇室擁護現制度維持ノ為メ独逸トノ单独平和ヲ希望スルモ保守団ノ大部分ハ政府カ独逸トノ单独平和ヲ締結セハ輿論ハ政府ニ反対シ而シテ政府反対党タル社会民主及労働党ハ之ヲ機會トシテ革命ヲ企ツヘキヲ以テ单独平和ハ反ツテ皇

ラサルナリ露国ニ於テハ民衆ハ政治生活ニ慣レサルヲ以テ實際自ラ意見ヲ有セスシテ従ッテ未タ輿論ヲ基成スルノ域ニ達セス故ヲ以テ政府党ノ勢力大ナレハ民衆ハ同党ノ説ニ左袒シ又露国反対党ノ勢力偉ナレハ政府反対党ノ説ニ同意スルヲ常トス然レトモ近年民衆カ国民自覺心ヲ發起シ来リテ多少政治的生活ニ慣ルルニ至リシハ事実ニシテ殊ニ今回ノ戦争ハ露国民衆ヲ著シク覺醒セシメタリ現ニコレ迄唯々諾々トシテ官憲ノ命ニ服シタル農民ハ輓近ニ至リテ權利義務ヲ説キテ濫リニ地方官ノ威令ニ服スルコトヲ拒ミ又露国正教ノ保護者タル皇帝ヲ崇敬スルノ余リ皇帝ニ対シテ崇敬心ヲ有セサル者ハ天罰ヲ蒙ルモノト心得タル農民ハ今ヤ皇帝ヲ公然惡口非難スルニ至レリ併シ乍ラ民衆ハ今尚ホ輿論ノ外ニ立チテ単ニ風潮ニ伴ハレテ其態度ヲ左右ニシツツアルモノナルヲ以テ今回露国国民ノ戦争ニ対スル態度如何ヲ詳カニスルニハ下院ニ於ケル政府党及政府反対党ノ之ニ対スル態度如何ヲ明カニスルヲ要ス又下院ニ於ケル諸党ノ政府ニ対スル關係ハ歐洲戦争開始後多少ノ變更ヲ来シタリ現ニ戦争前ニ政府党タリシ十月党カ今ヤ政府反対党ト化シタルノミナラス国民党ノ一半モ亦同党ヨリ分離シテ更ニ国民

室擁護現制度維持ノ為メニ害アルノミナラス露国カ独逸トノ单独平和ヲ締結スル場合ニハ英仏兩國ハ戦後露国ニ必要ナル財政上ノ援助ヲ与ヘサルヘキヲ以テ露国ハ大ニ困難ノ地位ニ立至ルヘシトノ見地ヨリシテ兎モ角モ露国カ戦争ヲ継続シテ独逸ニ対シテ勝利ヲ制スルコトヲ以テ刻下ノ第一急務ナリトセリト要之露国ニ於テハ将来ハ之ヲ別問題トシテ現在ハ右ハ保守党ノ多数ヨリ左ハ社会民主党ニ至ルマテ戦争継続説ニ一致セリ

八、单独平和説

戦争継続説ハ現在露国ノ輿論ニシテ一般ニ平和説特ニ独逸トノ单独平和説ヲ唱フル者ハ社会ヨリ国賊ヲ以テ目セラルルノ形勢ナルヲ以テ何人モ今日同説ヲ唱フル者無シ然レトモ内心ニ於テ一般ニ平和締結ノ一日モ速カナランコトヲ祈ル者乃至独逸トノ单独平和ヲ希フ者無キヲ保シ難シ内心ニ一般ノ平和締結ヲ欲スル者ハ物価騰貴ノ為メ生活ニ困難スル中流社会ノ家庭ニ之ヲ認ムルヲ得ヘク又同シク内心ニ独逸トノ单独平和ヲ希望スル者ハ之ヲ露国臣民タル独逸民族中ニ之ヲ求ムルヲ得ヘシ

元来露国臣民タル独逸民族ハ露国ニ於テ他ノ民族ニ比シ優

越ノ位置ヲ占メ殊ニ「バルチック」沿岸諸貴族男爵連ハ現露国皇室ノ擁護者ヲ以テ自ラ任シ從ツテ特權ノ位置ヲ有セリ独逸民族カ露国ニ於テ斯ノ如キ優越特權ノ位置ヲ有スルニ至リタル原因ハ種々ナリト雖露国力隣邦トシテ強大ナル独逸民族ノ国タル独逸ヲ有シテ而モ此独逸ニ対シ精神及物質のニ始終一步譲リ居リタルコトモ亦之カ原因ノ一タリ現ニ今度露国力独逸ト開戦スルニ至ルヤ露国ニ於テハ排独運動發生シ露国ハ精神及物質のニ独逸ニ讓歩ヲ肯ンセサルコトトナリ其結果コレマテ露国ニ於テ臣民トシテ他ノ民族ニ比シ優越ノ位置ヲ占メテ而モ特權ヲ有シタル独逸民族ハ他ノ民族ニ排斥セラレ今ヤ「バルチック」沿岸地方ニ於テ独逸民族殊ニ地方貴族男爵連ノ一種ノ奴隸タル「ラツィシ」及「エストン」兩民族ハコレ迄自己ノ主人タリシ貴族男爵ニ反抗ノ余リ連中ヲ譏謗シテ以テ所謂独探ナリトシテ露国官憲ヲシテ西伯利其他辺境地ヘ放逐セシムルヲ見ルニ至レリコレ即チ露国臣民タル独逸民族カ独逸トノ戦争ヲ喜ハスシテ内心独逸ト單獨平和ヲ希望スルニ至リタル所以ナリ

右ノ外ニ同シク自由改進黨人士ノ言ニ依レハ露国ニ於テハヲ締結スルコトヲ希望スルトシテモ今日トナリテハ此種ノ單獨平和ヲ實現セシムルコトハ實ニ難事タルノミナラス又危險ノ業タルヘキヲ以テ此等保守派人士ノ多數ハ實際自由改進黨及社会諸党派人士ト同シク戦争繼續説ヲ主張シテ兎モ角モ露国力独逸ニ対シテ勝利ヲ制スルヲ必要トセリ要之刻下内外政諸問題ニ関シ保守団ノ主張意見ヲ容レツツアル露国政府ノ急務トスル所ハ勝戦ノ一事ニシテ現ニ世評ニ依レハ露国朝野保守派人士ノ大多數ハヨシ露国カ国民ノ力ニ依リテ勝利シタリトスルモ勝利サヘ制スレハ善後策ハ之ヲ如何ニモ講スルノ方法アリテ現制度維持及皇室擁護ノ目的ヲ達シ得ヘキヲ以テ切ニ肝要ナルハ戦争ヲ繼續シテ之ニ勝利ヲ制スルニ在リトノ意見ヲ有スト云フ斯ノ如ク現在戦争繼續説ハ有力ニシテ之カ為メ單獨平和説ハ到底實現シ得サルハ刻下ノ状態ナリト雖改進黨及自由派諸新聞ノ党派の觀察ニ依レハ内心ニ獨逸ト單獨平和ヲ希望スル人士中ニハ其目的ヲ達センカ為メ現在裏面ニ於テ運動スル者アリテ此等人士ハ一方ニ於テハ單獨平和實現ノ機會ヲ作ルコトニ工夫シツツアルト同時ニ又他方ニ於テハ之カ機會ノ到来ヲ待チツツアリト云フ然レトモ此種ノ人士ハヨシ有ルトシテモ未タ今

露国ヲ以テ今尚ホ君主独裁專制ノ国ナリトシテ伝来ノ政体ヲ露国ニ必要トスル保守派人士ノ一部ハ内心ニ露国力独逸ト單獨平和ヲ締結スルヲ希望ス而シテ此等人士カ之ヲ希望スル所以ハ露国力若シ此戦争ニ敗レンカ国民ハ今度ノ戦争ノ始末ニ関スル一切ノ罪ヲ政府ニ嫁シテ革命ヲ起シ以テ現制度ヲ破壊スルニ至ルヘク又ヨシヤ露国力勝戦シタリトシテモ政府カ既ニ国民ヲ兵器彈藥供給事務ニ関与セシメタル以上ハ其勝利ハ早ヤ既ニ政府ノ独力ニ依リタルモノニアラスシテ畢竟國民ノ援助ニ依リテ成リタルモノナルヲ以テ國民ハ戦後之ニ対シ政府ニ現制度ノ變更ヲ要求スヘク此事ヤ現制度維持論者ニ対スル大打撃ナルカ為メ此等人士ハ独逸民族殊ニ「バルチック」沿岸地方貴族男爵連ト互ニ氣脈ヲ通シテ共ニ皇室擁護ノ為メ今ノ中ニ早ク露国力独逸ト單獨平和ヲ締結スルコトヲ希望シテ内々排英説ヲ鼓吹シツツアリト然レトモ此自由改進黨人士ノ言ハ針小棒大ノ嫌アルノミナラスヨシヤ此等人士ハ此種ノ運動中ナリトスルモ現在ニ於ケル内外ノ事情ハ露国力独逸ト單獨平和ヲ締結スルヲ許ササルヘシ之カ為メ保守派人士ノ多數ハヨシヤ同派一部ノ人士ト同シク現制度維持上内心ニ露国力独逸ト單獨平和

日ハ極メテ少数タルヘキヤ勿論ナリ故ヲ以テ此等人士ノ勢力ハ固ヨリ未タ微々タルモノニシテ政府ヲ動かスノ力無カルヘシ去リ乍ラ同人士ハ官僚トシテ多ク宮中及府中ニ縁故ヲ有スルヲ以テ改進黨及自由派新聞ノ右觀察ヲモ之ヲ一笑ニ附スルコト無クシテ之ヲ顧慮シ以テ同人士等ノ運動ニ注意ヲ払フモ亦無用ノコトニアラサルヘシ

改進黨及自由派人士ノ觀察ニ曰ク独逸トノ單獨平和ヲ希望スル人士カ其自己ノ目的ヲ達スルニ足ルトスルノ好機會ハ國民カ一般ニ戦争ニ飽キテ自ラ平和ヲ号ヒ出スニ至リタル場合カ又ハ國民カ政府ニ反対シテ積極的ニ反抗運動ヲ試ミ以テ内乱ヲ企ツルニ至リタル場合カ此兩者ノ何レカノ一ツトス以上兩者ノ中ニ就キ單獨平和論者ノ最も希望スル所ハ國民カ戦争ニ飽キテ自ラ平和ヲ締結ヲ政府ニ迫ルニ至ルノ場合ニシテ國民カ政府ニ反旗ヲ翻シテ内乱ヲ企ツル場合ハ同論者ノ余リ欲セサル所ナリ何トナレハ國民カ内乱ヲ企ツル場合ニハヨシヤ政府ハ内乱鎮定ヲ名トシ外敵ト平和ヲ締結スルヲ得ルトシテモ内敵ト開戦スルノ必要アルヲ以テナリ然レトモ内敵トノ戦争ハ比較的容易ノ業タルヘキヲ以テ單獨平和論者中ニハ自己ノ目的ヲ貫カンカ為メニハ已ムコト無

クンハ国民ニ内乱ヲ挑発セシメ而シテ政府ヲシテ此内乱ヲ機会トシテ講和セシムルモ可ナリトノ極端説ヲ抱ク者無シトセスト

右觀察ニ多少ノ真理アルヤ勿論ニシテ現ニ昨秋「モスクワ」騒動當時労働者職工等カ政治的大同盟罷工ヲ企テントスルノ傾向アルニ至ルヤ十月乃至立憲民主諸党ノ領袖等ハ労働者職工等間ニ勢力ヲ有スル下院労働及社会民主両党領袖ヲ通シテ労働者及職工等ニ諭サシムルニ独逸ト单独平和ヲ欲スル保守派人士ハ内政鎮定ヲ名トシ政府ヲシテ独逸ト单独平和ヲ締結セシメ而シテ政府カ单独平和ヲ締結スルノ已ムヲ得サルニ至リタルノ罪ヲ国民殊ニ労働者及職工等ニ嫁セントスルヲ以テ此際労働者及職工等ハ政治的同盟罷工ノ挙ニ出ツルコト無クシテ須ラク謹重ノ態度ニ出ツルヲ要ストノコトヲ以テシタリト云フ

又同シク改進黨自由派人士ノ觀察ニ曰ク单独平和論者ハ前記兩場合ノイツレニ於テモ政府カ独逸ト单独平和ヲ締結スルノ已ムヲ得サルニ至リタルノ罪ヲ国民ニ嫁スルヲ得ヘシト雖国民カ内乱ヲ企ツル場合ニハ頗ル危険多キヲ以テ此等論者ハ成ルヘク此場合ヲ单独平和締結ノ機会トスルコトヲ避

度ヲ加フル場合ニハ苦痛ノ余リ国民カ公然平和ノ希望ヲ表示スルニ至ラストモ保シ難シ故ヲ以テ露国ノ愛国家ハ政府及自治団体ニ注意シテ日用生活品ノ供給物価引下等ノコトニ関シ政府及自治団体ヲシテ極力奔走セシメツツアリ露国ハ農産国トシテ日用生活品ノ本場原産地ナルニ加ヘコレ迄独逸其他外国ニ輸出セラレタル穀物食肉バター等ハ輸出禁止品トナリタルヲ以テ露国ニ此種日用生活品ノ欠乏ヲ来スカ如キハ平時何人モ之ヲ想像シ得サリシ所ナリ然ルニ事實ハ之ニ反シ「ペトログラード」「モスクワ」其他諸市ニ於ケル日用生活品ノ欠乏ハ甚シキ程度ニ達セリ而シテ其事ノ茲ニ至リシ原因ハ当局者ノ措置其宜シキヲ得サリシ結果ニシテ固ヨリ惡意ニ出テタルモノニアラサルヤ勿論ナリ然レトモ事余リ極端ナルヲ以テ世間ニテハ政府カ单独平和論者ノ説ヲ容レ国民ヲシテ生活ニ困難ノ余リ平和締結ヲ絶呼セシメンカ為メ故意ニ生活ヲ困難ナラシムルモノナリトノ疑念ヲ抱ク者無シトセス

右世人ノ疑念ハ固ヨリ偏見ニシテ事ノ真相ヲ得タルモノニアラサルヘシト雖種々雑多ノ民族ヲ包含スル露国国民中ニ独逸トノ单独平和ヲ希望スル人士アルヘキコトハ免カルヘ

ケテ国民カ戦争ニ飽キテ自ラ平和締結ヲ主張スルニ至リタル場合ヲ以テ自己ノ目的ヲ達スルノ好機会ナリトセリ之カ為メ单独平和論者ハ一方ニハ国民カ平和締結ヲ主張スル場合ノ実現ヲ待ツト同時ニ又他方ニハ国民ヲシテ戦争ニ飽カシメ以テ平和締結ヲ主張スルニ至ラシメンカ為メ陰然政府部内ノ同志ト策ヲ廻ラシツツアリト

右觀察ハ頗ル極端的ニシテ政府カ右論者ト共ニ陰然策ヲ廻ラシツツアリトノ見ハ固ヨリ党派の偏見ニ外ナラサルヘシ然レトモ多少ニ拘ハラズ露国内ニ内心独逸トノ单独平和ヲ希望スル者アルコトハ蔽フヘカラサルノ事實ニシテ現ニ「ワシリチコワ」嬢ノ单独平和運動ハ之カ好実例ナリ

輓近露国ニ於ケル物価騰貴日用生活品ノ欠乏ハ露国中等以下ノ国民ヲ苦痛ノ境遇ニ陥ラシムルモノニシテ現ニ「ペトログラード」及「モスクワ」兩市ニ於ケル日用生活品ノ欠乏ハ著大ノ事實トス之カ為メ市民ハ日ニ増シ生活ニ困難シ其結果中等以下ノ家庭ニテハ平和ヲ希望シテ此希望ヲ耳語スル者少ナカラス然レトモ此事ヤ未タ家庭内ノ耳語ニ過ギスシテ何人モ未タ公然ニ平和締結ヲ希望ヲ表示シタル者無シ乍併斯ノ如ク日用生活品カ欠乏シテ其価格ノ騰貴日々其

カラサルコトナルヘシ然レトモ此等人士中ニハ未タ何人モ公然单独平和説ヲ唱ヘ又ハ单独平和運動ヲ試ミタル者無クシテ単ニ維納ニ在リシ露国宮中女官ノ称号ヲ有スル「ワシリチコワ」嬢カ独逸皇帝ヨリ露国高貴ニ宛テラレタル御親書ヲ携ヘ歸朝シ来リテ独逸トノ单独平和運動ヲ舉行シタルノ一事アルノミ然レトモ其運動ハ遂ニ成功スルニ至ラスシテ嬢ハ女官ノ称号ヲ剝奪セラレ目下其所領地ノ在ル「ハリコフ」県内ニ幽閉中ナリ

コレヨリ先キ宮中府中及在野保守派人士間ニ独逸トノ单独平和運動行ハレツツアリトノ風説巷間ニ伝ヘラルルニ至ルヤ上下兩院ノ改進黨中ニハ不安ノ念ヲ抱ク者多ク其結果下院予算委員會ニ於テハ外務省予算審査ニ際シ本件ニ関シ議員ノ側ヨリ政府委員ニ質問提起セラレタリト云フ

独逸カ露国ト单独平和締結ノ目的ヲ以テ極力運動中ナルコトハ公然ノ秘密トス露国政府ニハ断シテ单独平和ノ意無シト再三外務当局者ヨリ声明セラレタルニ拘ハラス輓近ニ至リテ又々独逸单独平和ニ関スル風説内外ニ伝ヘラルルニ至レリ茲ニ於テ此間露国皇帝ハ右風説ヲ否定スルノ目的ヲ以テ親兵式ニ際シ「ゲャルギー」勳章佩用ノ兵士一同ニ向ヒ

詔語ヲ下シ其中ニ朕ハ敵軍カ悉ク露國領土内ヨリ驅逐セラレサル限り平和ヲ締結セス又朕ハ聯合軍諸國ト協同一致ノ上ナラテハ平和ヲ締結セス露國ハ聯合軍諸國ト舊ニ條約ヲ以テ其關係ヲ設定スルノミナラス真誠ナル親交及流血ヲ以テ之カ關係ヲ聯結セリト宣セラレ今又皇帝ハ年始ニ際シ陸海軍人一般ニ詔語ヲ下シ以テ同意味ノコトヲ宣セラレタリ

九、物価騰貴日用生活品欠乏ノ原因

日用生活品ノ欠乏及物価騰貴ニ関シ善後策ヲ講スルノ方法如何ハ昨今露國ノ一大問題トス生活品ノ欠乏及物価騰貴ハ都市殊ニ「ベトログロード」ニ於テ最モ甚シキ程度ニ達セリ而シテ其原因ハ鉄道ノ貨車不足シテ輸送力不足ナルコトニ在リテ其事ノココニ至リシ所以ハ畢竟行政組織ノ欠点殊ニ交通省当局者カ無能ニシテ措置ヲ過リタルニ在リ之カ為メ交通大臣「ルフロフ」氏ハ其責ヲ負ヒテ其職ヲ去リ「トレポフ」氏之ニ代リテ交通大臣トナリタルニ拘ハラス鉄道ノ輸送力ハ未タ依然トシテ不足シ從ツテ日用生活品ハ產地ヨリ消費地ニ輸送セラルルニ至ラス之カ為メ市民ハ大ニ困難シ而シテ此困難カ永ク継続セハ市民ハ不平ヲ鳴ラシ其結果

露国首相更迭ニ関スル「モスコ」新聞論調

訳報ノ件

附屬書 右新聞論調摘訳

政第二〇号

(三月十三日接受)

大正五年二月八日

在莫斯科

總領事代理 平 田 知 夫 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

当国内閣議長更迭ニ対スル当地新聞論調ニ関シテハ本月二日發往電第四号及同三日發往電第五号ヲ以テ報告ニ及ヒ置候処更ニ右摘訳別紙ノ通り差進候間御閱覽相成度此段申進候 敬具

(附屬書)

露国首相更迭ニ関スル「モスコ」新聞論調摘訳

(一) 大正五年二月三日「ウートロ、ロシイ」紙社説「ゴレムイキン」老首相ノ辞任ト「シユチュメル」氏ノ新任ハ意想外ノ出来事ニシテ曩ニ内閣改造ヲ要求シタル国民議會ガ無為ノ地位ニ置カレ之ニ加担シタル輿論ガ前線ノ戰況ト共ニ沈静ニ傾ケル際ニ於テ殊ニ一時下院議長ガ議會

民論ニ變調ヲ來シテ國民ハ苦痛ノ余リ或ハ一揆ヲ起シ又ハ平和ヲ号ビ出スニ至ルヤモ亦計リ難シ故ヲ以テ愛國家有志者ハ善後策ヲ講スルヲ必要トシテ大ニ運動中ナリ

斯ル形勢ナルヲ以テ新内務大臣「フウォストフ」氏ハ物価騰貴日用生活品欠乏ニ関シ善後策ヲ講スルコトヲ以テ就職後第一ノ任務トシテ之ヲ其施政方針ノ一ニ數ヘタルモ都市ニ於ケル日用生活品ノ欠乏及騰貴ハ日ニ増シ甚シキ程度ニ達シ現ニ「ベトログロード」市ニ於テハパン粉牛肉砂糖バター塩牛乳等大ニ欠乏シ今ヤ開戰当初独逸ヲ糧食攻メニスヘシト放言シタル露國國民ハ国内ニ糧食ヲ有シ乍ラ貨車欠乏ノ為メニ糧食ノ欠乏ヲ感シ自ラ糧食攻メニ遇フニ至レリ斯ノ如ク内務大臣ノ善後策ハ實現スルニ至ラスシテ市都ニ於ケル日用生活品ノ不足ハ依然タルヲ以テ世人ハ内務大臣ニ對シ不平ヲ訴フルニ至レリ茲ニ於テ内務大臣ハ日用生活品カ市都ニ輸送セラルルニ至ラサルノ世ノ不平ニ對シテ内務大臣ノ權限ヲ擴張セサル限り自己ノプログラムヲ充分ニ実行スルヲ得ストノ言辭ヲ以テ之ニ答フルニ至レリ

四三二 二月八日

在モスコ 平田總領事代理ヨリ
石井外務大臣宛

召集ニ関聯シ「ゴレムイキン」首相ニ對シテ何等カ重要ナル建議ヲ提出シタリトノ説アリタルニ不関官僚界ハ頗ル平穩ヲ極メタル折柄這般ノ交迭アリタルハ真ニ晴天ノ霹靂ト稱スベシ

吾人ハ「ゴ」氏退隱ノ原因ヲ考究スルノ要ナシト雖議會再開問題ニ関シテ寧ロ内閣外ノ或權カト意見衝突ノ結果自ラ桂冠ノ止ムナキニ至リタルハ疑ナキ処ニシテ氏ハ長期ニ亘ル議會ノ紛糾ト戰フヨリ寧ロ辭職閑居ヲ択ビタルナリ而シテ「リウォフ」公(全國「ゼムストヴォ」聯合會長)及「チュルノコフ」氏(莫斯科市長全國都市聯合會會長)ガ過般大本營ニ招致セラレタルコトガ「ゴ」氏ノ辭任ト如何ナル關係ヲ有シタルカヲ断言スルハ困難ナリト雖「シユチュメル」氏親任ノ事實ニ鑑ミルトキハ余リ重要ナル意義ヲ有シタリトモ認メ難キ処アリ

新任首相ハ「シビヤーギン」「プレウエー」内閣時代ニ行政の経歴ヲ有スル有力ナル政治家ニシテ上院ニ於テ右党ニ属シ乍ラ近来ニ至リ保守的政治運動ニ参加ヲ避ケ來レリ今ヤ議會側ガ優勢トナリ來レル折柄氏ガ首相ノ重任ヲ請ケタル一事ハ「フウォストフ」内相ノ場合ト同様間接ニ政府

ト民間進歩派トノ調和ニ若干ノ歩武ヲ進ムルモノト謂フベシ而シテ目下ノ状況ニ於テハ氏ガ此歩武ヲ如何ナル程度迄進メ將タ如何ナル程度ニ成功スルカノ問題ヨリモ閣員間ノ一致ヲ計ルヲ以テ最重要トナスベシ

前首相ハ交戦二ケ年ニ亘ル重大ナル責任ヲ後継者ニ譲リタリ而シテ右ノ責任ヲ全然、新首相ニ負ハシムルコトハ何人モ敢テセザル処ナルベキモ然カモ氏ガ進ンデ大任ヲ請クルニ至リタルノ一事ハ以テ氏ガ国家ニ対スル自己ノ責任ニ関シ強固ナル自信ヲ有スルコトヲ証スルモノト謂フベシ

(二) 大正五年二月三日「ルースキヤ、ウエドモスチ」紙社説

我内閣ハ最近数ヶ月ノ間ニ於テ三回ノ交迭ヲ見タルガ最後ニ於ケル「ゴレムイキン」氏ノ突如タル辞任ハ何人モ意外トスル処ナリ而モ議會開會問題カ難解複雑ニ陥リタル事情ニ鑑ミルトキハ之亦自然ノ數ト謂フヘキモ其後継者トシテ刻下ノ重大時機ニ当リ經歷顯著ナル「シチュルメル」氏ヲ迎フルニ至リタルハ何人モ予想セザリシ処ナルヘシ、而シテ新聞ニ發表セラレタル「シ」氏ノ声言ナルモノハ氏ノ經歷ト符合セザルモノアリト雖モ我國民ハ既ニ為政者ノ所謂

声言ニ対シテハ其実行ヲ見ル迄ハ輕信セザルニ馴致セラレタリ、而シテ其声言中最モ重キヲナスモノハ最後ノ勝利ヲ得ル迄ハ戦争ノ継続ノ必要アルコト及盟約履行ニ忠実ナルヘキコトノ証言ニアリタルモ之ハ一般ノ認ムル常套話ニシテ何等氏ノ抱有スル政策方針ヲ吐露シタルニアラス其内治方針ニ関スルモノノ如キモ大要「フヴォストフ」内相入閣ノ際ノ言明ト彷彿タルモノニシテ要ハ議會及國民ニ対シ好意的關係ヲ約スルニ歸着セルヲ認ム、然カモ之カ実行ハ近キ将来ニ待ツノ外ナキナリ

新首相ハ政府カ議會トノ一致ヲ計リ得ルノ確信ヲ声明シ國民ト政府ノ間ニ存在スル疎隔ハ偶然ノ誤解ニ起因スルモノナルヲ以テ之カ疎通ヲ計ルハ難事ニアラズトナシ目下ノ事態ヲ輕視シ去ラントセルハ大過ヲ招クモノト謂フヘシ、蓋シ兩者間ノ疎隔タル根底深遠ニシテ偶発的ノ行遠ヒニ基クモノニアラザレハナリ、戰勝ヲ期シ得ヘキ組織ヲ要望スル点ハ政府國民共ニ一樣ナルモ之カ方法ニ至リテハ二者一ナラズ前者ハ單ニ政府部内ノ組織改革ヲ主眼トシ國民ハ輿論並ニ全民力ニ拠ル政府指導ノ下ニ國民全体ノ活力ヲ使用スヘキ組織ヲ主張セリ、而シテ後者ノ主張タル苦キ經驗ニヨ

リタル処ニシテ国家興敗ノ懸ルヘキ世界の重大時機ニ際シテハ当然ノ要望ト謂フベシ、要之官民兩者間ノ衝突ハ國民ノ要望ヲ容レザルニ職由スルモノニシテ之レカ和解ヲ見ザル限り露國ノ前途ハ暗澹タリト謂フベシ

四三三 二月十六日 在浦潮野村總領事代理ヨリ
石井外務大臣宛

沿海州軍務知事交迭二関シ報告ノ件

公第三七号 (三月二十一日接受)

大正五年二月十六日

在浦潮斯德

總領事代理 野村基信(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

沿海州軍務知事兼「ウスリー、コザツク」兵長官「スタシエフスキー」中将ハ今般「キエフ」軍管区附ニ転シ其後任トシテ黒竜州軍務知事「トルマチエフ」中将転任シ第二騎兵軍団參謀長「ホンドーノフ」少將ハ黒竜州軍務知事兼「アムール、コザツク」兵長官ニ任セラレタリ、新任沿海州軍務知事ハ數日中ニ來任スル趣ニ有之候
「スタシエフスキー」中将転任ノ風評ハ昨年秋ヨリ屢々行ハ

レ今回漸ク事實トナリタルモノニシテ同氏ハ全クノ武弁ニテ人氣薄ク伝フル所ニ依レハ沿黒竜江總督「ゴングダツチー」トノ關係兎角面白カラサリシトノコトニ有之候
右報告申進候 敬具

四三四 二月十九日 在露國本野大使ヨリ
石井外務大臣宛

露國政況内情報告ノ件

附屬書 右調査報告書(第四)

機密往第七号 (三月十四日接受)

大正五年二月十九日

在露

特命全權大使男爵 本野一郎(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

露國政況内情ニ関スル上田書記官調査報告書第四及進達候
条御査閱相成度此段申進候 敬具

(附屬書)

露國政況内情(第四)

一、下院予算委員會

二、内閣總理大臣更迭

三、議會召集

四、新總理施政方針

五、下院各党代表者會議

六、上下兩院改進黨

七、國民ト戦争

一、下院予算委員會

議會開會延期ノ理由ハ下院予算委員會カ未タ予算ノ審査ヲ終ラサルカ為メナリト弁明セラレタリト雖其裏面ノ理由ハ政府カ下院多數党即チ改進黨ノ綱領主義及目的ヲ容レサル結果トシテ此儘議會開始セラルルニ至ラハ議會ハ直チニ政府ト衝突スルニ至ルヘキカ為メ外ナラス而シテ政府ハ予算案ノ審査終ラハ直ニ議會ヲ召集スルノ意ヲ漏ラシタルヲ以テ右委員會ハ予算案ノ審査ヲ急キ本年一月五日之ヲ終リ同日委員長ハ其旨議長ニ報告シタルヲ以テ議長ハ更ニ總理大臣ニ報告シ一月十一日議長ハ皇帝ニ拝謁シテ予算委員會ノ成績ヲ上奏シタリ

二、内閣總理大臣更迭

本年二月二日總理大臣「ゴレムイキン」氏ハ願ニ依リ其職ヲ免セラレ上院議員「スチュルメル」氏ハ之カ後任トシテ

七十八年元老院賞勲局ニ入り宮内省式部職ヲ兼ネ式部職部ニ在ルコト十四年トス氏ハ「ツウエル」県ノ地主ニシテ同県ノ地方自治行政ニ干与シ千八百九十二年同県地方會長ニ任セラレ千八百九十四年ノ「オゴロド」県知事トナリ千八百九十六年「ヤロスラフ」県知事ニ転シ千九百二年内務省総務局長トナリテ時ノ内務大臣「ブレーヴェ」氏ノ股肱タリキ千九百四年日露戦争當時「ブレーヴェ」氏暗殺セラレテ改進黨主義ノ名アル「スウヤトボルクミルスキー」公内務大臣ニ任セララルヤ氏ハ内務省ヲ去リテ國議院（上院）議員ニ任セラレ以テ今日ニ至レリ

「スチュルメル」氏ハ経歴位置及境遇ヨリ曰ヘハ純然タル官僚ニシテ而モ宮内省型ノ人ニシテ特ニ今回ハ宮内省側ヨリ推サレテ其職ニ就キタリト称セラルル位ナルヲ以テ氏ノ政見ハ固ヨリ「ゴレムイキン」氏ノ其レト同一ナルヘシトハ世間一般人ノ観測スル所ナリ然レトモ氏カ其就職以後今日マテニ人ニ向ッテ語りタル言ヲ以テスレハ氏ハ恰モ「ゴレムイキン」氏ト其政見ヲ異ニスルカ如クニ見エ現ニ「スチュルメル」氏ハ新聞記者ヲ引見シ又ハ下院議長ヲ訪問シテ政府ト議會トカ一致提携スルノ必要ナルコトヲ述フルト

總理大臣ニ任セラレタリ同日皇帝ハ「ゴレムイキン」氏ニ特ニ詔勅ヲ下シテ氏ノ功勞ヲ称シ氏ヲ「デイストウイテリヌイ、タイヌイ、ソヴェートニツク」ノ一等ニ叙セラレタリ「デイストウイテリヌイ、タイヌイ、ソヴェートニツク」ノ一等ハ我國ノ正一位トモ称スヘキ頗ル名譽ノモノニシテ今日マテ之ニ叙セラレタルモノハ僅カニ「ゴルチャコフ」及「ソリスキー」ノ二故人アルノミコレヨリ先キ「ゴレムイキン」氏ハ宰相ニ任セラレテ内外兩政務ヲ總ヘ又内閣員中ニ於テ氏ト全然其意見ヲ同フスル司法大臣「フウォストフ」氏ハ内治事務官ニ任セラレ而シテ前駐維也納露國大使「セベコ」氏ハ外交事務官ニ任セラルヘシトノ風説旧臘一時世間ニ伝ハリタルモ事實トナルニ至ラスシテ「ゴレムイキン」氏ハ總理ノ職ヲ去ルニ至レリ

新總理大臣「スチュルメル」氏ハ前總理大臣「ゴレムイキン」氏ト同シク上院右党ニ属シ而モ其幹部員タリ氏ハ「ゴレムイキン」氏ト雷ニ政友タルノミナラス個人的ニ親交深キ間柄ナリト云フ「スチュルメル」氏ハ千八百四十八年生レ千八百七十二年「ペテルブルグ」帝國大學ヲ卒業シテ元老院第一部ニ奉職シ千八百七十五年司法省ニ転シ千八百

同時ニ政府カ議會ト妥協スルノ急務ナルコトヲ説キ以テ上下兩院ノ改進黨ト接近スルノ希望ヲ表示セリ

三、議會召集

第三次戰時議會ノ閉會ト共ニ政府カ裏面ニ於テ議會ト事實上衝突セルヲ以テ第四次戰時議會開會セラルルニ至ラハ此衝突ハ直ニ外ニ現ハレ由々敷事態ヲ醸スヘキニ鑑ミ政府ハ之カ召集ヲ欲セスシテ議會開會期限達スルニ至ルモ容易ニ之ヲ召集スルコト無カリキ併シ乍ラ政府ハ既ニ年度予算案ヲ議會ニ提出シタル為メ早晚之ヲ議セシムルノ必要アルヲ以テ「ゴレムイキン」内閣ハ兎モ角モ議會ヲ開クコトニ決シ其結果昨年十二月五日皇帝ハ詔勅ヲ以テ予算委員會ニ於ケル予算案ノ審査終リタル後議會ヲ召集スヘキ旨宣示セラレタリ此時ニ當リ政府部内ニ於テハ之カ召集ノ期間ニ関シ閣員ノ説ニ分レ時ノ總理大臣「ゴレムイキン」氏及閣員ノ一部ハ議會ト政府トノ衝突ヲ避ケンカ為メ成ルヘク会期ヲ短クシ議會ヲシテ単ニ予算案ノミヲ議セシムヘシト主張シ其他ノ一部ハ一方ニハ議會多數党ノ主張ヲモ顧慮シ多少会期ヲ永クシ以テ予算以外ニ直接又ハ間接ニ戦争継続ニ必要ナル問題ヲモ之ヲ議セシムルト同時ニ他方ニハ其間ニ下

院多数党ト妥協スルヲ必要トシタリト称セラル以上二説中妥協説ハ有力ニシテ総理大臣「ゴレムイキン」氏モ亦其後大体ニ於テ同説ニ左袒シタリト云フト雖コレ迄ノ關係上直接ニ院多数党ト妥協スルヲ得サルノ事情アルヲ以テ氏ハ其職ヲ去リテ「スチュルメル」氏之カ後任トナリタル次第ナリト云フ総理大臣ノ更迭ハ「ゴレムイキン」氏ノ意ニ出テタルモノナルヤ否ヤ未タ之ヲ詳カニスルニ由無キモ此事ニ関シテハ世間ニ兩説アリ一説ニ依レハ「スチュルメル」氏ノ任命ハ宮内省側ノ外ニ其親友タル「ゴレムイキン」氏ノ意ニ出タルモノナリトアレトモ他ノ説ニ依レハ其任命ハ「ゴレムイキン」氏予メ之ヲ知ラスシテ氏ニ意外ナリシト云フ併シ乍ライツレニシテモ兩氏ハ其系統ヲ同フスルヲ以テ兩總理ノ政策ニハ多少其手加減ニ於テ異ナル所アルヘキモ其根本ニ於テハ何等異ル所ナカルヘシト称セラル

「スチュルメル」氏カ總理大臣ニ任セララルヤ氏ハ直チニ議會ヲ召集スルコトニ決シ二月七日皇帝ハ勅令ヲ以テ同月二十二日ヲ期シ上下兩院ニ召集ヲ命セリ新總理大臣ハ議會召集令ノ下リタル当日下院議長「ロドジャンコ」氏ヲ訪問シテ議長ト長時間ノ談話ヲナシタリ議長ハ總理ト会見後新

聞記者ニ対シ總理ハ誠意ヲ以テ議會ヲ尊重シ国家多事ノ今日政府カ議會ト提携スルノ必要ヲ認メツツアリテ「ゴレムイキン」氏ノ辭職ハ議會ト政府トノ提携ヲ容易ナラシムヘシト語リタリト云フ

四、新總理施政方針

新總理大臣「スチュルメル」氏ノ政策ハ未タ之ヲ詳カニスルヲ得スト雖同氏カ内閣ノ統一ヲ計ルコトニ注意周到ナルト同時ニ議會ヲ重視スルコトハ氏カ就職以來今日マテノ態度ニヨリ明白ナリ氏ハ下院議員ト直接ニ其意見ヲ交換スルノ目的ヲ以テ近々保守團及改進黨ニ屬スル下院議員ヲ一々官邸ニ招待シ談話ヲ試ミルヘシト云フ併シ乍ラ氏カ果シテ下院ノ多数党タル改進黨ノ要求主張ヲ容ルルヤ否ヤハ未タ大ニ疑問ニ屬スルノミナラス同團機關新聞ハ異口同音ニ新總理ノ政策ハ前總理ノ政策ト何等異ル所無カルヘシト詳論シ居レリ

五、下院各党代表者會議

總理大臣ノ更迭ニ加ヘ議會召集令下ルニ至ルヤ其後帰郷中ナリシ上下兩院議員ハ統々上京シ本月八日下院議長室ニ於テハ議長「ロドジャンコ」氏ヲ長トシテ各党代表者會議開

カレタリ同日議長ハ集会セル各党代表者ニ向ッテ總理大臣「スチュルメル」氏ト会見談話ノ次第ヲ具サニ述ベ以テ總理力誠意ヲ以テ議會ト提携シテ共ニ国家ノ為メ尽シタキ希望ヲ漏ラシタル旨報告シタリソレヨリ會議ハ開會当日總理大臣カ議場ニ於テ施政方針ニ関スル宣言演說ヲナスヘキニ

ツキ之ニ対シ下院党派ヨリ代表者ヲ出シテ各宣言演說ヲ批評セシメタル後決議案ヲ議決スルコトヲ決議シ最後ニ議會カ本会期ニテ議スヘキ「プログラム」ノ議事ニ移リタリ

右「プログラム」ニ関シテハ議論百出シテ何等決議ヲ見ルニ至ラサリシヲ以テ同月十日各党派代表者ハ更ニ會議ヲ開キテ「プログラム」問題ヲ議シ結局各党ハ先ツ各自ニ黨議ヲ開キテ本問題ヲ決定シ而シテ後更ニ之ヲ各党派代表者會議ノ議ニ附シテ最後ノ決定ヲナスコトナレリ要スルニ本月八日及十日兩日ノ各党派代表者會議ニテハ大体ニ於テハ下院ノ多数党タル改進黨ハ社会民主労働団ト同シク第四次戰時議會ニ於テハ年度予算案ノ外ニ直接又ハ間接ニ戰爭継続ニ關係シテ而モ挙国一致ノ実ヲ全フスルニ必要ナル問題トシテ財政經濟ニ関スル諸問題其他地方自治改革ニ関スル諸法案ヲ議スルヲ必要トシ社会民主労働団ハ尚此外ニ民権

自由問題ヲ議スルヲ必要トセリ然レトモ同院ノ小數党タル保守團（右党及国民党）ハ之ニ反シ国家多事ノ際議會カ内政問題ヲ提起シテ紛争ヲ惹起スルヲ不可トシ議會ハ単ニ予算案ノ査定ノミヲ以テ満足スルヲ要ストセリ

六、上下兩院改進黨

上下兩院ノ改進黨殊ニ下院ノ改進黨ハ議會ノ中堅ナルヲ以テ政府カ議會ト提携スルニハ同院ト妥協スルカ否ラسنハ同院ノ團結ヲ破リ以テ保守團ノ勢力ヲ大ニスルヲ要ス前總理「ゴレムイキン」氏ハ改進黨ト妥協スルヲ欲セス從ッテ保守團ノ勢力ヲ大ニスルヲ必要トシ上院勅選議員ニ右党人士ヲ任命シタルヲ以テ上院ニ於テハ保守團ノ勢力ハ多少増加シ来リタリト雖下院ニ於ケル改進黨ノ勢力ハ之ヲ殺クニ由無カリキ然レトモ同院ハ元ト異分子ノ集合体ニ外ナラサルヲ以テ新總理大臣「スチュルメル」氏ハ同院ノ右翼ヲ經テ同院ヲ軟化セシメ同院ト妥協スルノ目的ヲ有スト称セラ

ル併シ乍ラ今日マテノ所ニテハ改進黨ノ結合ハ尚頗ル固キノミナラス現在同院ハ飽クマテ自己ノ綱領ヲ嚴守シテ其主張ヲ曲ケサルノ態度ナルヲ以テ此際政府カ多少讓歩セサル限り同院トノ妥協ハ難事ナルモノノ如シ

七、國民ト戦争

政府カ議會ノ多数党タル改進黨ト妥協スルノ必要ハ一ニ目前ニ歐洲大戦争ヲ控フルカ為メニシテ否ラスンハ政府ハ同団ト妥協スルヲ欲スルコト無カルヘシ戦争ニ勝利ヲ制スルノ目的ヲ達スルニハ官民上下挙国一致ノ実ヲ全フスルヲ要ス故ヲ以テ政府ハ固ヨリ際限無ク國民ノ要求ヲ容レテ現制度ノ基礎ヲ根本的ニ變更スルカ如キコトヲ欲セサルヘシト雖目前ニ横ハレル右目的ヲ達スルニ必要ナル官民上下挙国一致ノ実ヲ全フスルヲ為メ或程度マテ國民ノ要求ヲ容ルルコトニ躊躇セス又國民ノ側ヨリ曰フモ此戦争ハ露国将来ノ運命興廢ニ大關係ヲ有スルモノニシテ単ニ之ヲ内政改革政府改造ノ目的ヲ達スルノ方便トスヘキニアサルヲ以テ議會ノ多数党タル改進黨員ノ多数ハ戦争ニ勝利ヲ制スルヲ為メ此際出来得ル限り政府ト妥協シテ官民上下挙国一致ノ実ヲ全フスルヲ必要トセリ尤モ極左党タル社会民主労働団中ニハ戦争ヲ繼續シテ外敵ヲ屈服セシムルト同時ニ之ヲ機トシ内敵(官僚政府)ヲ倒シテ露国建国ノ基礎ヲ一変スルノ目的ヲ有スル人士無シトセス此等人士ハ政府ヲ苦シメンカ為メ國民カ政府ト妥協スルヲ不得策ナリトシテ之ヲ欲セスト云

在露特命全權大使男爵 本野 一郎(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

露国政況内情ニ関スル上田書記官調査報告書第五及進達候条御査閱相成度此段申進候 敬具

(附屬書)

露国政況内情(第五)

一、議會召集

二、上下兩院開會

三、新総理施政方針

四、政府ト議會

一、議會召集

第四次戰時議會ハ予定ノ如ク本年二月二十二日召集セラレタリ同日上下兩院ニ於テハ開院祈禱式アリ皇帝ハ其式ニ臨幸セラレ各院議員ニ勅語ヲ賜ハリタリ皇帝ノ議會臨幸ハ議會開設以來今回ヲ以テ最初トナシ時節柄重大ノ意味ヲ有ス右ハ皇帝カ国歩艱難ノ秋ニ際シ政府ト議會ト一致提携ノ必要ナルコトヲ認メラレタルカ為メニ外ナラス
前総理大臣「ゴレムイキン」氏ハ上下兩院殊ニ下院ノ多数党タル改進黨ノ要求ヲ斥ケ政府ト議會ト一致提携ヲ断然

フモ同団中ニモ亦此戦争ヲ専ラ内政改革ノ目的ニ使用スルハ不可ナリトノ意見ヲ有スル者少ナカラスト云フ要之改進黨ハヨシヤ現在自己ノ綱領ヲ嚴守シテ一步モ其主張ヲ曲ケサルノ態度ニ出ツルモ「スチュルメル」内閣ニシテ誠意ニ妥協ヲ求ムルニ於テハ之ニ応スルニ至ルヘシト一般ニ察セラルト雖又悲觀的ノ觀察ヲ下ス人モ少ナカラスト

四三五 二月二十二日 在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国皇帝議會開會式ニ臨御ノ件

第一二〇号

露国皇帝ハ第一議會以來久シク議會ヘ臨御ノ事ナカリシ処今回ハ特ニ下院ニ臨御親シク開會式ヲ行ハセラレタリ右ハ此機会ニ於テ挙国一致ノ実ヲ中外ニ示スト共ニ議會ヲ融和セントスルノ政策ナリト察セラルル委細郵報ス

四三六 三月一日 在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛

露国政況内情報告ノ件

附屬書 右調査報告書(第五)

機密往第一〇号 (三月二十二日接受)

大正五年三月一日

不必要トシタリシモ其後内外ノ形勢ハ政府ヲシテ下院多数党ノ要求ヲ容レテ同党ト妥協シ以テ議會ト一致提携スルノ已ムヲ得サルニ至ラシメタリ然レトモ「ゴレムイキン」氏ハ既ニ改進黨ノ要求ヲ斥ケテ議會ト衝突シタル關係上今更同党ニ妥協ヲ求ムル訳ニ行カサルヲ以テ「スチュルメル」氏ハ「ゴレムイキン」氏ニ代リテ総理大臣トナリ以テ下院多数党ト妥協ヲ試ミルノ重任ヲ担フニ至レリ
「スチュルメル」氏総理大臣ニナルヤ一方ニ於テ内閣ノ統一ヲ計ルノ目的ヲ以テ連日各省ヲ歴訪シテ行政ノ方針ヲ授クルト同時ニ他方ニハ新聞記者ヲ引見シ且又上下兩院議長ヲ訪問シテ政府カ議會ト一致提携スルノ必要急務ヲ感スルコトヲ声明シタリ「スチュルメル」氏ハ其経歴及系統ヨリ曰ヘハ「ゴレムイキン」氏ト同シク純然タル官僚ニシテ而モ上院ニ於テハ同院議員トシテ改進黨ノ綱領ヲ否認スル右党ノ幹部員タリ加之内閣ニハ世間ヨリ反覆表裏常ナラスト評セラルル内務大臣「フウォストフ」氏ノ如キ人士アルヲ以テ世人ハ未タ容易ニ新総理ノ右声明ニ信ヲ措クニ至ラス然レトモ新総理カ前総理ニ反シ議會ヲ重視スルコトハ明ナル事實ニシテ其証拠ニハ新総理ハ就職後間モ無ク議會ヲ召

集シタルノミナラス下院改進黨ニ属スル或議員ヲ引見シタル際前總理ノ主張ニ反シ政府ハ第四次戰時議會ヲシテ年度予算ノ外地方自治其他諸法案ヲ議セシムル決心ナリト語りタリト云フ

二、上下兩院開會

上下兩院開院祈禱式ハ二月二十二日皇帝臨幸ノ上ニテ下院ニ於テハ午後一時又上院ニ於テハ午後八時ニ行ハレタリ式終ルヤ兩院ニ於テ各院議長ハ皇帝ノ詔語ニ對スル各自奉答ノ辞ヲ述ベテ皇帝ノ万歳ヲ唱ヘ滿場ノ議員ハ之ニ和シテ万歳ヲ三呼シ国歌ヲ奏シタリ

皇帝ノ議會臨幸ハ西欧諸國ニ於テハ何等異例タラスト雖露國ノ如キ事實上議會ノ權能小ニシテ而モ政府力議會ヲ輕視スルノ國ニ於テハ其臨幸ハ至大ノ意味ヲ有ス故ヲ以テ露國ノ諸新聞殊ニ保守派機關紙ハ此臨幸ヲ特筆大書セリ現ニ上下兩院議員ハ皇帝ノ臨幸ニ對シ一般ニ好感ヲ抱キ就中下院農民議員ノ如キハ皇恩ニ感激シタリト云フ

式終ルヤ上下兩院ハ各々其議事ヲ開始セリ各院議長カ例ニ依リ開會ノ辞ヲ述ベ終ルヤ總理大臣「スチュルメル」氏ハ登壇シテ一般施政ノ方針ヲ宣言シ次ニ陸軍海軍及外務ノ三

サルヘキヲ誓フト同時ニ政府ハ國民ノ愛國心ニ依頼シ勝利ヲ制スル為メ拳國一致以テ強敵ニ對スルノ必要ヲ説ケリ要スルニ施政方針ニ関スル總理大臣「スチュルメル」氏ノ宣言ハ上下兩院改進黨ノ綱領ノ一部ヲ容レタルモノニシテ政府力議會ト一致提携スルノ決心ヲ声明シタルモノトス斯ノ如ク新總理ノ宣言ハ讓歩的ノモノナルニモ拘ハラス自由改進黨諸新聞ハ議會多數党ト同シク同宣言ニ満足セスシテ總理ノ宣言ハ不明了ニシテ未タ以テ政府ト國民トヲ一致セシムルニ足ラストナシ政府ノ真意ヲ疑ヘリト雖改進黨國民黨ニ接近スル一二新聞ハ總理ノ宣言ニ満足シテ議會ハ政府ト提携シテ可ナリトセリ然レトモ保守党機關紙ハ政府カ下院多數党タル改進黨ノ綱領ヲ容ルルヲ喜ハスシテ政府ノ方針ハ自党ノ綱領ニ近ツクヘシトセリ

四、政府ト議會

下院ニ於テ十月党左翼議員「シードロフスキー」氏カ改進黨ヲ代表シテ朗読シタル宣言ハ新總理大臣「スチュルメル」氏ノ施政方針宣言演説ト直接ニ關係ヲ有セスシテ専ラ前總理大臣「ゴレムイキン」氏ノ政策ヲ非難シテ現總理ノ反省ヲ促シタルモノトス其大要ニ曰ク同議會ノ形勢ハ政府

大臣ハ順次登壇シテ其所管事務ニ関シ方針説明演説ヲナシタリ

右四大臣ノ演説終ルヤ下院ニ於テハ十月党地方派議員「シードロフスキー」氏ハ同院立憲民主、改進黨、十月党左翼、十月党右翼（地方派）中央及改進黨國民ノ六党ヨリ成レル改進黨ヲ代表シテ同院ノ宣言文ヲ朗読シ翌二十三日ヨリ政府ノ宣言ニ對スル各党代表者ノ評論演説開始セラレ二十五日討議終結セリ又上院ニ於テハ直チニ總理ノ宣言ニ對スル諸党代表者ノ評論演説開始セラレ同日其討議終レリ

三、新總理施政方針

新總理大臣「スチュルメル」氏カ上下兩院ニ於テ宣言シタル施政方針ハ前總理大臣「ゴレムイキン」氏ノ其方針トハ稍々異ル所アリ前總理ハ議會ヲシテ単ニ予算案ノミヲ議セシムル方針ナリシニ拘ハラズ新總理ハ戰時中ト雖必要ナル立法事業ハ之ヲ中止スルヲ得スシテ政府ハ右予算案ノ外村自治法案市制改正法案西伯利自治制法案等ヲ本議會ニ提出スヘキヲ声明セリ加之新總理ハ其宣言演説ヲ以テ露國カ今回ノ大戰爭ニ於テ最後ノ勝利ヲ制スヘキヲ確信シ聯合軍國ト共ニ如何ナルコトアルモ勝利ヲ制スルマテハ干戈ヲ戢メ

カ議會ニ停會ヲ命シタル當時ト同一ナリ議會ハ軍隊ニ感謝ノ意ヲ表シ軍隊カ最後ノ勝利ヲ制スヘキヲ信シテ疑ハス議會ハ此戰爭ノ世界的性質ヲ解シ又此戰爭ニヨリ露國ノ運命ノ決セラルヘキヲ知レリ議會ハ時機未タ熟セサル時ニ平和ヲ締結スルヲ不可トスルモノナリ露國ハ自國及自己ノ同盟軍國ヲ信シテ永ク戰爭ヲ継続スルコトニ躊躇セス戰爭ノ継続ハ國民ヲシテ益々一致團結スルノ必要ヲ自覺セシメ且戰爭ヲシテ事實上全國民のタラシムルノ効アリ今ヲ去ル半年前右一致團結ノ必要ニ関スル確信ハ議會ノ多數党ヲシテ政府ニ對シ共同ノ意見ヲ表白スル為メ互ニ讓歩セシメ其結果ヲ固カラシメタリ地方會市會其他全國ノ諸団体ハ右ノ趣旨ヲ支持シ而シテ議會カ提唱シタル全國國民國防団体設置ノ事業ハ露國國民各階級ノ賛成スル所トナレリ然ルニ此事業ハ議會ノ停會ニ因リ打撃ヲ蒙レリ政府ハ全國國民ヲ統一結束セシムルノ主義ヲ斥ケ拳國一致ヲ欲セスシテ単独ニ行動スルヲ利益トナシ又全國民力政府ヲ信用シ之ト提携セントスルヲ希望ヲ曲解シテ政權爭奪ト看做シタリ國民ハ政府カ議會ニ停會ヲ命シタルコトニ對シ一時激昂シタルモ外敵カ露國ノ内政不穩ヲ利用スルコトヲ恐レ靜肅ヲ守リタリ然ル

ニ政府ハ之ニ乗シ益々国民ノ意思ヲ無視シ更ニ既定ノ議會召集期日ヲ延期シタリ政府ハ国歩艱難ノ時ニ際シ其責務ヲ全フスルヲ得ス又国民力提起シタル問題ヲ解決スルノ能力ヲ欠キタリ政府ハ民力ヲ運用スルノ技能ヲ有セス政府ノ無能ハ遂ニ国家經濟ヲ紊乱セシメ鉄道交通ヲ誤ラシメテ市都ニ於ケル糧食日用生活品ノ供給ヲ不足ナラシメタリ政府ハ国民ノ援助無クシテ其任務ヲ果ス能ハサルコトヲ知り玆ニ議會ノ援助ヲ求ムルノ已ムヲ得サルニ至レリ議會多數党ハ自己ノ責任ヲ認識シ露国力敵国ニ対シ勝利ヲ制スルニ必要ナル条件ハ国民的精神ノ緊張ト国家組織ノ健全トニ存スルコトヲ政府ニ了解セシムルノ機会ヲ与ヘタリ露国ハ其国民ヲシテ露国ノ将来ヲ確信セシメ戦争ニ勝利ヲ期セシムルヲ要ス之カ為メニハ下院多數党ノ要求ノ通り国民ノ信用アル有為ノ人物ニシテ而モ議會ト提携シテ事ヲ共ニスルヲ欲スル人物ヲ以テ内閣ヲ組織スルヲ要ス市会地方会并ニ戰時産業委員會等ノ諸団体ハ現在国防ノ為メニ尽シツツアルヲ以テ政府ハ右諸団体ノ事業ニ対シ障礙ヲ与フヘカラス地方自治行政ハ之ヲ改革スルノ必要アリ政府ニシテ若シ其失錯ヲ改メテ国民ニ依頼セント欲セハ單ニ言語ニ於テノミナラ

モフ」氏ハ其代表演説ヲ以テ政府ニ責任内閣ノ組織ヲ要求セリ

保守団(右党及国民党)代表者ハ元來政府カ改進黨ノ要求ヲ容ルルヲ欲セサルヲ以テ新總理ノ宣言其モノノ評論ヲ避ケテ専ラ戦争ノコトニ論及シ以テ議會ハ此際内政問題ニ嘴ヲ容ルルコト無クシテ専ラ全力ヲ戦争継続ノ為メニ尽スヲ要スト説ケリ殊ニ玆ニ注意スヘキハ保守団ニ屬スル国民党議員「プロクツオフ」右党議員「ブルインケイウィツチ」両氏カ政府殊ニ前總理「ゴレムイキン」内閣ノ失政ヲ攻撃シタルコトトス

右ハ下院三団ニ屬スル諸党代表者ノ内政問題ニ対スル態度トス同代表者ノ戦争ニ対スル態度ニ関シテハ下院諸党略々同一轍ニ出テテ右ハ右党ヨリ左ハ社会民主党ノ大部分ニ至ルマテ皆戦争継続説ニシテ如何ナルコトアルモ戦争ヲ継続シテ最後ノ勝利ヲ期スヘシトノ説ニ一致セリ然レトモ社会民主党ノ一部分ニハ戦争継続ニ反対スル者アルニ至レリ現ニ同党領袖「チヘイドゼ」氏ハ本月二十四日下院ニ於テ吾党ハ「総テ戦争ノ為メ及勝利ノ為メ」ナル主義ニ反対ナリト声明シタリ然レトモ同党議員「ブラヤノフ」及「マニコ

ス事實的ニ依頼ノ誠意ヲ示スヲ要スト

下院ニ於テハ右改進黨ノ宣言演説後四日間政府当局者ノ施政方針宣言演説ニ対シ討議スル所アリ各党派及諸民族団体代表者ハ左ハ社会民主党ヨリ右ハ国民党改進黨ノ代表者ニ至ルマテ異口同音ニ政府ヲ攻撃シタルノミナラス右党及国民党代表者議員ノ或者モ亦同シク政府ヲ攻撃シ右党ノ一二代表者ヲ除ク外全院殆ント皆政府反対論者ナリギ然レトモ其政府反対説ノ要旨ハ各々其趣ヲ異ニセリ

社会民主労働団(社会民主党及労働党)代表者ハ絶対的ニ「スチュルメル」總理ノ宣言演説ニ反対ニシテ新總理ノ政策ハ前總理ノ夫レト何等選フ所無シト断シ現内閣ノ組織ヲ根本的ニ否認シテ以テ新總理ノ言ハ誠意ニ出テタルモノニアラストセリ

改進黨代表者ハ概シテ新總理ノ宣言ハ議會多數党ノ要求ヲ容ルルノ傾向ヲ示シタルモノナリト雖同宣言ハ誠意ヲ欠クト同時ニ明白ナラスシテ未タ以テ政府ト国民トヲ一致セシムルニ足ラストセリ殊ニ同団ニ屬スル十月党左翼及其以左ニ位スル改進黨及立憲民主両党代表者ノ如キハ現内閣員ハ国民ノ信任ヲ負フ者ニアラストシ就中改進黨領袖「エフレイ

フ」両氏ハ翌二十五日議場ニ於テ露国内及外国ニ在ル露国社会民主黨員ノ大部分ハ社会内政問題ニ関シテハ「チヘイドゼ」氏ト其説ヲ同フスルモ戦争問題ニ関シテハ社会民主主義ノ敵タル独逸軍国主義ヲ撲滅スル為メ戦争継続説ニ同意スル者ナリト声明セリ「チヘイドゼ」氏ノ議會ニ於ケル其演説速記ハ労働党代表者ノ宣言演説速記ト共ニ軍事官憲之ヲ速記録トシテ公表スルヲ禁シタリ同禁止ノ件ハ二月二十五日議會ノ問題トナリ下院ハ満場一致ヲ以テ政府質問案ヲ議決シタルヲ以テ政府ハ翌二十六日右「チヘイドゼ」氏ノ演説速記ヲ新聞ニ掲載スルヲ許シタリ然レトモ戦争継続反対ニ関スル文句ハ政府之ヲ速記録ヨリ抹殺セリ

二月二十六日下院ニ於テ討議終結スルニ至ルヤ社会民主党ハ次ノ日程ニ移ルニ臨ミ決議案ヲ提出シタルモ議長ハ同案ノ文句穩当ナラストノ故ヲ以テ之ヲ議場ニ朗読スルヲ禁シテ採決ニ付スルコト無カリキ

上院ニ於ケル總理大臣施政方針宣言ニ対スル討議ハ二月二十二日ノ議事ニ於テ終局ヲ告ケ同日同院中央党「ソルレルザコメルスキー」及左党「グリム」両氏ハ改進黨ノ綱領ヲ主張セリ

如上「スチュルメル」内閣ハ「ゴレムイキン」内閣ノ方針ヲ改メテ議會ニ接近スル方針ニ出テタリト雖議會ハ嘗ニ政府ノ真意ヲ疑フノミナラス下院多數黨ハ内閣員ニ對シテ不満足ニシテ現ニ國民ノ信任アル者ヲ以テ内閣ヲ組織スヘシトノ主張ハ右多數黨ノ主眼トスル所ナリ故ヲ以テ世人ハ「スチュルメル」總理カ少クトモ一二ノ閣員ヲ更迭シテ内閣ヲ改造スルカ又ハ他ニ具體的ノ讓歩ヲ為スニアラサレハ政府ト議會トノ妥協ハ不可能ナルヘシトセリ下院多數黨ノ主張ニ曰ク議會カ全國民ト共ニ統一アリテ外ニ信任アル内閣ノ組織ヲ要求スルハ決シテ政權爭奪ノ為メニアラスシテ露國カ目前ニ控ヘツツアル大戰爭ニ於テ勝利ヲ得ンカ為メナリ敵國独逸ノ強キ点ハ官民上下結束ノ固キカ為メナリ今日マテ露軍ノ失敗セシハ軍隊ノ罪ニアラスシテ背後ニ於テ政府カ國民ノ要求ヲ無視シ國民ヲシテ政府ト共ニ全力ヲ傾注シテ軍隊ヲ援助スルコトヲ不可能ナラシムルカ為メナリ露國ノ聯合軍諸國ハ國民ノ要求ヲ容レ所謂拳國一致内閣ヲ組織シタルヲ以テ其國民ハ主義政見ノ如何ヲ問ハス其力ヲ一ニシテ外敵ニ當ルヲ得ルモ露國政府ハ之ニ反シ國民ノ要求ヲ斥ケ自己ト主義政見ヲ異ニスル者ハ之ヲ目スルニ

ヨリ同二十八日ニ至ル三日間ニ亘リ再ヒ當市ニ於テ開催セラルルコトトナレリ、而シテ兩大会トモ非常ノ盛況ヲ示シ參列スルモノ中央及地方ニ於ケル都市並ニ「ゼムストウオ」各代表者、上下兩院議員及ヒ戰時工業委員會代表者等全露國ノ有力家數百名ニシテ兩大会議長ヲ始め各參集有力家ノ時局ニ関スル演說ノ後別添甲乙号訳文ノ通り宣言書決議セラレタルガ其内容ハ兩大会共大要昨年九月ノ大会ニ於ケルモノト大差ナク軍隊ヲ信賴シ戰爭ハ最後ノ勝利ヲ得ル迄継続スルコト、外敵ヲ打破スルニハ内治機關ヲ改革シテ國民ノ信任ヲ有スル刷新政府ノ樹立ヲ要スルコトヲ主張シタルモ「ゼムストウオ」大会ノ穩健ナルニ對シ都市聯合大会ハ稍ヤ露骨のニ全露國ニ自治制ヲ施クコト各公共団体ノ自由經營並ニ政治宗教犯ニ對スル特赦及國民同等ノ權利附与等ノ要求ヲ反復セリ而シテ右兩大会ニ對スル官憲ノ態度ハ寧口傍觀のニシテ別ニ圧迫干渉ヲ試ミタル跡モナク議事狀況殆んど全部公表ヲ許シタリ

右及報告候 敬具

(附屬書一)

甲号訳文

國賊ヲ以テセリ斯ノ如ク政府ト國民ト互ニ相敵視スル場合ニハ露國カ外敵ニ對シ勝利ヲ制スルコトハ容易ノコトニアラサルヲ以テ政府ハ宜シク此際議會多數黨ヲ要求ヲ容レテ拳國一致ノ実ヲ全フスルノ方法ヲ講スルヲ要スト

四三七 四月五日

在モスコイ平田總領事代理ヨリ
石井外務大臣宛

全露國都市聯合及「ゼムストウオ」聯合兩大会開催ニ関シ報告ノ件

附屬書一 全露國都市聯合大会決議

二 全露國「ゼムストウオ」聯合大会決議

政第四〇号

(五月十七日接受)

大正五年四月五日

在莫斯科

總領事代理 平田 知夫(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

全露國都市聯合大会及「ゼムストウオ」聯合大会ハ客年九月(九月二十日ヨリ同二十三日ニ亘リ開催
同年十月廿八日附機密第四号報告)當市ニ於テ開催以來官憲ノ為メニ危險視セラレ再開沙汰止ミトナリ居タルガ其後内閣交迭ト共ニ當路者ノ態度ニ變更ヲ見タル結果客月二十五日

全露國都市聯合大会決議

第四回全露國都市聯合大会ハ深キ信念ヲ以テ我勇悍ナル陸海軍ノ最後ノ勝利ニ達スヘキ新行動ヲ注視スルモノニシテ過去一年ノ經驗ト犧牲ハ吾人必勝ノ觀念ヲ強固ナラシムルモノニシテ露國ハ同盟諸國ト共ニ依然最後ノ勝利ヲ博スル迄持久戰ヲ覚悟スルモノナルコトヲ茲ニ宣言ス
本大会ハ独逸ノ「ミリタリズム」ニ致命傷ヲ与ヘントセハ須ラク拳國一致以テ強固ナル組織ト国力ヲ適當ニ利用スベシトスル前回発表ノ意見ヲ依然固執スルモノナリコレ實ニ緊急ノ問題ニシテ無責任ナル政府カ議會多數ノ意見ト國民ノ要望ヲ無視シ國家ノ興廢ニ関スル重大時機ニ際シテ国内ノ反目ヲ醸シ將タ全活力ヲ利用スヘキ秋ニ當リテ却テ之レヲ妨害スルカ如キ有様ニテハ到底其目的ヲ達スルコトヲ得サルナリ(以下抹殺)

政府ハ須ラク旧套ヲ脱シテ速カニ統治上根本的ノ改革ヲ斷行シ緊急問題ニ関シ大多數ヲ有スル議會トノ一致ヲ計ルヘシ、地方自治制ハ之ヲ全露國ニ普及シ地方住民間ニ鞏固ナル小団体ヲ組織シテ国力ヲ十倍ニ増加スヘシ、「ゼムストウオ」及都市團ノ戰時協同作業ニ町村農民團、協濟團、勞

働團及商業団等ヲ加盟セシメ国防其他ノ事務ニ対シ充分活動ノ機会ヲ与フベシ

全国力ヲ集中セントセハ須ラク国内ノ平和ト其民心ノ一致ヲ計ルヘシ則チ政治及宗教犯ニ対スル特赦並ニ露国臣民ニ対シテハ国籍及信教ノ如何ニ関ラズ法律上同等ノ權利ヲ附与スルノ要アリト認ム

本大会ハ国民一致ノ大威力ヲ信シツツ全露国民ニ対シ此重大時機ニ際シ我勇悍ナル軍人ノ後援及時局上国連ニ関スル大問題決定ノ為メ一致協力シテ各自ノ知能ヲ發揮センコトヲ檄ス

(附屬書二)

乙号訳文

全露国「ゼムストウオ」聯合大会決議

全露国「ゼムストウオ」聯合大会ハ我軍隊ノ最後ノ勝利ヲ確信シ義侠ナル同盟軍ト共ニ贏チ得ル戦勝ハ各国民ニ平和、自由及ヒ精神的並物質的發展ヲ齎ラスモノナルヲ確信スルコトヲ宣言ス

戦争ハ最後ノ勝利迄継続セザルベカラズ、吾人ハ之ノ言カ如何ナル責任ヲ吾人ノ双肩ニ負ハシムルモノナルカヲ知

対スル責任ヤ実ニ重大ナリ、吾人ハ今後益々軍隊ト戦争ノ犠牲ニ対スル後援ヲ与ヘサルヘカラズ、吾人カ国家ニ対スル義務ヲ遂行スルニ当リテハ何等ノ故障何等ノ困難モ吾人ヲ抑止スルコトナカルベシ

四三八

五月十八日

在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国官民ノ戦争ニ対スル態度露国ノ財政經濟

事情我對露兵器供給問題等ニ関シ阪谷聯合会

經濟會議特派委員長ヨリ大隈首相ヘ報告ノ件

第四二八号

(五月二十日接受)

阪谷委員長ヨリ大隈首相ヘ

(一)露国官民ノ戦争ニ対スル感情ハ比較的樂觀ニシテ露国ノ活動ハ今後ニアリテ実力ハ明年ニ至リ發揮スルモノト期待セル由軍器ハ工業動員ノ結果ト外国供給トノ為之ヲ一年前ニ比スレバ相当充実シタル様子ニシテ士氣モ引立チ居レバ財政ニシテ不良ニ陥ラサル限り戦争ハ尚ホ当分継続シ今後聯合軍ハ多少有利ノ地位ニ復スルモノト推測スヘキカ
(二)露国民力戦争ニ対シ比較的不平少ナキハ一般ニ独逸ノ露国ニ対スル經濟上ノ羈絆ヲ脱スルノ必要ヲ強く認識シ産業

ル、然カモ之ノ言タル全國民ノ意志ト智力ヲシテ唯一共通ノ目的ニ向ハシムルコトヲ要求スルモノニシテ露国ハ今ヤ戦勝ヲ得ンカ為メニ内治上ノ不備ニ基ク間斷ナキ不安ニ襲ハレツツアリ、吾人ハ半歳前ニ於テ内治上ノ不備ノ依テ生スル主因ヲ指摘シ国力ヲ集中セントセハ政府ト國民ノ間ニ常ニ一致協力ヲ要スルコト而シテ之レカ保障トシテハ政府ニ対スル國民ノ信任必要ナルコトヲ説キタリ然ルニ半歳後ノ今日ニ至リ政府ハ屢々交迭セラレタルモ何等刷新ノ実ナク吾人カ屢ニナシタル主張ハ今日ニ於テ一層重要ノ意義ヲ有スルニ至レリ蓋シ政府ノ權力ハ爾來益々増長セララルト共ニ國民トノ疎隔甚タシクタメニ吾人ノ不安ハ一層其度ヲ加ヘツツアリ、之ヲ以テ吾人ハ茲ニ國民ニ対シ『今日ハ猶予ノ秋ニアラズ我軍隊カ將ニ敵庄迫ノ拳ニ出テントスルニ際シ瞬時タリトモ後援ヲ怠ルトキハ最後ノ勝利ヲ妨クル所以ナル』ヲ警告スルモノナリ

吾人ハ全力ヲ挙ケテ戦勝ノ為メニ努力スルニ当リ我カ功勞アル議會カ國民ニ与ヘツツアル顯著ナル慰安ト信頼ヲ多トスルモノナリ

議會ハ全國民ノ希望ヲ集中スルモノニシテ其軍隊ト國民ニ

ノ独立ヲ図ランコトヲ自覺シタルニ基因スルモノノ如シ故ニ戦後財政上ノ必要ヨリ来リタル関稅引上ケト相俟チ漸次露国産業ノ進歩ヲ見ルニ至ルヘキモノト推測ス

(三)露国官民ノ日本ニ対スル感情ハ極メテ良好ナリ之レ主トシテ一ハ日本ノ戦局ニ対スル態度カ露国ノ利益ニ一致シタルト二ニハ今回ノ戦争ニ於ケル独逸ノ態度ト日露戦争ニ於ケル日本ノ態度トニ大ナル差違アルコトヲ發見シ好感情ヲ生シタルト三ニハ日英同盟ニ依ル日本ノ勢力尊重トニ基因スルモノト見ルヘキカ然レトモ露国政界ニハ独逸人ノ隠レタル勢力アルカ故ニ今日ノ良關係ヲ永ク維持セントスルニハ尚十分ノ努力ヲ要ス

(四)露国ノ戦時財政ハ困難ニシテ目下現ニ五分五厘利付内国公債二十億留ノ成績モ面白カラサルカ如シ從テ今後ノ財政特ニ外国払資金ノ調達ニ付テハ英國ニ依頼スルノ程度益々増進スヘク且外國發行ノ証券ハ当分借換ヲ続行スベシ内地資金ノ調達ニ付テハ主トシテ銀行券ノ發行ニ依頼スヘキ乎最近ノ銀行券流通高ハ六十二億留以上ニ上レリ

(五)露国帝國銀行券ノ外ニ補助貨補充ノ一手段トシテ政府發行ノ小額紙幣二種アリ一ハ二十、十五及十哥ノ郵便切手ヲ

利用シ他日銀貨ト兌換スルモノナリ其発行高ハ帝國銀行總裁「シイホフ」ノ談ニ依レハ五千四百萬留ナリト二八一、二、三、五及五十哥ノ不換紙幣ナルモ國庫ニテハ無制限ニ受入ルモノナリ其発行高ハ一千八百萬留ナリ此内五十哥ハ戰後繼續セラルルモ其他ハ他日銅貨ト引換ヘラルヘシト云フ

(イ)銀行券増發並ニ補助貨幣發行ノ結果留ノ価値ハ大ニ下落シ今後尚下落スヘシト認ム物価ハ留ノ下落、増税、運輸不便、輸入制限並ニ困難、独逸人退去ヨリ生シタル商業聯絡ノ中断ニ依ル供給ノ不如意等相俟テ非常ニ騰貴シ鮮キモ五割甚シキハ三倍ニ上レルカ如ク一例ヲ挙クレハ背広服一着百三十留、靴一足三十五留、燐寸小箱一個五哥ノ類ナリ從テ定額收入者ノ生活難ハ今後頗ル強キニ至ルヘシ

(ロ)軍需品ノ供給ニ付テハ我國ハ最良機會ヲ逸シタリト認ム今日ニ於テハ露國ハ軍需品既ニ充塞セリトノ感想ヲ有シ居レルカ故ニ今後大戰鬪等ニ依リ其ノ欠乏ヲ生シタル場合ニアラサレハ利益交換ノ如キハ期待シ難シト認ム

(ハ)軍需品ノ供給ヲ計ルコトハ單リ經濟上ノ利益ニ止マラス兩國間好感情ヲ増進スルカ為ニ最切要ナリト認ム然ルニ目

下露國ニ出張セル本邦有力ナル商店ノ代表者十数名ニ上リ多少暗闘ヲ為スノ傾アル為價格ヲ下落セシメ從テ粗製品ヲ供給スルノ嫌ナキニアラス此等商店ヲ連絡シテ組合ヲ造ラシムルカ若ハ本邦ニ於テ適當ナル引受機關ヲ特設シテ速ニ大ニ之カ引受ヲ計ルコト必要ナリ只露國ニ於テハ自國ニ於テ応急製造ヲ努ムルト同時ニ各方面ニ注文ヲ發スル傾アルカ故ニ我國ニ於テ工場ヲ新設スルカ如キ場合ニハ其ノ設備完了ノ曉各方面ノ供給一時ニ輻輳スルノ虞ナキニアラス十分ノ注意ヲ払ヒ之ニ當ルヲ要ス其ノ代金仕払ニ関シテハ本邦銀行團ニ於テ露國政府ノ短期債券引受ニ依ルノ外ナキモノト認ム英國保障ノコトハ行ハレ難キヤニ聞ク尚露國政府ハ今回 Miller 氏ヲ在日本露國大使館附財務官ニ任命シ同氏ハ本月十六日当地ヲ出發セリ同氏ノ談ニ依レハ日本ニ於ケル軍需品ノ供給力ノ調査ト其ノ代金仕払方法ニ付懇談ノ任務ヲ有セリトノコトナリ

(四)日露貿易ノ發展ヲ計ルハ今日ヲ以テ好機會トスレトモ距離遠ク運賃ノ負担大ナルヲ以テ仮リニ関税ニ関シ有利ナル待遇ヲ受クルトスルモ尚歐露ニ對シテハ囑望スヘキ商品ノ鮮ナキヲ遺憾トス露國ヨリ供給ヲ受クヘキモノハ「ホッ

プ」白金、豚毛等ノ數種ニ過キス我國ヨリ供給スヘキモノハ樟腦、木臘、寒天、銅、亜鉛、米等ナルヘシ樟腦、木臘ノ如キハ独逸人ニ依リ從來精製加工セラレタル後輸入セラレタルモノ鮮カラサレハ直接輸入ノ途ヲ立ツルヲ要ス尚露國一般民ノ生活程度低キヲ以テ我ヨリ低廉ニシテ実用的ノ物品ヲ輸入セハ相當有望ナルヘシト認ム露國人トノ取引ニ付テハ商品ノ性状、使用方法、価格等ヲ露文ヲ以テ露國ノ單位ニ依テ表示シタル「カタローグ」ヲ調製公示スルヲ要シ又露人ハ先物約束ヲナサス需用ニ際シ注文スルノ習慣ナルヲ以テ露國內ニ相當「ストック」ノ備置ヲ要ス独逸人ノ成效シタルハ是等ノ点ニ注意シタルニ依ルモノトス

(イ)西比利亞又ハ歐露ニ於テ本邦人單獨ニ又ハ露國人ト共同ニテ工業ヲ起ス事望ミ無キニアラス手工的労働者ノ移住ハ相當ノ成績ヲ挙クルヲ得ヘシト信ス

(ロ)本職ハ当地ノ狀況ヲ觀察シ我國カ一昨年戰爭ニ參加シテ以來速カニ國是ヲ定メ一定ノ方針ニ依リ我勢力ノ進展ヲ図ル上ニ遺憾ナキニアラサリシコトヲ覺知セリ願ハクハ將來戰爭ノ終局ヲ告ケサルニ先立テ速カニ大計ヲ立テ再ヒ悔ヲ繰リ返スコトナカラシコトヲ切望ス

(出)尚最後ニ一言ヲ呈シ度ハ我國ハ戰爭ニ參加シ乍ラ独逸ニ對スル態度多少曖昧ニ考ヘラレ居ラルルヤノ觀ナキニアラス願ハクハ態度ヲ鮮明ニシ誤解ヲ去リ大ニ進取ノ決心ヲ定メラルコト極メテ大切ナリトス

四三九 五月二十二日

在露國本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

仏國司法大臣及軍需次官露國訪問ノ件

第四三五号 極秘

Viviani 及 Thomas 露國訪問ノ使命ニ関シ仏國大使ニ質問シタルニ同大使ハ兩氏ハ露國ノ軍備軍器製造等ニ付テハ予想ノ外満足シタル旨ヲ述ヘタル後極内密トシテ兩氏來露ノ結果露國軍隊四旅團ヲ仏國へ、一旅團ヲ「サロニカ」(イ)ニ送ルコトニ協議纏マリ右輸送ハ來ル八月頃ヨリ開始セラレヘシト語レリ尚本使ガ Thomas 氏ニ會談シタル際同氏ハ露國ノ兵器工場ハ大規模ナルモ組織ノ不完全ナルカ為製造高ハ其規模相応ノ程度ニ達シ居ラサルヲ以テ之ヲ増加セシムルノ余地アル旨竝独逸側ニ於テハ毎日四十三萬発ノ砲彈ヲ製造シツツアルニ聯合軍側ノ製造高ハ四十萬ニ足ラサ

ルニ付聯合軍側ハ尚一層ノ努力ヲ要スル旨語レリ

四四〇 七月二十一日 在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国「サゾノフ」外務大臣辭職説報告ノ件

第六一二号

露国外務大臣ハ七月十四日以来転地療養中ナルカ最モ確ナル筋ヨリ聞ク所ニ依レハ *Nesoff* 次官ノ大臣代理ハ暫ク引続キ *Sazonoff* 氏ハ遂ニ其職ヲ去ルニ至ルヘシトノコトナリ其原因ハ本使ノ推測スル処ニ依レハ波蘭ニ関シ總理大臣ト意見ノ衝突シタルニアルモノノ如シ尚後任者ニ付テハ何等聞ク所ナキモ一説ニ依レハ總理大臣兼任スヘシト云フ

四四一 七月二十三日 在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国「サゾノフ」外務大臣辭職及外二大臣更

送ノ件

第六一八号

外務大臣 *Sazonow* 氏ハ願ニ依リ其職ヲ免セラレ總理大臣 *Sturmer* 氏兼任ヲ命セラレ司法大臣 *Khvosow* 氏内務

領ニ同情ヲ表シタル大臣ハ殆ント皆居据ハラサルコトナレリ

外務大臣「サゾノフ」氏カ現内閣ニ於テ右改進黨ノ綱領ニ同情ヲ表スルコトハ明ナル事實ニシテ現ニ氏ハ「ゴレムイキン」内閣時代ニ於テ同團ニ同情ヲ寄セタル時ノ農務大臣「クリヴォセイン」氏外二三大臣カ辭表ヲ奉呈シタル際此等諸大臣ト行動ヲ共ニシタリ當時皇帝ハ諸大臣ノ辭職ヲ嘉納セラレタルモ外務大臣ノ辭職ハ之ヲ裁可セラレサリキ「サゾノフ」氏今回ノ辭職ノ公ノ理由ハ病故ナリトアルモ其ノ真ノ理由ハ政治的ナリ之カ辭職ノ原因ニ就テハ諸説紛々タルモ其ノ重ナル原因ハ昨今閣議ノ問題タル波蘭土自治法案ニ関シ「サゾノフ」氏カ總理大臣ト其ノ意見ヲ異ニシタルニ在ルカ如シ總理大臣「スチュルメル」氏ハ上下両院保守団ト同シク波蘭土ニ廣大ナル自治ヲ与フルコトヲ欲セサルニ反シ外務大臣「サゾノフ」氏ハ両院改進黨ト同シク波蘭土ニ廣大ナル自治ヲ与フヘキコトヲ主張スル論者ナリト云フ新聞紙ノ所報ニ依レハ大本營ニ於テハ波蘭土自治法案問題ニ関シ外務大臣ノ説勝ヲ制シ本問題ニ関シ不日法令發布セラルヘシトノコトナリシモ其後總理大臣大本營ニ参

大臣ニ上院議員 *Makarov* 氏司法大臣ニ任セラル

四四二 七月二十五日 在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛

露国外務大臣外二大臣更迭ニ関シ報告ノ件

機密往第一七号

(八月九日接受)

大正五年七月二十五日

在 露

特命全權大使子爵 本 野 一 郎 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本月十一日大本營ニ於テ皇帝ヲ議長トシテ開カレタル總理以下諸大臣ヨリ成レル御前會議以後露国ニ於テハ近々政変アリテ總理大臣「スチュルメル」氏ハ特ニ行政外交及軍事ヲ統フル広大ナル権限ヲ賦与セラルヘシトノ風説世間ニ行ハレタルカ本月二十三日ノ官報ハ皇帝カ本月二十日附勅命ヲ以テ依願外務大臣「サゾノフ」氏ノ職ヲ免シ總理大臣兼任内務大臣「スチュルメル」氏ノ兼職ヲ免シテ外務大臣ヲ兼任セシメ司法大臣「フウォストフ」氏ハ内務大臣ニ転シ上院議員「マカーロフ」氏ハ之カ後任トシテ司法大臣ニ任命セラレタルヲ報シ今ヤ内閣ニハ上下両院ノ所謂改進黨ノ綱

内スルヤ右法令發布ノコトハ沙汰止トナリタリト伝ヘラレ今ヤ俄然外務大臣ノ更迭ヲ見ルニ至レリ

總理大臣「スチュルメル」氏ハ其ノ就任当初改進黨ノ要求ヲ容レテ議會ヲ召集シタルノミナラス同團ノ綱領ニ同情ヲ表スルノ意ヲ漏シ且全露地方代表者會議及全露市会代表者聯合會議両本部ノ事業ヲ贊美シタルモ其ノ後政府ノ方針ハ日ニ増シ改進黨ノ綱領ニ遠ザカリ保守団ノ綱領ニ接近シ来ルノ傾向ヲ呈シ国民ノ信任アル者ヲ内閣ニ入ルヘシトノ改進黨ノ要求ハ奮ニ容レラルルノ模様ナキノミナラス同團ノ綱領ニ同情ヲ表シタル者ハ内閣ヲ去リ之ニ反シ保守団ノ綱領ニ贊成スル人士ハ次第ニ内閣ニ入リツツアリ現ニ今回司法大臣ニ任セラレタル「マカーロフ」氏ノ如キハ之カ実例ニシテ氏ハ上院右党ニ属セリ

斯ノ如ク今回ノ内閣小更迭ハ第一ニ内政関係ヨリ来リタルモノニシテ政府ノ方針カ次第ニ改進黨ノ綱領ト遠ザカルコトヲ意味スルヲ以テ同團ノ機関新聞ハ右更迭ヲ喜ハサルモ保守団機関紙ハ之ヲ歡迎セリ又外務大臣更迭ニ関シテモ改進黨機関紙ハ概シテ「サゾノフ」氏ニ同情ヲ表シ其ノ在職中ニ於ケル氏ノ功勞ヲ稱賛スルモ保守団機関紙ハ改進黨ニ

同情ヲ表シタル外務大臣ハ内閣ヲ去レリトテ氏ノ辭職ヲ喜ヘリ然レトモ詳細ニ觀察スルトキハ「サゾノフ」氏ニ對スル露國諸新聞ノ論評ハ一轍ニ出テスシテ保守團ニ屬スル新聞ニシテ氏ニ同情ヲ表シ氏ノ功績ヲ稱賛スルモノアルト同時ニ改進黨ニ接近スル新聞ニシテ過去ニ於ケル氏ノ外交政策ヲ非難シテ其ノ辭職ヲ喜フモノ無シトセス現ニ「ノヴォエ・ヴレミヤ」新聞ノ如キハ「ポツツダム」協約以來巴爾幹半島戰爭始末迄ノ氏ノ政策ヲ極力非難シ三協約締結ノ功ハ之ヲ氏ニ歸セスシテ前外務大臣「イヅヴォルスキー」氏ニ歸スルモ「レーチ」紙其ノ他自由改進新聞ハ異口同音ニ氏カ三協約ヲ締結シタルノ功ヲ稱シ「ポツツダム」協約ハ前任者ノ罪ナリトシテ氏ヲ弁護セリ

諸新聞ハ未ダ新外務大臣「スチュルメル」氏ノ外交政策如何ニ付論評ヲ試ミスド雖改進團機關紙殊ニ立憲民主黨機關ハ露國現在ノ外交政策ハ外務當局者更迭ノ為之ヲ變更スヘカラスト論斷セリ

右及報告候 敬具

四四三 七月二十六日

在瑞西國三浦公使ヨリ
石井外務大臣宛

ノ件

第六三一号

八月一日新外務大臣ニ面会シタル処同大臣ハ既ニ閣下ヘモ電報セル通り露國政府ノ對外政策殊ニ日本ニ對スル態度ハ毫モ變更スルトコロナキ旨ヲ語リタリ避暑地ニ於ケル本使ト「サゾノフ」氏トノ会见其他ノ情報ヨリ綜合スルニ同氏辭職ノ理由ハ本使想像ノ通波蘭問題其他内政ニ関シ總理大臣及閣員ノ多数ト意見ヲ異ニシタルガ為ナルガ如シ

四四五

八月七日 在蘭國落合公使ヨリ
石井外務大臣宛

露国外務大臣更迭ニ関スル独國新聞論評報告

ノ件

公第一四〇号

(九月十八日接受)

大正五年八月七日

在 蘭

特命全權公使

落合 謙太郎 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

今回露国外務大臣ノ更迭アリタルニ對シ「ケールニッシェ、ツァイトング」ノ論スル処ヲ見ルニ(七月二十四日發

露国外相辭職ニ関スル独國新聞評論報告ノ件
公第三〇号 (八月二十九日接受)

大正五年七月二十六日

在瑞西

特命全權公使

三浦 弥五郎 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

独逸ノ諸新聞ハ「サザノフ」ノ辭職ハ露國ノ外交政策ニ何等ノ變更ヲ來スモノニアラサルベシトノ意見ヲ表明セリ

「ミュンヒネル、ノイエステ、ナハリヒテン」新聞ハ曰ク「サザノフ」去リテ歐洲戰爭ノ主タル罪人中ノ第二ノ者ハ(第一ノ罪人ハ「デルカッセ」)消失シタリ、「ストールメル」氏ノ外相兼撰ハ露國ノ政策ニ變更ヲ生ジ得ルモノト思ハレズ、「サザノフ」ハ恐ラクハ宮中ノ或ル陰謀ノ為メニ墜落シタルモノナランモ露國ハ從來ノ政策ヲ持續スルナラン

七月二十六日当地新聞掲載ノ通信ニ依リ右及報告候 敬具

四四四

八月一日 在露國本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露國ノ對外政策ハ變更ナキ旨新外務大臣言明

刊)「サゾノフ」カ「バルカン」政策其他ニ関スル從來ノ失敗ニ拘ハラス皇帝ノ信任ニヨリ其地位ヲ持續シ得テ「グレー」及「ソニン」等ト共ニ四國協商ニ於ケル四本柱ノ一トシテ活動シ盛ンニ反獨政策ヲ鼓吹シタル処今回「デルカッセ」ト同一運命ニ陥リタルカ其何故ニ倫敦及巴里ニ於テ氣受ケ宜シカラサル日露新協約締結ノ後直チニ辭職シタルヤノ理由ニ至リテハ遠カラス明白トナルヘシト述ヘ又後継者「スツェルメル」ハ其年配ニモ似ス精力強健、意志亦堅固ニシテ且其独逸人ノ名前ヲ有スルノ事實ハ時代ノ要求ニ応スルノ伎倆ヲ有スル人物ナルコトヲ示シテ余リアリ人ヲシテ彼ノ權勢家「トレボウ」カ嘗テ「必要ナラハ予ハ露國ニ二個ノ憲法ヲ与フヘシ我任務ハ唯朝廷ヲ救フニ在リ」ト唱ヘタルヲ回想セシム彼「スツェルメル」ハ過去數ヶ月間ニ於テ臨機応変、機略且ツ精力ニ富メル政治家ナルコトヲ示セリ吾人ハ露國政府部内ノ最近交迭ニ對シ何等憂フヘキノ理由ヲ見サルト同時ニ「スツェルメル」ヲ以テ好戰政治家ニアラス又露國內ニ浮ヘル平和熱ヲ庄ユルモノニアラスト速斷スルハ早計ニ失スルモノト云ハサルヲ得スト説ギ尚進ンテ露國ニ於テハ大臣ノ更迭ハ政策ノ變更ニアラスシ

テ単ニ人ノ更代ニ過キサリニヨリ通例アマリ重要視スヘキ
ニアラスト雖モ唯「サゾノフ」ノ退職ニヨリ露国ノ政策カ
英国先帝ト露国皇帝トノ「レファル」会见ニヨリ開カレタ
ル道途ヲ離ルルコト今後或ハ之ヲ見ルコトヲ得ヘシトノ一
事ハ玆ニ之ヲ述ヘテ可ナルヘシ「サゾノフ」ハ全然「グレ
ー」及「ブキヤナン」ノ葉籠ニ在リタルカ「スツェルメ
ル」ニ至リテハ倫敦ニ於ケル「デマゴグ」の權勢家ニ對シ
比較的獨立ノ地位ニ在リ他ノ露国旧派政治家ト同シク英国
カ先年露国ニ對シ日本ヲ唆カシタルノ怨ヲ忘ルルコトナカ
ルヘシト論セリ

独国官迎ト縁故アリト称セラルル「ケールニツシエ、ツア
イトング」カ右ノ如キ言説ヲ試ムルハ多少ノ御參考ト可相
成認メラレ候ニ付右報告申進候 敬具

四四六 八月八日 在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛

露国政況内情報告ノ件

附屬書 右調査報告書(第六)

附記 八月三十日朝鮮駐劄憲兵隊浦潮情報

露国ノ大戦中ニ於ケル民心情況(露国官報所載)

及第四戰時議會ト称セラルル此兩次ノ議會ハ相俟ツテ第四
議會ノ第四会期ヲ組成ス(露国帝国議會ノ年期ハ五ヶ年即
チ五会期ニシテ第四議會ハ千九百一十二年ニ成立シ来ル第五
会期ニテ其年期滿ツルヲ以テ来年ハ総選挙ナリ)故ヲ以テ
本年六月二十日ニ閉会ヲ命セラレタル第四議會ハ第四会期
ノ開会ハ昨年七月十九日ニシテ其会期ハ十一ヶ月ノ久シキ
ニ亘リタリ然レトモ本会期ハ都合前後二回休会ヲ命セラレ
就中前次ノ休会命令ハ全然議會多數党ノ意ニ反シテ下リタ
ルモノニシテ之カ為メ其休会期間ハ暫ニ頗ル長カリシノミ
ナラス又政府ハ其後更ニ勅令ヲ以テ休会期間ヲ延長シタリ
此故ニ第四会期ハ十一ヶ月ノ久シキニ亘リタルニ拘ハラス
實際ニ本会期ニ於テ議事ノ開ケシハ百十四日間ニ過キサリ
キ

元来第四議會ノ第四会期ハ国民要求ノ結果トシテ召集セラ
レタルモノニシテ事實当初政府ハ之カ召集ニ反対シタリ然
レトモ其要求ハ頗ル頑強ナリシト同時ニ政府ノ方ニ於テモ
亦兵器彈藥不足シテ物資供給軍用品調達等ノコトニ関シテ
国民ニ援助ヲ求ムルノ必要アリシ為メ此事ニ関シ国民ニ或
程度マテハ嘴ヲ容レシムルノ已ムヲ得サルニ至リシヲ以テ

機密往第一八号

大正五年八月八日

(八月二十九日接受)

特命全權大使子爵 本野 一郎(印)

外務大臣子爵 石井菊次郎殿

露国政況内情ニ関スル上田書記官調査報告第六及進達候条
御査閱相成度候 敬具

(附屬書)

露国政況内情(第六)

- 一、議會閉会
- 二、内閣小更迭
- 三、現内閣ノ政策及方針
- 四、國民ト戦争
- 五、露独軍独平和運動
- 六、物価騰貴

一、議會閉会

第四戰時議會ハ本年二月九日(露曆)ニ開会セラレ議事五
ヶ月ニ亘リ六月二十日閉会ヲ命セラレタリ本当ニ曰ヘハ第
四戰時議會ハ昨年七月十九日ニ開会ヲ命セラレテ同年九月
三日休会トナリタル第三戰時議會ノ引継キニシテ俗ニ第三

時ノ「ゴレムイキン」内閣ハ二三閣員ノ反対アリシニモ拘
ハラス其意ニ反シテ國民ノ要求ヲ容レ以テ議會(第四会
期)ヲ召集シタリ
千九百一十五年七月十九日議會ガ召集セラレテココニ第四会
期開始セララルニ至ルヤ内政改革問題ハ直チニ喚起セラレ
議會ノ多數党ハ政府ニ改革ヲ要求シ而モ其要求ハ次第ニ増
大ヲ来シタリ故ヲ以テ「ゴレムイキン」總理ハ議會ニ休会
ヲ命シテ当分ノ開カサルコトニ決シ之カ為メ指定ノ開会
期日到来セシニモ拘ハラス政府ハ議會ヲ開カスシテ反対ニ
更ニ議會休会期日延長ニ関スル勅令ヲ下シタリ然ルニ其後
民論ハニ激昂シテ内政不穩ノ兆アルニ至リシニ加ヘ政府側
ニ於テハ戦争ヲ目前ニ控フルヲ以テ年度歳出入經費予算ノ
査定ヲ議會ニ求ムルノ必要アルヲ以テ政府ハ其對議會策ヲ
變更スルノ已ムヲ得サルニ至レリ玆ニ於テ議會開会ニ反対
シテ議會ノ多數党ト衝突シタル總理大臣「ゴレムイキン」
氏ハ總理ノ職ヲ其政友「スチュルメル」氏ニ譲リテ内閣ヲ
去リ而シテ新總理「スチュルメル」氏ハ就任後間モ無ク議
会開会命令ヲ發シ其結果千九百十六年二月九日議會開会セ
ラルルニ至レリ

同日新総理大臣「スチュルメル」氏ハ上下両院ニ出席シテ施政方針ニ関スル演説ヲ以テ議會多数党ノ意ヲ迎ヘ戰時中ト雖モ内政改革ハ必要ナリト宣言シタリ右演説終ルヤ議會ニ於テハ討論開ケ各党派議員ハ各自ニ其党ヲ代表シテ總理ノ宣言ヲ批評セリ以上討論力一兩日ニ亘リテ討論終結ヲ告クルニ至ルヤ議會ハ大多數ヲ以テ改進黨ノ提出ニ係レル決議案ヲ議決セリ其後議會ハ間モ無ク本年度歳出入予算案ノ査定ニ移リ討論ハ数日ニ亘リ各派殊ニ改進黨ニ属スル諸党議員ハ連日異口同音ニ内閣ノ不統一ヲ詰レルト同時に國民ノ信任アル人物ヲ内閣ニ入ルノ必要急務ナルコトヲ主張シテ政府ニ注意ヲ促シタリ

右予算案カ議會ヲ通過スルヤ議會ハ例年ノ通耶蘇復活祭ニツキ四月四日ヨリ五月十六日マテ休会ヲ命セラレタルヲ以テ議員ノ多數ハ郷里ニ帰省シ加フルニ上下両院各派議員代表者殊ニ下院領袖連ハ英仏伊三国政府ノ勧誘ニ依リテ三国觀光ノ途ニ上リタルカ為メ議會ハ五月十六日ヨリ再開セラレタルニ拘ハラズ議場ハ寂寞ヲ極メ從ツテ議會ハ休会前ノ意氣込ニモ似ス活氣ヲ失ヒテ兎角万事控ヘ目トナルニ至レリ

ラス

内務大臣「フウォストフ」氏其職ヲ去ルヤ総理大臣「スチュルメル」氏ハ自ラ内務大臣ヲ兼任スルコトナリタリ露國ハ内政頗ル面倒ノ国ナルヲ以テ内務大臣ノ職ハ最も重要ノ位置トス殊ニ露國ノ内政政策ハ多ク内務大臣其人ノ政見ニ依リテ定マルノ傾向アルヲ以テ目前ニ横ハレル内政改革問題ノ解決ノ如キモ亦内務大臣ノ政見如何ニ關係スヘキモノナルカ為メ総理大臣「スチュルメル」氏ノ声明ニ対シ最初ヨリ疑念ヲ抱ケル下院多數党ハ氏カ内務大臣ヲ兼ヌルニ至リタルコトヲ喜ハサリキ以上多數党即チ改進黨ハ既ニ「ゴレムイキン」内閣ノ時ヨリ國民ノ信任アル人物ヲ内閣ニ入レテ英仏諸國ト同シク露國ニ挙國一致内閣ヲ組織スルヲ要ストノ意見ヲ主張シタルカ同団ハ「スチュルメル」内閣トナルニ至リテモ亦依然此主張ヲ固執セリ前総理「ゴレムイキン」氏カ其職ヲ去ルニ至リタル原因ハ氏カ改進黨ト衝突シテ同団ノ主張ニ同情ヲ表シタル諸大臣ノ意見ヲ斥ケテ此等大臣ノ大部分ヲシテ其職ヲ去ルノ已ムヲ得サルニ至ラシメタルト同時に此主張ニ反対シタル人士ヲ内閣ニ入レタルカ為メ外ナラス故ヲ以テ新総理大臣

斯ノ如ク議會カ控ヘ目ニシテ活氣ヲ失ヒ来リタルコトハ内政改革ニ関スル諸法案ヲ議會ニ提出スルコトヲ内心ニ好マサル政府ノ大ニ望ム所ナルヲ以テ政府ハ之ヲ機トシ村自治其他重要ナル諸法案ヲ議會ノ議ニ附セシムルコト無クシテ單ニ左程重大ナラサル一二ノ改革法案ヲ議事日程ニ上サシメ議會ニ多少ノ満足ヲ与ヘテ時日ヲ費サシメ以テ機會ヲ見テ無事ニ其ノ定期ノ閉会ヲ命スルニ至レリ

二、内閣小更迭

「ゴレムイキン」内閣カ統一ヲ欠キ而モ閣員中ニ總理ノ意思ニ反シ上下両院ノ改進黨ニ同情ヲ表シタル人士アリシコトハ事實ナルカ「スチュルメル」内閣モ亦依然不統一ニシテ而モ前總理時代ニ改進黨ニ同情ヲ表シタル閣員ノ一二ハ未タ其儘現内閣ニ於テ依然トシテ大臣ノ椅子ヲ占メタリ加フルニ政府部内ニハ幾多ノ暗闘乃至疑獄ノ存スルアリ暗闘ニ関シテハ今更喋喋説明ノ限リニアラサルモ其疑獄ノ最モ著シキモノハ前内務大臣「フウォストフ」氏對内務次官「ベレツキー」氏事件ナリ「フウォストフ」氏辭職ノ外部ノ原因ハ議會多數党カ氏ノ内政政策ヲ否認シテ之ニ反対シタルカ為メナリト云フト雖モ又其内部ノ原因ハ右疑獄事件ニ外ナ

「スチュルメル」氏カ前總理大臣「ゴレムイキン」氏ノ對議會政策ヲ根本的ニ改メテ誠意誠心ニ議會ト提携スルコトニ決シタリトセハ氏ハ直ニ議會ノ信任アル人士ヲ選ンテ之ヲ内閣ニ入ルルノ方針ニ出ツヘキモノナリシニ拘ハラズ事實ハ之ニ反シ新内閣ニ居坐リニテ現職ニ在ル大臣ニシテ比較的ニ國民ノ信任ヲ博シ而モ改進黨ニ多少ノ同情ヲ表シタル大臣ハ次第ニ其職ヲ去リ之ニ反シ保守團ニ同情ヲ表シテ上下両院ノ右党ト縁故ヲ有スル人士ハ続々入閣スルニ至レリ現ニ前陸軍大臣「ボリワーノフ」將軍ノ辭職ノ如キハ其一ニシテ將軍ハ「スチュルメル」内閣中民間殊ニ議會ニ於テ最モ人望アル大臣ナリシモ俄然其職ヲ去ルニ至レリ「ボリワーノフ」將軍ノ辭職ハ表面依願ナリト雖其實論旨免職ニシテ而モ其免職ハ公表間際マテ將軍ハ之ヲ知ラサリシト云フ將軍ノ去職ハ「ブチロフ」工場没収事件、前陸軍大臣「スホムリノフ」將軍罪責審問事件等ニ關係アリト称セララルモ其重ナル原因ハ「ボリワーノフ」將軍カ改進黨ニ同情ヲ表シテ而モ下院多數党議員乃至戰時産業委員會議ノ幹部員ト余リニ接近スルニ至リタルカ為メナリト称セラル又本年七月二十日附辭令ニテ外務大臣「サザノフ」氏カ其

職ヲ免セラレタルカ如キモ右「ボリワーノフ」將軍ノ辭職ト同一ノ理由ニシテ現ニ辭職モ亦表面依願トアレトモ其実論旨免職ニ外ナラス尤モ「サザノフ」氏ハ先ニ「ゴレムイキン」内閣ニ在リテ上下兩院ノ改進黨ニ同情ヲ表シタル關係上時ノ農務大臣「クリウォセイン」氏外三四大臣力辭職シタル際ニ此等大臣ト共ニ辭表ヲ呈出シタルノ一人ナリシヲ以テ此点ヨリ言ヘハ「サザノフ」氏ノ辭職ハ依願ニ外ナラサルモ最早其時ヨリハ約半年モ時日ヲ經過シ而モ今日ハ其時トハ情勢ヲ異ニシ加フルニ總理モ其人ヲ異ニシ来リ居レルヲ以テ依願トハ言ヒ難シ「サザノフ」氏辭職ノ近因カ波蘭土自治問題ニ関シテ本問題ニ関シ總理ト外相トノ意見カ衝突シタルコトハ公然ノ秘密ニシテ諸新聞ノ所報ニ依レハ先ニ大本營ニ於ケル御前會議ノ際右自治問題ニ関シ「サザノフ」氏案（波蘭土ニ広大ナル自治ヲ与フル案）ハ最初勝利ヲ制シタルモ其後ニ至リ總理大臣單獨ニ大本營ニ參内シタル結果總理大臣「スチュルメル」氏ノ案（波蘭土ニ制限的ノ自治ヲ与フル案）カ勝利ヲ制スルニ至リタルカ為メナリト称セラル此外露協約殊ニ東清鐵道ノ一部譲与ノコトニ関シ外務大臣力予メ總理外閣員ニ謀ラサリシカ為メ總

理ハ外務大臣ニ對シ不快ノ感ヲ抱クモノナリトシテ此事ヲモ亦之カ近因ノ一ニ數フルモノアリト雖其重ナル原因ハ「サザノフ」氏カ改進黨ノ綱領ニ同情ヲ表シタルカ為メニ外ナラスト云フ「サザノフ」氏ハ開戦以來兎角宮中部内保守派ニ疎セラレタル氣味アリテ此事ヤ同氏辭職以後ニ至リ右党保守派機關新聞カ異口同音ニ「サザノフ」氏ヲ排斥スルノ論調言辭ヲ以テ之ヲ測知スルニ足レリ

外務大臣「サザノフ」氏カ其職ヲ去リ總理大臣兼内務大臣「スチュルメル」氏カ其兼職ヲ免セラレテ更ニ外務大臣ヲ兼任スルコトナリタルニ就テハ露國ノ外政方針變更スヘキヤ否ヤノ問題ニツキ世間ニテハ諸説紛々ニシテ杞憂家中ニハ上院ノ右党議員タリシ「スチュルメル」氏カ外務当局者タルニ至リタルコトハ露國力独逸ト單獨平和ヲ締結スルノ前兆ニハアラサルヤトノ猜疑心ヲ有スル者無キニシモアラスト雖今日露國ニ單獨平和ハ絶對的ニ不可能ニシテ而モ危險ノ業タルヘキヲ以テ将来ハ兎モ角現在ハ何人モ之ヲ締結スルヲ敢テスルヲ得サルヘシ故ヲ以テ「スチュルメル」氏カ外務大臣ヲ兼任スルコトナリタリトシテ直ニ露國ノ

外政政策力變更ヲ来スカ如キコトハ容易ニ有リ間敷キコトナリ現ニ下院議長「ロドジャンコ」氏カ新外務大臣「スチュルメル」氏ヲ此間訪問シテ氏ト談話シタル後下院議長室ニ歸リテ議員ニ語リタル談ナリトテ新聞紙ノ記スル所ニ依レハ新外相ハ露國力同盟軍諸國ト益々其結束ヲ固フシテ独逸ニ對シテ最後ノ勝利ヲ制スルマテ戦争ヲ繼續スルヲ要スト語リタリト云フ又其後新外務大臣「スチュルメル」氏ハ就任披露ニ関シ仏英諸国外務大臣ト電報ヲ交換シテ露國外交政策ニ變更無キコトヲ確固ニシタリ然レトモ「スチュルメル」氏ハ今日マテ未タ外交ニ關係シタルコト無キ為メ外交ノ經驗少キヲ以テ外務大臣「サザノフ」氏ノ戰時外交政策ニ既ニ賛成シテ而モ英仏露三協約ノ利益ヲ認ムル立憲民主党乃至改進黨機關紙ハ一國ノ外政政策ハ外務当局者ノ更迭毎ニ之ヲ變更スヘキモノニアラストシテ新外務大臣ニ猛

トルイビン」氏カ兎徒ノ手ニ倒レタル後ニ一時内務大臣タリシコトアル人ニシテ「フウォストフ」氏ト同シク上院ニ於テハ右党ニ屬シタリ又農務大臣「ナウーモフ」氏ハ八月三日附辭令ヲ以テ上院議員ニ任セラレ内務次官「ボープリンスキー」伯ハ之カ後任トシテ農務大臣ニ任セラレタリ伯ハ上院右党總理ニシテ今ヲ去ル三四ヶ月前ニ内務次官ニ任セラレタル人ナリ

省ヲ促セリ
總理兼内務大臣タリシ「スチュルメル」氏カ其兼職ヲ免セラルルヤ司法大臣「フウォストフ」氏ハ内務大臣トナリ而シテ上院議員「マカーロフ」氏ハ之カ後任トシテ司法大臣ニ任セラレタリ「マカーロフ」氏ハ故總理兼内務大臣「ス

今回ノ内閣小更迭ハ上下兩院改進黨ノ喜ハサル所ナルニ反シ兩院保守團ノ大ニ満足スル所トス現ニ右党機關諸新聞ハ「サザノフ」氏ノ辭職ヲ喜ヒ今ヤ改進黨ニ同情ヲ表スル「サザノフ」氏ハ内閣ヲ去リ右党ニ屬スル「マカーロフ」氏ハ入閣シテ右党ニ同情ヲ表スル人士ハ閣員ノ大多數ヲ占ムルニ至リタリトシテ今回ノ政變ヲ歡迎セリ斯ノ如ク現「スチュルメル」内閣員ノ大多數ハ保守團ニ同情ヲ表シテ而モ上院ニ在リテハ右党ニ屬シタル人士ナリシニ加ヘ新農務大臣「ボープリンスキー」伯ノ如キハ全露貴族會長トシテ内政改革ニ反對運動ヲナシテ名アル人ナリシヲ以テ一般ニ民党上下兩院ノ改進黨殊ニ下院立憲民主及改進黨員ハ現内閣ニ對シテ不満ヲ抱キテ今回ノ政變ヲ悲ミ以テ「サザ

ノフ」氏カ其職ヲ去リシハ国家ノ不祥ナリトシテ同氏ニ同情ヲ表スルノ電報ヲ送レリ

露国ノ内閣ハ開戦後二週年間ニ再々小更迭ヲ来シ現ニ開戦当初ヨリ今日マテ引続キテ大臣ノ職ニ在ル者ハ僅カニ宮内大臣ヲ除ク外ニ海軍及大藏両大臣アルノミニシテ其他ハ皆新大臣トス就中内務大臣ノ如キハ此間ニ其更迭四度ニ及ビ又宗務院長ノ外陸軍、司法及農務三大臣ノ如キモ亦三度ノ更迭ヲナシタリ以上閣員更迭ノ原因ハ内閣力不統一ニシテ而モ内政ニ関スル閣員ノ意見一致セシテ要スルニ閣員タル官僚間ニ民党ノ言ニ耳ヲ傾クルヲ欲スル者ト否ラサル者トアリシカ為メニ外ナラス現ニ開戦当初時ノ内務大臣「マクラコフ」司法大臣「シチュグロウイートフ」諸氏即チ民党ノ言ニ耳ヲ傾クルヲ欲セサリシ人士ノ説ハ当初「ゴレムイキン」内閣ニ於テ勢力アリシモ其後時ノ農務大臣「クリウオセイ」氏一派ノ説ハ勢力ヲ占ムルニ至リシヲ以テ右諸氏ハ其職ヲ去リ而シテ「クリウオセイ」氏一派ト其説ヲ全フスル「シチュエルバートフ」公等入閣シタリ然レトモ總理大臣「ゴレムイキン」氏カ政府ノ對議會政策ニ関シ「クリウオセイ」氏一派ノ説ヲ斥ケタルヲ以テ上下両院

ノ改進黨ニ同情ヲ表スル同氏一派ハ其職ヲ去リテ保守団ノ綱領ニ同意ヲ表スル人士ハ其職ニ就クニ至レリ其後「ゴレムイキン」氏カイヨイヨ議會ト衝突シテ總理ノ職ヲ自己ノ政友「スチュエルメル」氏ニ譲リテ内閣ヲ去ルニ至リタリト雖「スチュエルメル」内閣ニ於テハ保守団ニ同情ヲ表スル人士続々入閣シ之ニ反シ改進黨ノ綱領ニ同意ヲ表シタル人士ハ段々ト其職ヲ去リ今ヤ現内閣ニテ改進黨ノ要求ニ同情ヲ表スル者ハ文部大臣「イーグナチエフ」伯ノミトナルニ至レリ

三、現内閣ノ政策及方針

現總理大臣「スチュエルメル」氏ハ本年二月九日議會開会ノ初日ニ於テ議會ニ出席シテ其政策及方針ニ関スル演説ヲ以テ議會並ニ地方会及市会等ノ自治団体ヲ重視シ且又戰時中ト雖諸般ノ内政改革ヲ行フノ必要アリトシテ前總理大臣「ゴレムイキン」氏ノ政策及方針ト全ク異リタルノ声明ヲナシタルニ拘ハラス議會ハ新總理ノ声明カ果シテ誠意ニ出テタルモノナルヤ否ヤヲ疑ヒテ容易ニ「スチュエルメル」氏ノ声言ヲ信スルコト無カリキ之カ為メ議會ハ其後機會アル毎ニ其決議案ヲ以テ現内閣ノ組織ヲ否認シテ國民ノ信任ア

ル者ヲ内閣ニ入レテ挙国一致内閣ヲ組織スルノ必要ナルコトヲ議決シ以テ次ノ日程ニ移リタリ要スルニ議會ハ新總理大臣カ改進黨ノ要求ヲ容ルルノ政策及方針ヲ示シタルニ拘ハラス之カ実行ヲ疑問トシタリ

前總理「ゴレムイキン」氏ハ晩年露骨ニ改進黨ノ要求ヲ斥ケタルモ現總理「スチュエルメル」氏ハ之ニ反シ同団ノ要求ヲ容ルルノ態度ヲ示シタリ然レトモ同氏ハ實際ニ於テハ未タ其要求ヲ容ルルコト無クシテ現ニ改進黨綱領ノ骨子タル國民ノ信任アル者ヲ内閣ニ入ルヘシトノ要求ハ容易ニ實現スル模様無キノミナラス反對ニ今ヤ政府ハ戰時中内政ノ改革ハ危險ナリトノ保守団ノ主張ニ左袒シテ改革ハ之ヲ戰後ニ延ハスノ方針ニ傾キタリト称セラル尤モ政府ハ耶蘇復活祭後村民ノ權利制限ニ関スル法律廃止法案其他一二ノ内政改革ニ関スル法案ヲ議會ニ提出シテ之ヲ議事日程ニ上サシメタリト雖此等諸法案ハ左程重大ナルモノニアラスシテ露国ノ国制組織ヲ根本的ニ改革スルニ足ルヘキ村自治法案其他ハ政府未タ容易ニ之ヲ議會ヲシテ議セシムルニ至ラス

又新總理大臣「スチュエルメル」氏ハ其就職当初全露地方会

代表者聯合会及全露市会代表者聯合会並ニ戰時産業委員會議ノ三大団体ノ事業ニ重キヲ置キテ之カ事業ヲ贊美シ而シテ其後右三大団体ニ對スル政府ノ態度ハ少シク變調ヲ来シ現ニ前内閣以來ノ懸案タル右兩代表者聯合会公認問題ハ未タ解決スルニ至ラサルノミナラス又昨今政府ハ以上三大団体中ニハ革命的思想ヲ有スル人士少カラスシテ此等人士ノ思想ハ日ニ月ニ右団体ノ内外ニ伝播シツツアルヲ以テ同団体ハ国家ノ為メ危險ナリトノ保守団右党人士ノ主張ニ左袒シツツアリト称セラル

斯ノ如ク總理大臣「スチュエルメル」氏ノ声明ハ未タ容易ニ実行セラルルニ至ラサルノミナラス内閣ハ上院右黨議員ノ多数ヲ以テ固メラレ而シテ改進黨ノ綱領ニ同情ヲ表シタル閣員ハ今ヤ殆ント全ク其職ヲ免セラレテ内閣ヲ去ルニ至リタルヲ以テ少数黨タル保守団ニ屬スル人士ハ現總理ノ政策及方針ヲ謳歌スルニ反シ多数黨タル改進黨ニ屬スル人士ハ右政策及方針ヲ喜ハサルナリ之カ為メ民間ニ於テハ總理ノ評判ハ次第ニ悪クシテ殊ニ「ゴレムイキン」内閣以來保守団ニ同情ヲ表スルヲ以テ名アル司法大臣「フウォストフ」氏ニ内務大臣ノ職ヲ譲リ改進黨ノ綱領ニ同意ヲ表シタル外

務大臣「サザノフ」氏ヲ斥ケテ總理カ自ラ外務大臣ヲ兼任スルニ至リタルコトハ自由改進派人土ヲシテ「スチュルメル」氏ヲ一層嫌忌セシムルノ因トナレリ

前總理「ゴレムイキン」氏ハ兎モ角モ正々堂々ト改進團ノ綱領ヲ斥ケタルモ現總理「スチュルメル」氏ハ口ニハ同團ノ綱領ノ大部分ヲ是認シタルニ拘ハラス時日ノ経過ト共ニ事實ハ之ニ反スルノ傾キアルヲ以テ民党ハ未タ容易ニ氏ヲ信任スルニ至ラス又氏ハ正教信者トシテ宗教上ヨリ所謂「ルースキー」ニ數ヘラレ而モ正教ニ熱心ナリト云フモ其祖先ハ独逸人ナリ然レトモ氏ハ大ニ國粹主義ヲ街ヒ其外務大臣ヲ兼任スルニ至ルヤ新聞記者ニ向ヒテ外務省ハ外形ニ於テ歐洲ヲ學ヒ精神ニテ露西亞のタルヲ要スト語リタリト云フ

右ノ如ク「スチュルメル」氏ハ独逸人タルニ拘ハラス「ロマノフ」家祖先時代ノ露西亞主義ヲ振廻ハスヲ以テ世人ハ之ニ對シ異様ノ感ヲ抱キ氏ヲ以テ露西亞人以上ノ露西亞人ナリトシテ嘲弄のニ氏ニ露西亞貴族（「ボヤーリン」）「スチュルメル」君ナル綽号ヲ下スト同時ニ氏ヲ以テ煮テモ焼キテモ喰ハレサル古狸ナリトノ野鄙ナル言辭ヲ以テ氏ヲ批

評スルモノアルニ至レリスノ如キ批評ヲ下スモノハ多ク改進團ニ屬シテ而モ自己ノ要求カ容レラレサルコトヲ以テ氏ヲ恨ム人士ニシテ保守團ニ屬スル人士ハ氏ノ人品ヲ稱賛セリ

改進團ニ屬スル人士ハ政府カ同團ノ要求ヲ容ルルニ至ラサルヲ以テ政府ヲ攻撃スト雖其要求中ニハ事實露國ノ現制度ト相容ルヘカラサルモノアルヲ以テ政府カ同制度ヲ根本的ニ革メサル限り之カ要求ノ全部ヲ容レテ之ヲ實現セシムルコトハ不可能ナルヘシ加フルニ現制度ヲ飽クマテ維持スルヲ要ストノ意見ヲ抱持スル人士ハ朝野ニ於テ未タ侮ルヘカラサルノ勢力ヲ有スルヲ以テ露國ノ内政ヲ根本的ニ改革スルノ目的ヲ貫クコトハ容易ノコトニアラサルヘシ

四、國民ト戦争

今度ノ歐洲戦争ハ露國ニ於テモ亦全國民のニシテ少クトモ名義上ハ官民上下挙國一致ノ戦争ナリ故ヲ以テ内心ニ露國カ独逸ト戦争スルコトヲ好マサル独逸民族（露國臣民タル）乃至独逸ト商工業上其他ノ利益關係ヲ有スル者ト雖口ニハ戦争継続ヲ唱ヘツツアリ何トナレハ今日平和ヲ口ニスル者ハ非愛國者ナリトシテ世間ヨリ攻撃非難ヲ受クルノ恐

アレハナリ然レトモ官民上下挙國一致ノ実ハ未タ全カラスシテ事實官民上下ハ互ニ相敵視スルノミナラス又國民間ニモ大ニ軋轢ノ存スルアリ現ニ甲民族ハ乙民族ヲ恨ミ又甲階級ハ乙階級ノ為メニ苦シメラルルノ弊アリ之カ為メ露國ニ於テハ官民上下挙國一致以テ専ラ其力ヲ外敵ニ向ケテ集中スルコト困難ナリ是レ畢竟露國國民カ各々其人種言語宗教歴史習慣ヲ異ニスルカ為メニ國民間ニ所謂共通一貫ヲ欠クルト同時ニ其現制度組織カ甲民族ニ厚クシテ乙民族ニ薄ク又甲階級ニ利アリテ乙階級ニ害アルカ為メニ外ナラス加フルニ露國ニ於テハ政体ニ関シ國民全体ノ見解カ未タ一致スルニ至ラスシテ現ニ左党ハ所謂十月十七日詔勅ニ基キ露國ヲ立憲君主制ノ國ナリトスルニ反シ右党ハ露國ヲ以テ依然独裁君主專制ノ國ナリトシ加フルニ極左党ハ露國ヲ以テ共和制ノ國トナスコトヲ予期セリ之カ為メ露國國民ハ目前ニ

外敵ヲ控フルニ拘ハラス内政問題ニ関シ互ニ相衝突シ現ニ上下兩院改進團殊ニ立憲民主改進諸党ハ内政問題ノ解決ハ官民上下挙國一致ノ実ヲ全フスルニ伴フ先決問題ニシテ而モ戦争継続ニ直接關係ヲ有スルモノナリトシテ此際本問題ヲ解決シテ現制度ヲ改革スヘシト主張スルニ反シ保守團ハ

政府ヲ支持シテ本問題ノ解決ハ之ヲ戰後ニ譲リテ戦争中官民上下ハ専ラ力ヲ戦争ノ為メニ集中スルヲ要ストシテ現制度ヲ擁護シ以テ政府カ此際國民ニ權利自由ヲ与ヘテ政治ニ嘴ヲ容レシムルハ露國將來ノ為メニ危險ナリト主張セリ此故ニ英仏同盟軍諸國ニ於テハ所謂挙國一致内閣成リテ官民ハ専ラ其力ヲ外敵ニ對シテ集中シツツアリト雖露國ニ於テハ現制度組織問題カ官民爭鬭ノ目的物ト成リ居レルヲ以テ露國官民上下ハ外敵ト戦争中ナルニモ拘ハラス互ニ敵視シテ奮闘シツツアリ

右現制度改革問題カ戦争後ニ於テ当然喚起セラルヘキコトハ戦争開始前ヨリ之ヲ知ルニ難カラサリシモ本問題カ戦争中ニ而モ斯クモ速カニ喚起セラルヘシトハ当初何人モ之ヲ予期セサリキ然ルニ敵國カ意外ニ頑強ナリシニ反シ露國ノ軍備カ充実シ居ラサリシコト明白トナリテ之カ為メ政府カ兵器彈藥物資供給ニ関シ國民ニ嘴ヲ容レシムルノ已ムヲ得サルヲ認ムルニ至ルヤ國民ハ此戦争ヲ名実兩ラ國民のタラシムルヲ必要ナリトシテ之カ条件トシテ内政改革問題ヲ提起スルニ至リタル次第ナリ要之現制度打破ハ國民多数ノ目的ナルヲ以テ若シ戦争中ニ此目的カ達セラレサル場合ニハ

此等国民ノ多数ハ戦後ニ至リテ之カ目的ヲ達スル為メ現制度擁護者ト一大奮闘ヲ試ミルニ至ルヘシ是レ則チ露国ニ戦後革命アルヘシト予期セラルル所以ナリ

斯ノ如ク今回ノ戦争ハ国民のナルヲ以テ露国外敵殊ニ独逸ニ対シ勝利ヲ制スルコトハ露国国民多数ノ第一ノ目的ナリト雖国民ノ目的ハ必ズシモ是レノミ止マラスシテ此際現制度ヲ打破シテ新露国ヲ建設スルコトハ国民多数ノ第二ノ目的トス此新露国建設ニ関シテハ民間ニ「強大ナル」新露国ヲ望ム者ト「文化ノ」新露国ヲ希フ者トノ兩者アリ就中前者ハ露国ノ外政ニ重キヲ置クニ反シ後者ハ露国ノ内政ヲ主トセリ「強大ナル」新露国論者ハ露国カ此際第一ニ「ダルダネルス」海峡ヲ領有スルコトヲ必要トスルモ「文化ノ」新露国論者ハ露国カ此際第一ニ四民ニ平等ノ權利ヲ賦与スルヲ必要トセリ此ノ如ク兩者ハ新露国建設ニ関シ順序及緩急ノ程度ニツキ其説ヲ異ニスト雖内政改革ノ点ニ関シテハ其説ヲ一ニシテ共ニ現制度打破論者ナリ然レトモ国民ノ一部即チ保守派人士ハ新露国建設ニ全然反対ニシテ此等人士ハ飽クマテ現制度維持ヲ必要トスルノミナラス同派人士中ニハ現制度擁護維持ノ為メ独逸ト单独平和ヲ締結ス

連ハ皇室ノ繁榮及自己ノ利益上現制度ノ維持ヲ必要トシテ此目的ヲ達センカ為メニハ独逸ヲ或ル程度以上ニ屈伏セシムルコトヲ好マサルノミナラス又一般ニ露国臣民タル独逸人中ニハ露国ニ於ケル自己ノ在来ノ優勝ナル位置ヲ保持セシムルカ為メ自己ト同人種ノ国タル独逸帝国カ依然強國トシテ隣境ニ存スルヲ希望スル關係上露国ニ於テモ亦自然独逸トノ单独平和ヲ内心ニ欲スルモノアルヘキヤ当然ナリ独逸ハ此辺ノ消息ヲ詳カニスルヲ以テ之ヲ機トシ露国单独平和ノ目的ヲ達センカ為メ今尚百方運動中ナリト云フ

然レトモ現制度ヲ欲セサル民衆即チ自由改進兩党及社会党ハ露国カ将来独逸ト再ヒ伝来ノ親交關係ヲ旧ニ復スルコトヲ好マサルヲ以テ同党ハ此際露国ノ独逸ニ関スル關係ヲ根本的ニ變更スルノ決心ヲ有セリ露独ノ親交ハ露国在来ノ現制度ヲ謳歌スル官僚保守派人士即チ一部国民ノ為メニハ利益ナリト雖民衆即チ国民ノ多数ニ対シテハ不利益ニシテ現ニ是迄独逸ハ露独兩國ノ親交ヲ利用シテ近東ヲ自己ノ勢力ノ下ニ歸セシメンカ為メ露国外政ノ中心ヲ近東ヨリ極東ニ移サシメ以テ日露兩國ヲシテ戦争スルニ至ラシメタルノ歴史アルノミナラス露国国民力進歩シテ発達自覺スルコトハ

ヘシトノ意見ヲ有スル者アリト称セラル

五、露国单独平和運動

歐洲戦争ハ今日マテノトコロ独逸側ノ勝利ナリト雖此戦争カ此儘今後何年モ続キテ而モ英仏露三国殊ニ露国内ニ於テ此間ニ何事モ無クシテ内政穩カナル場合ニハ自然独逸ハ閉口シテ終局ノ勝利ハ聯合軍側ニ歸スルニ至ルヘキヲ以テ独逸カ今ノ中ニ平和締結ヲ欲スルヤ自然ノ勢ナリ加フルニ独逸ノ重ナル敵ハ英國ナルカ為メ独逸カ英國ヲ屈伏セシメンカ為メ露国ト单独平和ヲ締結スルコトヲ希望スルヤ是レ亦当然ナリ故ヲ以テ独逸ハ此目的ヲ達センカ為メ是レ迄直接又ハ間接ニ再三露国ニ向ッテ单独平和締結ノ試ミヲナシタリト称セラル

元来露独兩國国民ハ互ニ其文明及知識ノ程度ヲ異ニシ而モ兩國ノ利害ハ近東ニ於テ衝突スルニ拘ハラス兩國皇室及政府ハ歴史伝来の親交關係ヲ有シ殊ニ露国官僚保守派ハ現制度維持ノ為メ自国政府カ独逸皇帝ノ政府ト提携シテ民主主義ヲ拒スルヲ欲スルノ余リ夙ニ独逸露三帝神聖同盟ノ再興ヲ希望シタリ加フルニ露国臣民タル独逸民族殊ニ露国皇室ノ藩屏ヲ以テ自ラ任スル「バルチック」沿岸諸県ノ貴族男爵

独逸カ露国ノ經濟的利益ヲ壟斷スル上ニツキ独逸ノ為メ有害ニシテ且危險ナルヲ以テ独逸ハ露国政府カ内政ヲ改革シ国民ニ自由ヲ与ヘテ之ヲ文化ニ導クコトヲ欲セスシテ露国カ依然独裁君主專制ノ国トシテ存スルコトヲ希望セリ故ヲ以テ露国国民ハ常ニ独逸ヲ嫌忌シテ露独接近ニ反対セリ然レトモ官僚保守派ハ露独兩國政府ノ接近ヲ露国ニ必要トシ現ニ官僚ハ日露戦争前独逸皇帝ノ政府ト氣脈ヲ通シテ国内ニ於ケル自由改進派人士ヲ国外ニ追放シ又親独派ノ名アリシ時ノ内務大臣「ブレーヴェ」農務大臣「シュワネバハ」諸氏ハ露国ノ政況内情ニ関シ独逸皇帝ニ報告書ヲ上リツツアリタリト云フ

斯ノ如ク独逸ハ露国ノ内外政ニ干渉シテ而モ露国政府ヲ援助シテ露国国民ヲ圧セシメタルノ歴史アルヲ以テ露国ニ於テハ国民殊ニ民衆ハ一般ニ独逸皇帝ノ政府ヲ蛇蝎視シタリ此故ニ今度は迄独逸政府ト氣脈ヲ通シテ自国国民ヲ圧シタル露国政府カ独逸ト開戦セントスルニ至ルヤ露国国民ハ双手ヲ挙ケテ「サザノフ」氏ノ強硬外交ヲ歡迎シテ戦争ニ賛成シ以テ此際露国カ民主主国タル英仏同盟軍諸國ト共ニ君主國ノ敵タル独逸軍國ニ大打撃ヲ与ヘテ将来露国政府カ再ヒ独

逸皇帝ノ政府ト提携シテ自由改進黨乃至民主主義ヲ圧スルコトヲ永久ニ不可能タラシメシカ為メ戦争ヲ最後マテ継続スルノ決心ヲ有セリ尤モ露国社会党ノ一派ハ固ヨリ露国カ同盟軍諸國ト提携シテ独逸軍國ニ大打撃ヲ加フルヲ欲スルモ自国政府カ大勝利ヲ得テ更ニ領土ヲ拡張シテ以テ露國ヲ独逸ニ代ル一大軍國トシテ国内ノ民主主義ヲ压迫スルニ至ルヘキヲ危険トスルカ為メ同党一派ハ露国カ英仏諸國ト共ニ独逸ニ対シテ勝利ヲ制スルトシテモ其勝利ハ露国政府ノ勝利タラシムルコト無クシテ露国国民ノ勝利タラシムルヲ必要トセリ此点ヨリシテ右社会党ノ一派ハ露国現政府ノ当局者カ戦争ノ終ルマテニハ現制度ヲ維持シ能ハスシテ其職ヲ去ルノ時機到来スルニ至ルヘシトシテ其時期ヲ期待シテ戦争継続ニ左袒セリト云フ

如上露国国民ノ大多数ハ内外ノ原因ヨリシテ戦争継続説ニ一致シテ今日露国カ独逸ト单独平和ヲ締結スルコトニ大反対ナリ之カ為メ若シ露国政府カ独逸ト单独平和ヲ締結セハ国民ハ之ニ反対シテ之ヲ機トシテ革命ヲ起スノ危険アルヲ以テ現制度ノ維持ヲ欲スル人士ハヨシヤ内心ニ露独ノ单独平和ヲ希望スルトシテモ之ヲ口ニスルコト無クシテ反対ニ

戦争継続説ヲ唱道シツツアリ官僚保守派人士乃至独逸民族男爵連ノ戦争継続論ニ関シ其継続論ハ誠意ニ出テタルモノニアラストノ觀察ヲ下ス者少カラスト雖此觀察ハ強チ当ヲ得タルモノニアラスシテ此中ニハ事實誠意ニ戦争継続ヲ主張シテ極力单独平和説ニ反対ノ人士少カラス何トナレハ戦争ハ国民のタルヲ以テ国民カ平和ノ声ヲ発セサル前ニ政府カ自ラ進ンテ独逸ト单独平和ヲ締結スル場合ニハ国民ハ直チニ革命ヲ起スノ危険アレハナリ故ヲ以テ此等人士ハ斯ル危険ヲ冒スノ輕拳ニ出ツルコトヲ欲セサルヘキノミナラス今回露国政府カ独逸ニ対シテ勝利ヲ制スルヲ得サル場合ニハ政府ノ運命ハ到底危カルヘキヲ以テ政府力是非トモ露軍ヲシテ独逸軍ニ対シ勝利ヲ制セシムルヲ必要トセリ斯ノ如ク官僚保守派及独逸民族男爵連ノ大部分ハ今日トナリテハ實ニ表面上ノミナラス又實際上戦争継続ヲ必要トシテ单独平和ヲ非トスト雖此等人士連中ノ一部分中ニハ事實内心ニ於テ露独ノ单独平和ヲ希望スルノミナラス此等一部ノ人士ハ单独平和問題ニ関シ其筋ニ意見書ヲ呈出シタリト称セラハ此等人士ハ露国カ今日ヨシヤ敵ニ対シ勝利ヲ制シタリトシテモ其勝利カ既ニ国民ノ援助ニ成リタル以上ハ露国カ將

来現制度ヲ維持スルコト自然困難ナルヘキヲ以テ政府ハ寧

ロ今日速カニ独逸ト单独平和ヲ締結シ而シテ国民力若シ之ニ対シ革命ヲ起サントスル場合ニハ軍隊ヲ以テ之ヲ鎮圧スルニ若カストノ意見ヲ有スト云フ又昨今新聞紙ノ所報ニ依レハ保守派人士ハ此間又々其筋ニ意見書ヲ呈出シ其中ニ戦争ハ固ヨリ必勝ヲ期スヘキモ革命派ハ全露地方会代表者聯合会、全露市会代表者聯合会及戰時産業委員會會議内ニ勢力ヲ占メ而シテ其ノ勢力ハ日ニ増シ增長シツツアルヲ以テ一刻モ早ク勝戦シテ速カニ戦争ヲ終ヘシムルヲ要ストノ文句ヲ以テ建白スル所アリタリト云フ要之官僚保守派右党ノ一部分ニハ露国カ独逸ト单独平和ヲ締結シテ民黨ノ跋扈ヲ防止スルヲ要ストノ意見ヲ有スル人士アリト云フト雖此種ノ人士ハ未タ極少数ニシテ官僚保守派右党ノ大部分ハ将来露国カ独逸ト再ヒ伝来歴史的ノ親交關係ヲ復興スルコトハ露国現制度維持ノ為メ必要ナルモ今日トナリテハ露独ノ单独平和ハ害アリテ利無キヲ以テ此際政府ハ先ツ第一ニ戦争ニ勝チテ好機會ヲ見テ直ニ平和ヲ締結スルカ又ハ国民カ物価騰貴生活困難ノ為メ戦争ニ飽キテ苦痛ノ余リ平和ヲ叫ビ出シタル時ヲ俟チテ平和ヲ締結スルカ何レカ其両者ノ一ヲ選

ンテ平和ヲ締結スルノ外無シトノ意見ヲ有スト云フ

六、物価騰貴

今回戦争ノ為メ糧食日用品欠乏シテ物価騰貴シタル為メ露国国民ハ一般ニ生活ニ困難スルニ至リタルモ職工労働者等ハ一方ニハ国民軍召集セラレタルト同時ニ又他方ニハ兵器彈藥軍用品製造ニツキ諸工場動員セラルルニ至リタル為メ勞力ニ不足ヲ来シテ労働賃銀騰貴スルニ至リタルヲ以テ實ニ左程生活ニ困難スルニ至ラサリシノミナラス反ツテ目下ノトコロ平年ニ比シ好良ナル状態ニ在ルニ至レリ是迄露國ニ於テハ労働者職工等ノ状態ハ極メテ悪カリシヲ以テ革命黨員ハ之ヲ機トシテ往々彼等ヲ煽動シテ所謂政治的同盟ヲ企テシムルヲ常トシタルモ今回ハ物価騰貴ニモ拘ハラス職工労働者等ノ収入増加シタル結果トシテ彼等ノ状態比較的好良ナル為メ革命黨員ハ未タ彼等ヲ煽動スルニ至ラス又不平青年ノ巢窟トモ称セラレタル大学ノ学生及女学生并ニ逆境ニ立チテ常ニ不平ヲ鳴ラスヲ事トスル多数ノ大学卒業生等ハ今度ノ戦争ニテ国民軍ニ召集セラルルニアラサレハ速成士官トナリテ社会ヨリ相当ノ待遇ヲ受ケテ而モ責任アル位置ニ立チテソレソレ働キ又女学生ノ多数ハ篤志看護婦ト

ナリテ勤務中ナルヲ以テ未タ所謂大学生騷キヲ見ルニ至ラス
斯ノ如ク労働者職工大学卒業生等ハ比較的ニ物質的好良ノ境遇ニ在ルヲ以テ未タ特ニ生活ニ困難スルニ至ラスト雖中等社会ハ戦争トナリテ何等其収入増加スルコト無キカ為メ大ニ生活ニ困難シツツアリ然レトモ中等社会ハ露国ニ於テモ亦国家ノ健全分子ナルヲ以テ彼等ハ生活困難ナルニモ拘ハラス忍耐ヲ旨トシ之カ為メ中等社会ノ者ハ何等不穩ノ挙動ニ出テサルナリ去リ乍ラ中等社会ノ忍耐力ニモ限度アルト同時ニ労働者職工等ニ対スル待遇ニモ程度アルヲ以テ此戦争カ今後何年モ継続シテ而モ生活日用品カ今日ノ如キ勢ヲ以テ日ニ増シ欠乏シテ物価騰貴スルニ至レハ此事カ原因トナリテ社会ニ變調ヲ来サストモ保シ難シ殊ニ露国ノ如キ諸民族ヨリ成レル国民ノ国ニ在リテハ煽動家ハ嘗ニ革命黨員中ニ之ヲ求ムルヲ得ルノミナラス又之ヲ社会ノ各方面ニ就キテ而モ意外ノ所ニ求ムルコトヲ得ヘキト同時ニ其煽動ノ方法手段ニモ亦種々アルヲ以テ俄然意外ノ出来事偶発スルヤモ測知シ難シ此故ニ保守派一部ノ所謂単独平和希望者連カ所望スル通り群集ハ生活困難ノ余リ政府ニ平和締結ヲ

織力可ナリシトセハ右日常生活品ノ欠乏ハ今日ノ如キ甚シキ程度ニ至ラサリシナルヘシ

(附記)

八月三十日朝鮮駐劄憲兵隊浦潮情報
大正五年 八月三十日 朝憲機第三九四号

浦潮情報

露国ノ大戦中ニ於ケル民心情况 (露国官報所載)

浦潮派遣員報告

「ペテルグラド」電報通信社ハ玆ニ世界の大戦争ニケ年ヲ經過シタルノ機ニ際シ露西亜帝国内一般国民ノ意想ニ付全国有ユル地方ヨリ其ノ情報ヲ蒐集セシカ之ヲ綜合シタル所ニ依レハ帝国内到ル処ノ国民ハ今ヤ大戦ノ第三年ニ入ルニ臨ミ上帝ハ必ス神人ノ正道破壊者ニ向テ銃剣ヲ手ニシテ奮起シタル露西亜及其ノ聯盟国ニ勝利ヲ与ヘ彼ヲ屈服セシムヘキコトヲ確信シ都鄙何レノ民モ意氣盛ニシテ遠カラス兇敵ノ潰滅スヘキヲ静ニ期待シ又頃者既ニ敵ノ潰滅セントスルモノアルヲ熟知シ全勝ヲ得ル為ニハ聊カモ恤兵ヲ辞セス第三年ニ入ルヤ各地ノ寺院ニハ民衆相集リテ我カ志氣ニ対シ上帝ヨリ永久不滅ノ大功ヲ樹テシメラレムコトヲ祈リ又

要求スルコト万之レ無シトモ保証シ難ク又革命派カ希望スル通り群集カ一揆ヲ起スニ至ルヤモ保シ難シ殊ニ社会民主及労働両党ハ現在形勢ヲ傍觀スルノ姿勢ニテ未タ直接職工労働者ヲ煽動スルノ模様形跡無クシテ両黨員ハ寧ロ職工労働者ノ運動ヲ牽制シテ一定ノ程度マテ戦争ヲ継続セシメ以テ自己ノ内外ノ両敵ヲ疲ラシ而シテ後活動ヲ始ムルノ方針ナリト称セラル故ヲ以テ両党ハ自己ノ主義ヲ実現セシムルノ目的ヲ以テ時機ヲ見テ自己ノ勢力ノ下ニ在ル職工労働者ヲ煽動スルニ至ルヘシ此故ニ露国朝野ノ愛国家ハ物価騰貴ニ関シ善後策ヲ講シツツアリト雖行政機關ノ組織ニ欠点多クシテ機關カ敏活ニ働カサルニ加ヘ投機商ハ之ヲ機トシテ暴利ヲ貪リ之カ為メ日用品生活品ハ其実未タ国内ニ存シテ此点ハ独逸ト比較スヘクモアララスト雖同品ノ欠乏ハ日ニ増シ其度ヲ高メ現ニ露人ノ日用品タル砂糖麦粉ハ市場ニ不足シ又上下兩院ノ協賛ヲ經タル牛肉其他食肉販賣制限法ハ今ヤ裁可セラレテ現行法トナルニ至レリ斯ノ如ク農牧産国トシテ同産品ヲ外国ニ輸出シテ国家經濟ヲ維持スル露国カ穀物食肉等ニ欠乏ヲ来スニ至リタルコトニ就キテハ諸種ノ原因アリト雖其重ナル原因ハ組織ノ不可ナルコトニシテ若シ組

戰場ニ於テ憤死シタル我カ勇士ノ神靈ヲ追弔シ諸新聞ハ統帥陛下司令官殿下其ノ他諸將軍ノ肖像ヲ掲ケテ民意ヲ代表セリ

以上

報告通報先

總督 政務總監 総務局長

陸軍大臣

參謀總長 関東都督

軍司令官

師團長 憲兵司令官

内閣書記官長

内務次官 外務次官

四四七 十一月十七日

在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
寺内兼任外務大臣宛 (電報)

露国議會十四日開会シ下院多数派議員連日政

府攻撃演説ヲ為シ居ル旨報告ノ件

第九一四号

予定ノ通本月十四日露国議會召集セラレタルモ政府ニ対スル下院多数派ノ態度穩カナラサルコト予テ明白ナリシヲ以テ政府ハ是迄ノ例ニ反シ開会初日上下兩院ニ於テ施政方針ヲ宣言セサリシカ下院ニ於テハ右党及国民党ノ少数派ヲ除キ多数派議員ハ現内閣ノ政策ニ反対ニシテ連日議場ニ於テ

政府ノ内外政策ヲ批難攻撃シツツアルヲ以テ議會多数派カ此上政府ニ対シ強硬ノ態度ニ出ツルニ於テハ政府ハ議會ヲ解散スルニ至ルヤモ計リ難シトノ風説アリ

四四八 十一月二十二日 在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国下院多数派ガ首相ノ辭職ヲ要求ニ付報告

ノ件

第九二八号

往電第九一四号ノ通下院大多數ハ現内閣ニ反对シ国民ノ信任アル内閣組織ノ必要ヲ説キ立憲民主党首領 Minkow ノ如キハ總理大臣ハ敵国ト款ヲ通スルモノナリトノ語氣ヲ洩ラシテ其ノ辭職ヲ要求シ其ノ他ノ議員モ氏カ内閣ニ在ル限リ国民ハ戦争ノ目的ヲ達スル能ハストナシ此際總理以下二三大臣ヲ辭職セシメスンハ已マサルノ(脱)云フ玆ニ於テ政府部内ニ於テハ議會解散ヲ主張スルモノアリシモ解散ハ却テ国家ノタメ危険ナリトシテ之ニ反对スルモノ多カリシタメ沙汰止ミトナレリトノコトニ付或ハ總理以下二三大臣ハ辭職ノ已ムナキニ至ルヘキカ下院議長ハ議會開会前民意上奏ノタメ拜謁ヲ求メテ許サレス議長ニ再選セラレタルヲ

第五一号

(十一月二十五日接受)

露国首相ノ更迭ニ関シ二十四日ノ「ルスキヤ、ウェドモスチ」ハ旧首相ノ辭職ハ最近ニ於ケル政府議會大衝突ノ結果ニシテ誤レル政策ニ依リ国家ニ危険ト恐怖ヲ来シタル彼ヲ排斥シ得タルハ国民ノ勝利ト云フヘキモ進ンテ旧政事組織ノ改革ヲ見サル限リ断シテ安ンスヘカラス而シテ新首相ノ就任ハ之ニ関シテ何等ノ光明ヲ与フルモノニアラスト云ヒ「ウトロ、ロッシ」ハ政府議會衝突ノ中心ハ閣員ノ人物如何ヨリモ其政事組織如何ニ在リ故ニ旧首相ニ代フルニ其閣僚ノ一員ヲ以テスルモ畢竟同一局面ノ反覆ニ過キスト評シ其他ノ諸新聞モ略ホ同一論調ニシテ一般ニ政府攻撃ノ露骨ナルハ民心ノ趨向ヲ示スモノトシテ注目ニ値ス

四五一 十一月二十四日

在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国新首相ニ対スル下院ノ態度ニ関スル件

第九三七号

(十一月二十六日接受)

總理大臣更迭ニ関シ下院多数派タル所謂改進黨ノ多数ハ「スチュルメル」氏ノ辭職ヲ喜フモ新總理 Trepoff 氏ハ

機トシ更ニ民意殊ニ議會多数党ノ希望ヲ上奏セムタメ拜謁ヲ願ヒ出タル趣ナルモ今日迄御許可ナシ本月十八日下院ハ議長ノ拜謁ヲ終ル迄討議ヲ中止スルコトニ決シタリ之ヲ要スルニ議長拜謁後ノ下院議事ハ内閣ノ進退ニ大關係ヲ有スルモノト觀察セラル

四四九 十一月二十四日 在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国下院ノ政府トノ衝突議會停会及首相更迭

ニ付報告ノ件

第九三五号

下院ハ政府ト衝突シ議長ガ拜謁ヲ得ル迄議事ヲ休ムコトニ決シタルガ政府ハ緊急勅令ヲ以テ今二十四日ヨリ来月二日迄上下両院ニ停会ヲ命ジ同時ニ皇帝ハ總理大臣 Sumner 氏ノ職ヲ免ジ特別勉勵ヲ賞シテ式部長官ノ名譽ヲ授ケ交通大臣 Trepoff 氏ヲ現職ノ儘總理大臣ニ任ゼリ

四五〇 十一月二十四日 在モスコフ平田總領事代理ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国首相更迭ニ対スル「モスコフ」新聞論評

報告ノ件

「スチュルメル」内閣ノ政策ヲ賛成シ併カモ前總理ヲ援ケタル人ナリトシ今回ノ更迭ヲ以テ其ノ人カ代リタルノミニシテ何等政策ノ變更ヲ意味セストテ新總理ヲ歡迎セズ然レドモ平素前總理ノ政策ニ賛成セル少数派タル右党新聞ハ新總理ヲ以テ前總理以上ニ意志堅固ナル熱心家ナリトシテ之ヲ歡迎セリ

四五二 十一月二十四日 在モスコフ平田總領事代理ヨリ
本野外務大臣宛

露国首相更迭ニ関スル「モスコフ」新聞論調

報告ノ件

附屬書 「モスコフ」二新聞ノ社説訳文

政第一一三号 (十二月二十五日接受)

大正五年十一月二十四日

在莫斯科

總領事代理 平田 知夫(印)

外務大臣子爵 本野一郎殿

本件ニ関シ本日往電第五十一号ヲ以テ概略及報告置候処更ニ別紙ノ通り全文訳出差進候間御査閲相成度此段申進候

敬具

〔附屬書〕

「モスコ」二新聞ノ社説訳文

(一)

首相ノ更迭(千九百十六年十一月十一日(廿四日) ルースキヤ、ウエドモスチ所載社説)

重大ナル政治的事件ハ發生セリ憲法実施以來政府ト国民代表者トノ間ニ此ノ如キ激烈ナル衝突ヲ演シタルハ今回ヲ以テ初メトシ遂ニ内閣首相ノ辞任ヲ余儀ナクセシムルニ至レリ、是ノ事件ハ僅々數日間ニ亘レル議會ニ於ケル言論ノ効果ニ基因セルハ注目ニ値スヘク議會ニ於ケル言論自由ノ勢力ハ最も顯著且ツ偉大ナル結果ヲ顯ハシタリト言フヘシ辞任ハ此衝突ニ基ク当然ノ出来事ニシテ而モ之ニヨリ議會ニ於ケル多数領袖ノ行動ヲ緩和スルニ足ラサルハ明ナリ是ト同時ニ社会ニ於ケル各機關ガ議會ヲシテ国民ノ意志趨向ヲ表明セシムルニ与ッテ力アリシハ亦看過スヘカラザル事實ナリ唯是ヲ以テ国民最後ノ勝利ト云フヘカラザルハ勿論吾人終局ノ目的ハ閣員ノ更迭ニ非ズシテ国政其物ノ変改ニアリ今ヤ勝利ノ行程ニ一步ヲ進メタルモ今後倍々其運動ヲ継続シ決シテ中止スヘカラズ「シユチュルメル」氏ノ首相及外相ノ職ヲ辞セルハ從來發生セル閣員ノ辞任ニ比シ少シク

アルヲ感スルコト是ナリ旧政治ノ全然倒壊スルニ達センニハ尚猛烈ナル衝突苦慘ヲ經過セサルヘカラサルモ根本ヲ責任政治ニ置ク新政体ノ実現ニ努力スルノ覚悟アルヲ要ス而シテ如何ニ急速ニ而カモ円滑ニ此運動ヲ進ムヘキカハ一ニ繫ツテ議會及ヒ社会国民ノ行動如何ニアリ其歩調ハ從來ヨリモ一層深慮ヲ要シ鞏固ニシテ確定的タラサルヘカラズ而シテ将来ニ於ケル勝利ノ主要タルヘキモノハ依然トシテ国力ノ統一結合ニ存スルコト敢テ論スルヲ要セサルナリ

(二)

「シユチュルメル」氏ノ辞任

(大正五年十一月二十四日
ウエートロフ、ロシヤ紙社説摘訳)

議會ト「シユチュルメル」内閣トノ衝突ハ遂ニ「シユチュルメル」氏ノ辞任ト同時ニ新首相トシテ「トレポフ」氏ノ親補ヲ見ルニ至リタルガ今次ノ變動カ果シテ如何ナル意義ヲ有スルカハ未タ疑問ニ属スト雖モ「トレポフ」氏ノ任命ガ曩ニ議會ノ国防委員會ニ於テナシタル報告演説ト其内閣ニ提出シタル意見書ニ密接ノ關係ヲ有スルハ明カナリ、氏ハ右意見書ニ於テ政府ト議會トノ衝突ハ左程深キ根底ヲ有スルモノニアラズ彼ノ進歩派合同団ノ宣言ナルモノハ政府

趣ヲ異ニセルモノアリ同氏ノ政策ハ最も極端ニ趨テ国家ニ危険ヲ及ボスモノニシテ国政上斯カル非常識ヲ行ヒシモノ未タ曾テコレアラズ同氏ノ就任中ハ国民ノ不満足若シクハ不安心ノ念ヲ増長セシメタルヨリモ一層露國ノ運命及國威ニ對スル恐怖心ヲ挑発セシメ奮ニ施政ニ對スル反抗ヲ受ケタルノミナラス個性ニ對スル反感ヲ買ヒ国政ヲ攪乱スル直接ノ責任者トシテ指彈ヲ被リタルニアリ同氏解職ノ報ハ僅カニ吾人ノ胸ヲ安セシメタルモ斯ノ勝利ハ消極的性質ヲ帶ブルニ過ギスシテ近キ将来ニ於ケル確乎タル積極的勝利ノ希望ヲ繋クニ足ラズ則チ「シユチュルメル」氏ノ後任トシテ閣僚「トレポフ」氏ノ任命ヲ見タルハ明カニ現下施政ノ根本的改変ノ實現ニ反スルモノナルヲ証ス「トレポフ」内閣ノ組織及其政綱ハ未タ明ナラスト雖モ改造ハ單ニ「シユチュルメル」氏ノミニ止マラザルヘシ則チ議會開會ヲ十一月十九日迄延期セルハ新内閣ノ改造ト議會ニ對スル態度トヲ決定スルノ準備トモ見ルヘキカ茲ニ吾人ハ姑ラク将来ニ就テ語ルヲ避ケ單ニ次ノ一事ヲ言明スルニ止メン即チ吾人ハ政治上ノ危機ニ立チ更ニ政治上ノ一転機ヲ劃スル境遇ニ立ツモノ旧政治ハ当サニ混乱動搖ノ兆候ヲ呈シツツ

全体ニ對スルモノニアラズシテ單ニ閣員ノ一部ニ對スルモノナルニヨリ若シ議會ヲ操縦シ得ル人物ヲ首相ノ地位ニ置カンカ問題ハ直チニ解決スルヲ得ベシト説キ暗ニ自己ヲ以テ之カ適任者ニ擬シタリ、而シテ進歩派合同団ガ政治ノ根本的改変ヲ要求シタル後同氏ノ演説ニ傾聴シタルノ一事ハ恰モ右ノ觀察ニ裏書シタルガ如ク殊ニ右ノ演説後三日ニシテ自ラ首相ニ任セラルルニ及ビ益々之ヲ確マルノ觀アルモ然カモ吾人ノ觀ル処ニヨレハ兩者ノ衝突ヲ斯カル輕微ナル理由ニ基クモノトスルハ余リ速断ニ過グルモノナリ、蓋シ議會ノ要求ハ議會ニ大多數ノ後援ヲ有スル民間有力者ヨリ成ル国民合同内閣乃至責任内閣ノ樹立ニアルモノニシテ主眼トスル処閣員個個ノ人物如何ニアラズ政治組織其物ノ改造ニアルヤ明カナリ、随テ今回ノ大衝突ヲ見タルハ「シユチュルメル」内閣ガ議會ノ反対ヲ招キ兩者ノ間ニ何等協力援助ノ策ヲ取ラザリシガタメニシテ個人的問題ノ如キ素ヨリ多ク關スル所ニアラザルナリ、今ヤ「シユチュルメル」氏去テ手腕家ヲ以テ自ラ任スル「トレポフ」氏ヲ後任者トシテ迎フルニ当リ吾人ハ之ヲ評スルニ「更迭ヲ重ネテ旧套依然タリ」テフ一語ヲ以テセントス

四五三 十一月二十五日 在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛

露国政況内情報告ノ件

附屬書

露国政況内情報告書(第七)

露国議會ト内閣トノ衝突及首相更迭

機密第二四号

(十二月十二日接受)

大正五年十一月二十五日

在露臨時代理大使 丸 毛 直 利(印)

外務大臣子爵 本野 一郎殿

別紙昨今ノ露国政況内情ニ関スル調査報告書差進候 敬具

(附屬書)

露国政況内情(第七)

(露国議會ト内閣トノ衝突及首相更迭關係)

第五議會第五会期ハ予定ノ通本年十一月十四日ニ召集セラレタリ同日下院ニ於テハ例ニ依リ開院祈禱式行ハレ總理大臣「スチュルメル」氏以下閣員一同式ニ参列セリ式終リ議員ハ議場ニ入り總理以下閣員一同大臣席ニ着クヤ議長「ロドジャンコ」氏ハ大要左ノ如キ開会ノ辞ヲ述ヘタリ

開戦後既ニ二十七月ニ亘リ戦争ノ範圍ハ拡張シテ犠牲

ハ堅固ニシテ敵之ヲ破ルヲ得サルナリ露国ハ同盟軍諸国ト共ニ全勝利ヲ制スルマテ戦争ヲ継続スル者ナルコトヲ既ニ是迄屢々声明セリ我軍ハ勇敢ナリ云々

議長演說中總理以下閣員ハ大臣席ニ在リタルモ議長ノ演說終ルヤ總理大臣「スチュルメル」氏ハ其席ヲ去リ其他ノ諸大臣モ亦続々其席ヲ去ルニ至レリ斯ノ如ク閣員カ拳ツテ其席ヲ去ルニ至リシ所以ハ畢竟同日下午院ニ於テ政府ノ内外政策ニ関シ同院各党派及団体ノ宣言アリテ而モ議員カ激烈ナル政府攻撃ノ演說ヲナスノ目論見アルコトカ政府ニ漏レタルカ為メニ外ナラス同日議長ノ演說済ミテ予算委員長カ同委員會ヲ代表シテ糧食問題ニ関スル報告ヲ終ルヤ議會ニ於テハ予期ノ如ク政府ノ内外政策ニ関スル議論開始セラレ各党派議員ハ其党派及団体ヲ代表シ又ハ個人ノ資格ヲ以テ時局問題ニ関シ政府ノ政策ヲ評シテ宣言スル所アリタリ同日先登第一二宣言演說ヲナセシハ波蘭土議員「ガルセウイッチ」氏ニシテ氏ハ其演說ヲ以テ独逸兩國カ自国軍ノ占領ニ係レル露領波蘭土ヲ立憲君主制ノ独立国トシタルノ布告ニ對シ抗議ヲ提起シタルト同時ニ露国政府ノ對波蘭土政策ヲ否認シ以テ露独逸三國領波蘭土人ヲ統一シテ波蘭土獨立国

ハ次第二増加シタリ敵ハ未タ亡ビルニ至ラスシテ頑強ニ抵抗シツツアリ斯ノ如キ狀態ニ際セシ吾人ハ長日月間議事ヲ休ミテ漸ク今茲ニ再ヒ召集セリ議會ノ第一ノ義務ハ一定ノ目的ヲ達スルコトヲ妨害スルノ原因ヲ速カニ一掃スルニ在リ吾人ハ如何ニシテモ此戦争ニ於テ必ス勝利ヲ制セサルヲ得ス此事ヤ國民ノ名譽上及國民ノ本心上必要ナルト同時ニ國家安全ノ為メ而モ子孫ノ幸福ノ為メニ必要ナリ吾人ハ天祐ヲ以テ勝利ヲ制スルノ目的ヲ達スルヲ得ヘシ今回ノ戦争ハ思ハス知ラス未タ活用セラレサル我国力ヲ活用スルコトナリタリ此国力ヤ無限ナリ吾人カ目的ヲ達スルニハ国内ノ平穩、自信力等吾人ノ為メ必要ナリ政府ハ須ラク國家ノ為メニ如何ナルコトカ必要急務ナルヤノ点ヲ耳ヲ傾ケテ吾人ヨリ聽クヲ要ス苟モ國民ノ力ヲ利用シテ戦争スルヲ要スルノ瞬間ニ於テハ決シテ國民ノ精神ヲ圧迫スヘカラサルナリ外敵ニ對シ勝利ヲ制セント欲セハ政府ハ國民ト一致提携スルヲ要ス露国ト同盟軍国トノ間ニハ何等意見ノ衝突ナシ吾人ハ同盟軍国ト共同ノ目的ヲ以テ勝利ヲ得ル為メニ戰フヘシ敵ハ同盟軍国間ノ協同一致ヲ破ラントシテ離間策ヲ行フモ此協同一致

ヲ建設セントスルノ希望ヲ表白シタリ次ニ十月黨議員「シードロフスキー」氏ハ國民改進黨、中央、十月地方、十月及立憲民主ノ五黨ヨリ成レル改進黨團ヲ代表シテ宣言演說ヲナシ其次ニ社会民主黨議員「チヘイドゼ」右黨議員「レワシヨフ」労働黨議員「ケーレンスキー」國民黨議員「バラシヨフ」諸氏ハ各々其黨ヲ代表シテ演說シ最後ニ立憲民主黨議員「ミリュコフ」氏ハ個人ノ資格ヲ以テ演說シタリ

以上諸黨代表者ノ演說中右黨及國民黨ノ兩代表者ノ演說ハ政府ノ政策ヲ弁護シタルモノナリト雖社会民主及労働兩黨并ニ多數黨タル改進黨代表者ノ演說ハ皆政府ノ政策ヲ非認シテ之ヲ攻撃シタルモノトス又「ミリュコフ」氏ノ演說ハ政府殊ニ總理兼外務大臣「スチュルメル」氏ニ對スル人身攻撃タリシヲ以テ「スチュルメル」氏ハ「ミリュコフ」氏ヲ誹毀罪ニ問フノ決心ナリシト云フ

右ハ十四日下院ノ議事ノ光景ニシテ翌十五日同院ハ議事ヲ休ミテ十六日ニ更ニ議事ヲ開キタリ同日ノ議事ニ於テ國民改進黨議員「シルギン」氏ハ「ミリュコフ」氏ヲ弁護シ總理大臣「スチュルメル」氏カ「ミリュコフ」氏ヲ罪ニ問ハントスルノ決心ヲ非ナリトシテ總理ヲ攻撃セリ次ニ改進黨

議員「エフレイモフ」氏ハ改進黨ヲ代表シテ「スチュルメル」内閣ヲ攻撃シテ同内閣ニ辭職ヲ勸告シ其次ニ回々教徒、猶太、「ラツイシ」諸民族代表者及無所屬議員ノ政府攻撃演説アリタリ又同日立憲民主黨議員「マクラコフ」氏ハ個人ノ資格ヲ以テ大々的ノ政府攻撃演説ヲナシタリ以上十四及十六兩日ノ討議ニ於テ下院各党派代表議員ハ政府ノ政策評論ニ関シ其述ヘント欲スル所ヲ略ホ演ヘ尽シタルヲ以テ議會ハ之ニ對スル政府ノ態度ヲ窺フ為メ一時之ニ関スル討議ヲ中止シ其結果翌十七日下院ニ於テハ出版檢閱ニ関スル政府質問案ノ議事開ケタリ同日立憲民主黨議員「アドゼモフ」及「ロジチエフ」兩氏ハ本案ニ關聯シテ一般ニ政府当局者殊ニ總理大臣ノ措置ヲ猛烈ニ攻撃シタリ斯ノ如ク下院ニ於テハ開院ノ当日ヨリ今日ニ至ルマテ議員三分ノ二以上ハ政府反對党トナリテ「スチュルメル」内閣ノ政策及「スチュルメル」氏其人ニ反對シテ連日激烈ナル言辭ヲ以テ政府ヲ攻撃シ之カ為メ政府部内ニ於テハ下院ノ態度ヲ暴横ナリトシテ既ニ議會開會ノ初日ニ議會解散説出タルモ閣員ノ多數ハ政府カ今日議會ヲ解散スルコトハ國家ノ為メ危險ナリトシテ同説ニ反對シ從ツテ同説ハ遂ニ實現

モ政府ハ多少ニ拘ハラス其政策ヲ革メサルヲ得サルヘシ要之政府ハ議會ト衝突シ而シテ議會ノ多數党ハ此際政府ヲシテ民意ヲ容レテ國民ノ信任アル人士ヲ内閣ニ入レシメテ其方針政策ヲ革メシムルノ目的ヲ達スルコトニ決セリ是レヨリ先キ下院議長「ロドジャンコ」氏ハ議會開會前ニ親シク皇帝ニ民意ヲ上奏スルノ目的ヲ以テ拜謁ヲ求メタルモ皇帝ハ之ヲ許可セラレサリシト云フ然ルニ今度議會召集セラレ而シテ議會ハ議院法ノ規定ニ基キ議長ノ改選ヲ行ヒ其結果「ロドジャンコ」氏ハ再ヒ議長ノ選ニ當リタルヲ以テ議長「ロドジャンコ」氏ハ例ニ依リ此事ヲ皇帝ニ上奏スルノ必要アルヲ以テ同氏ハ此機會ヲ利用シテ民意殊ニ政府ノ政策并ニ閣員ニ對スル議會ノ意向及態度ヲ詳カニ皇帝ニ直奏スルコトニ決シテ更ニ拜謁ヲ顔ヒ出タリ茲ニ於テ議會ハ議長ノ拜謁終ルマテ休会トシテ拜謁ノ結果ヲ俟ツコトニ決シテ本月十八日ヨリ二十四日マテ議事ヲ休ミタリ

總理大臣「スチュルメル」氏ハ前總理大臣「ゴレムイキン」氏ト同シク上院右黨議員トシテ同一ノ政見ヲ有スルニ拘ハラス「ゴレムイキン」氏ニ代リテ自ラ總理大臣トナルヤ「スチュルメル」總理ハ前總理力議會ノ多數党タル改進黨

スルニ至ラサリシト云フ然レトモ政府ト議會トハ早ヤ既ニ衝突シ殊ニ總理始メ閣員力議會ニ出席セスシテ而モ施政方針ニ関シ何等宣言セサリシコトハ一般ニ議員ノ感情ヲ害シ此事ヤ其衝突ヲ一層激烈ナラシメタリ茲ニ於テ下院多數派ノ政府攻撃ハ一入激烈ノ度ヲ加ヘテ閣員ハ議會ヲ無視スルモノニシテ政府ニハ全然議會ト提携スルノ意思無キモノナリトノ声ヲ耳ニスルニ至レリ之カ為メ議會開會第三日ニ於テ出版檢閱ニ関スル政府質問案ノ議事ニ際シ陸海兩大臣カ突然下院ニ出席シテ説明演説ヲナスニ至ルヤ議會ハ拳ツテ兩大臣ノ出席ヲ喜ビ之ヲ以テ議會ト陸海軍トノ一致提携ナリトシテ間接ニ議會ニ出席セサリシ總理大臣始メ其他ノ諸大臣ニ對シ示威運動的ニ陸海兩大臣ノ出席ヲ歡迎シタリ右陸海軍大臣カ下院議員ノ予期ニ反シ突然議會ニ出席シテ而モ説明ヲ与ヘタルコトハ直接ニ兩大臣ニ對スル議會ノ感情ヲ好クシ從ツテ政府ト議會トノ衝突ヲ幾分力融和セシムルニ至リタルノ感アリト雖其衝突ヤ単ニ感情のニアラスシテ根本的ノモノナルヲ以テ若シ政府力議會ヲ解散セサルコトニ決シタリトセハヨシヤ内閣ハ總辭職セストシテ少クトモ議會ニ極不人望ナル總理其外一二大臣ハ其職ヲ去リテ而

ノ要求ヲ斥ケ議會ト衝突シテ政府ト議會トノ提携ヲ絶望ナラシメタルニ反シ就任当初議會ト政府トノ提携ヲ必要ナリトシテ議會速開ニ関シ改進黨ノ要求ヲ容レ直ニ議會ヲ召集シタリ然レトモ「スチュルメル」氏ハ「ゴレムイキン」氏ト同シク事實上舊ニ改進黨ノ綱領ヲ容レサルノミナラス改進黨ノ希望ニ反シタルノ政策ニ出テタルヲ以テ同團ハ「スチュルメル」氏ノ政策ヲ否認シテ以テ政府ニ反對スルニ至レリ

露國ニ於テハ近年議會ハ露國ノ一大勢力ニシテ殊ニ欧州大戰争ヲ目前ニ控フルノ今日ニ於テハ政府ハ舊ニ議會ノ支持ヲ必要トスルノミナラス又議會ヨリ反對アリテハ何事モ出來得ヘカラサルヲ以テ總理大臣「スチュルメル」氏ハ此際出來得ル限り議會ヨリ反對ヲ招カサルノ方法ヲ講スルコトヲ必要トセリ茲ニ於テ「スチュルメル」内閣ハ改進黨ノ勢力ヲ殺クノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ同團ヲ瓦解セシムルノ策ヲ講シタリト云フ然レトモ其策ハ何等ノ効無クシテ同團ハ依然政府反對ノ意向ヲ有シタリ加フルニ總理カ改進黨ノ一員トシテ而モ下院副議長タル「プロトポボフ」氏ニ同團ヲ脱セシメテ氏ヲ内務大臣トシテ内閣ニ入レ又之ト前後

シテ改進黨ニ同情ヲ表シテ而モ波蘭土問題ニ関シテハ広大ナル自治ヲ波蘭土ニ与フヘシトノ意見ヲ有シタル外務大臣「サザノフ」氏カ其職ヲ免セラレテ總理カ自ラ外務大臣ヲ兼ヌルニ至リタルコト等ハ「スチュルメル」内閣ニ対スル改進黨ノ反対ヲ一層甚大ニシタリ茲ニ於テ内務大臣「プロトポフ」氏ハ總理大臣「スチュルメル」氏ト謀リ下院ニ於ケル自己ノ位置關係ヲ利用シテ政府ニ対スル同院多數黨改進黨ノ反対ヲ弱クスルノ目的ヲ以テ十月中旬下院議長「ロドジャンコ」氏ノ室ニ於テ改進黨ニ属スル諸黨代表者等ト会見シタリ然レトモ其結果ハ不成効ニ終リ現ニ内務大臣「プロトポフ」氏バ其会見ノ席上ニ於テ立憲民主黨代表者「ミリュコフ」「シンガリヨフ」諸氏ヨリ入閣ノ原因ニツキ詰問ヲ受ケ殊ニ「ミリュコフ」氏ノ如キハ「プロトポフ」氏ニ対シ貴下カ内務大臣ニ任セラレシハ「ラスプーチン」(怪僧ニシテ宮中ニ勢力ヲ有ス)ノ推薦ニ依ルトノ風説ハ真ナルヤ又貴下ハ「スホムリノフ」(前陸軍大臣)ヲ無罪ニスルノ条件ヲ以テ内務大臣ノ職ニ就キタリトノ説アルカ此説ハ果シテ真ナルヤ等ノ質問ヲ放チ加フルニ右代表者等ハ拳ツテ内務大臣「プロトポフ」氏ヲ其面前ニ於

テ罵詈訾辱シ為メニ氏ハ顔色無クシテ閉口シタリト云フ斯ノ如ク政府ニ対スル改進黨ノ反対ヲ弱クセントスルノ政府ノ策略ハ實ニ全然失敗ニ終リタルノミナラス反ッテ同院ノ反対ヲ強カラシムルニ至リタルノ感アリ現ニ同院カ今度議會ニ於テ其代表者ヲシテ宣言セシメタル演説ニテ改進黨ノ反対カ如何ニ強キカヲ知ルニ足レリ是レヨリ先キ改進黨幹部ニ於テ同院代表者カ議會開会當日宣言スヘキ文案成ルニ至ルヤ同院ニ属スル改進黨ハ右文案カ軟弱ニ失ストシテ政府ニ辭職ヲ勧告シテ責任内閣ヲ組織スヘシトノ主張ノ外ニ政府彈劾的ノ強硬ナル文句ヲ同案ニ加フヘシト主張シタリ然レトモ此主張ニ対シテハ同院ニ属スル改進黨國民、中央、十月諸黨ノ側ヨリ反対アリタルヲ以テ昨今同院ノ中堅ヲ以テ自ラ任スル立憲民主黨ハ主義上固ヨリ改進黨ノ主張ニ同意ナリト雖此際改進黨カ四分五裂スルヲ不利益ナリトシテ右諸黨ト共ニ改進黨ノ主張ニ反対シタリ茲ニ於テ改進黨ハ改進黨ヲ脱シ獨立シテ議會ニ宣言演説ヲナサシムルコトニ決シ其結果改進黨領袖「エフレイモフ」氏ハ下院ノ討議ニ際シ同黨ヲ代表シテ別ニ政府彈劾的ノ宣言演説ヲナスニ至レリ

右討議ハ議長「ロドジャンコ」氏カ拝謁ヲ終ヘタル上ニ更ニ開始セラルルコトトナリ居リタルヲ以テ其際議會ハ如何ナル決議案ヲ議決シテ次ノ日程ニ移ルヘキヤハ時ノ問題ナリキ當時政府ト議會トノ衝突ハ絶頂ニ達シタルカ為メ世人ハ休会中ニ皇帝カ議長ニ拝謁ヲ許サルルモノトシテ更ニ開始セラルヘキ本月二十四日ノ議事如何ニ注意ヲ払ヒタリ然レトモ皇帝ハ其後容易ニ議長ニ拝謁ヲ許サレサリシ為メ議會ハ更ニ休会期ヲ延長スルコトニ内定シタルニ皇帝ハ俄然本月二十三日附勅令ヲ以テ本月二十四日ヨリ十二月二日マテ上下兩院ニ停会ヲ命シ又皇帝ハ同二十三日附辭令ヲ以テ總理大臣「スチュルメル」氏ノ職ヲ免シテ其在職中ノ勉勵ニ対シ氏ニ特ニ高等ナル式部官ノ名譽職ヲ授クルト同時ニ交通大臣「トレポフ」氏ヲ現職ノ儘總理大臣ニ任命シタリ「トレポフ」氏ハ「スチュルメル」内閣ノ重鎮トシテ同内閣ニ在リテハ總理代理ノ職務ヲ有シ居レル人ナルヲ以テ總理不在又ハ病氣ノ為メ閣議ニ欠席スル場合ニハ「トレポフ」氏ハ必ス總理ヲ代理スルヲ常トシタリ加フルニ新總理「トレポフ」氏ハ上院ニ在リテハ前總理「スチュルメル」氏ト同シク其議員トシテ改進黨ノ綱領ト正反對ノ綱領ヲ有

スル右黨ニ籍ヲ有シタリ此故ニ新總理カ右黨ノ綱領ニ忠ナル場合ニハ政府ト議會トノ兩立ハ難事ナルヲ以テ此兩立ヲ見ルニハ新總理カ政府ノ政策ヲ根本的ニ一變スルカ又ハ下院ノ多數黨タル改進黨カ政府ニ対シテ讓歩ノ態度ニ出テサル限り政府ト議會トノ妥協一致提携ハ不可能ナルヘシ昨今新聞紙ノ所報ニ依レハ新總理「トレポフ」氏ハ本月二十四日下院議長「ロドジャンコ」氏ヲ訪問シテ氏ニ語ルニ政府ハ議會ト一致提携ヲ希望スルノ言ヲ以テシ之ニ対シ議長ハ下院多數黨タル改進黨ハ議會開院式ノ當日同院代表者ノ演説ヲ以テ宣言シタルコトニ関シテハ一歩モ讓歩セサルヘシト答ヘタリト云フ此所報ノ真偽ハ未タ之ヲ詳カニスルヲ得スト雖モ若シ之ヲ以テ真ナリトセハ改進黨ノ態度頗ル強硬ナルヲ以テ此際政府カ讓歩的態度ニ出テサル限り議會ト政府トノ一致提携ハ望ミ無カルヘシ若シ不幸ニシテ此望無キニ至レル場合ニハ政府ハ議會ヲ解散スルカ又ハ總辭職スルノ外無キヤ明カナリ然レトモ下院改進黨ハ「スチュルメル」總理ノ辭職ヲ以テ政府ニ対スル議會ノ一勝利ナリトシテ大ニ満足スルヲ以テヨシヤ同院ハ其宣言ノ旨意ヲ固執シテ一歩モ讓ラスト自称シツツアリト雖新總理「トレポフ」氏カ

議會ニ対シテ少シク讓歩ノ態度ニ出テテ而モ議會ニ対シテ全ク威厳ト人望トヲ失シタル内務大臣「プロトボポフ」氏外一ニ大臣ヲ黜ケテ同団員ノ感觸ヲ和クル場合ニハ案外ニ政府ト議會トノ間ニ臨時的ノ妥協成ラストシテモ議會ト政府トノ衝突ハ避ケ得ラルルニ至ルヤモ測リ難シ殊ニ改進黨ハ各自ニ主義目的ヲ有スル諸党派ノ大同団結タルノミナラス同団ニ属スル十月党及其右ニ位スル諸党中ニハ異分子少カラサルヲ以テ今日政府ニ対スル同団ノ結束堅シトシテモ將來ハ其結束破レストモ保シ難シ要スルニ不日議會ニ於テ新總理大臣「トレポフ」氏力試ミルヘキ内外施政方針ニ関スル宣言演説及之ニ対スル下院多數党ノ態度ニ依リテ如何ニ時局ノ發展スヘキヤヲトスルヲ得ヘシ

今回ノ總理更迭ニ関シ露國諸新聞ハ未タ今日マテ論評ヲ下スニ至ラスト雖モ極左派タル社会民主及労働兩黨員ハ勿論自由改進黨人士ノ多數ハ總理大臣「スチュルメル」氏力其職ヲ去リタルコトヲ大ニ喜フト雖新總理大臣ハ前總理大臣ノ政策ニ賛成シテ而モ「スチュルメル」氏ヲ助ケタル人ナリトシテ形勢ヲ悲觀シ以テ今回ノ更迭ハ単ニ總理其人ノ交代ヲ意味スルノミニシテ何等制度方針ノ変更ヲ意味セスト

理大臣「トレポフ」氏ノ施政方針宣言演説ニ対シテ更ニ演説セサルヲ得サルコトトナリタリ近々開カルヘキ下院ノ議事ニ於テ此等議員力其党ヲ代表シ又ハ一個人ノ資格ヲ以テ宣言スヘキ演説ノ内容如何ハ未タ固ヨリ之ヲ知ルニ由無シト雖右議員力此間休会前ニ既ニ議會ニ於テ宣言シタル演説ハ政府ノ見地ヨリスレハ頗ル猛烈ノモノナリキ然レトモ此等議員ノ宣言演説ノ速記録ハ政府之ヲ公ケニスルヲ禁シ甚シキニ至リテハ議長ノ開會辭ノ速記サヘモ所々抹殺ノ上世ニ公ケニセラレタル次第ナルヲ以テ社会民主及労働兩極左黨議員ノ演説速記ハ勿論改進黨及改進黨議員ノ演説速記モ亦其全部又ハ大部分抹殺セラレタルヲ以テ議會ヲ傍聴セザリシ者ハ右演説ノ内容ヲ詳カニスルヲ得サルナリ然レトモ同演説ノ内容ハ直ニ口伝ヘニテ世間ニ漏レ播リ就中立憲民主黨議員「ミリュコフ」「ロジチエフ」「マクラコフ」諸氏ノ大演説ノ如キハ「タイブライタ」摺ノ秘密出版トシテ手ヨリ手ニ渡リテ世人ニ誦マレツツアリ

右諸氏ノ演説ハ忌憚無ク而モ傍若無人ニ政府殊ニ總理大臣「スチュルメル」氏其人ノ政策措置人身ヲ非難攻撃シテ政府部内ノ弊害ヲ暴露シテ現制度ヲ絶對的ニ否認シタルモノ

セリ然レトモ自由改進黨人士中ニハ国民改進黨乃至十月諸黨員ト同シク新總理ハ刻下政府力議會ト提携スルノ必要上施政ノ方針ヲ變更シテ議會ノ多數党ト妥協スルノ目的ヲ達シ得ルニ至ルヘシト樂觀スル者無シトセスト雖立憲民主、改進黨、十月、十月地方、中央及改進黨民ノ六黨ニ属スル人士ハ目下ノトコロ概シテ形勢ヲ悲觀セリ乍併平常前總理大臣「スチュルメル」氏ノ政策ヲ弁護支持シタル右党及国民党ニ属スル人士ハ形勢ヲ樂觀シ現ニ右党機關紙ハ總理更迭公表當日ノ紙上ニ於テ「トレポフ」氏ヲ以テ「スチュルメル」氏以上ノ熱心家ニシテ而モ強硬ナル意思ヲ有スル人ナリトシテ新總理ヲ歡迎セリ斯ノ如ク露國ニ於テハ總理更迭ニ関シ形勢ヲ樂觀スル者ト及之ヲ悲觀スル者トノ二アリト雖此兩者中將來ハ兎モ角目下ノトコロニテハ形勢ヲ悲觀スル者ハ多數ニシテ又之ヲ樂觀スル者ハ少数ナリト云フヲ得ヘシ

開院式ノ初日即チ十一月十四日ニ開始セラレテ同十八日ニ一時中止トナリ更ニ同二十四日ニ再開ノ筈ナリシ討議ハ議會停會命令及總理更迭ノ為メ消滅シタルヲ以テ今ヤ下院各党代表議員ハ來ル十二月二日ニ開カルヘキ議會ニ於テ新總

ニシテ殊ニ「ミリュコフ」氏ノ如キハ其演説ヲ以テ暗ニ氏ハ單獨平和ヲ欲シテ敵國ノ利益ヲ計ルノ國賊ナリトノ意味ノ口吻ヲ漏ラシ且又「コヌセイウィッチ、マヌイロフ」(有名ナル政治的秘書官タリ)、「ラスブーチン」(怪僧)、「ブチルム」(僧正)等ノ名ヲ云々シタルト同時ニ皇后陛下ノ御名ヲモ之ヲ口ニシタリ然ルニ右黨議員ハ「ミリュコフ」氏ハ御名ヲ口ニシタルコトヲ以テ不敬ノ大ナルモノナリトシテ其際議長席ヲ占メタル副議長「ワルンセクレット」氏力弁士ニ發言權ヲ奪ハサリシコトヲ不当ナリトシテ副議長ニ抗議ヲ申込ミタリ其結果「ワルンセクレット」氏ハ副議長ノ任ヲ辭スルニ至レリ

四五四 十二月一日 在瑞西國三浦公使ヨリ
本野外務大臣宛

露國首相ノ辭職理由ニ関スル諸說報告ノ件

公第二百四十五号

(大正六年一月四日接受)

大正五年十二月一日

在瑞西

特命全權公使 三浦 弥五郎 (印)

外務大臣子爵 本野一郎殿

(一)「サゾノフ」氏ニ代リタル「ストールマー」氏ハ聯合諸國十分ノ信任ヲ吹キ込ムコトヲ得ザリシ上ニ「デュマ」ノ多数ニモ信任ヲ有セザリシナリ、「デュマ」ノ多数ハ倫敦ノ約束ニ從ヒ飽迄戦争ヲ継続スルニ決心シ居ルモ「スカンデナビヤ」ヨリ伝ハリタル尤モラシキ報告ニ依レバ「ストールマー」氏ハ宮中ノ独逸最負ノ輩特ニ皇后ノ周圍ノ者ト關係ヲ付ケタル様子ニテ皇后ノ周圍ノ者ハ「リチュニアニ」「クールランド」及波蘭ヲ失フモ尚独逸ト單獨講和ヲ為スヲ辭セズトノ傾向ヲ有シ居ルナリ、右ノ風評ハ四方ニ伝播シ露国官邸ニテハ六回モ打消シタレトモ尚外國ニ及ボシタル不快ノ感ヲ根絶スル能ハザリキ、在露都英國大使「サー、ジョージ、ブキャナン」ハ「デュマ」ノ進歩派ノ首領株等ト共同シテ「ストールマー」ヲ倒サント運動シタルガ其運動ノ結果ハ十一月十四日ノ議會ニ於テ現ハレタリ、英國大使ガ外交官傍聴席ニ見エタルトキ議會ハ同大使ニ喝采ヲ与ヘ又「ミリウコフ」氏ハ頗ル猛烈ニ政府ヲ攻撃シタルガ其攻撃演説ノ大部分ハ速記録ニ登載スルコトヲ差止メラレタリ、議會ハ「ミリウコフ」ノ演説ヲ盛ニ歡呼シタルヲ

以テ内閣員ハ間モナク議場ヲ去リタルガ其後陸海兩相ハ再ビ議場ニ出デテ戦争継続ノ旨ヲ言明シタルモ「ストールマー」ハ出席セズ其儘辭職シタリ、英仏新聞ハ「ストールマー」ノ後継者「トレボフ」氏ヲ賞賛スルニ一致シ居レリ、(露国ノ政變ハ個人的干係ニ基ク場合モ多ク、又報道モ十分ニ到着セザルヲ以テ其真相ヲ理解スルニ苦メドモ「ストールマー」ノ辭職ハ同氏ト英國大使トノ緊張セル干係、首相ト議會ノ衝突及「ミリウコフ」ノ首相攻撃ニ依リテ促サレタリ、乍併其根本ハ一ハ波蘭問題、他ハ經濟上且ツ軍事上ノ内政問題即チ交通機關問題ニ胚胎ス、波蘭問題ニ関シテハ「サゾノフ」ハ本年七月申中汎ナル自主權ヲ賦与スルノ案ヲ立テタルガ「ストールマー」ハ波蘭ニ對シテハ將來ヲ約スルコトヲ欲セズ、之ヲ理由トシテ「サゾノフ」ヲ逐ヒ出シタリ、聯合國ハ波蘭問題ニ國際的性質ヲ与ヘ共同ノ担保ノ下ニ置カントスル考ヲ有シタリシガ首相ハ之ヲ承諾セザリシヲ以テ今日迄未ダ何等ノ確定的解決ニ達シ居ラザリシナリ、經濟上及軍事上ノ内政問題ニ関シテハ露国ノ実情ニ於テハ右ハ總テ交通行政ト密接ニ相干係ス、露国ハ人ノ足ラザル

ニアラズ、物資足ラザルニモアラズ速ニ之ヲ運輸シ分配スベキ交通機關欠如シ居ルナリ、外國ヨリ供給スル軍器彈藥ノ如キモ交通線不足ノ為メ十分ニ戰線ニ配ルコトヲ得ザルナリ故ニ交通機關改善ニ大尽力ヲ傾注シテ成功シツツアル

「トレボフ」ハ此点ニ於テ首相トシテ最適任者ナリトス

(三)「ストールマー」氏ハ何故ニ辭職シタルカ、同氏ノ辭職ハ露国内政ニ如何ナル影響ヲ及ボスベキヤ此ニ問題ニ對スル解答ハ人ノ知ラント欲スル所ナリ、「ストールマー」ハ十年程前ニハ「ヤロスラウ」ノ知事ニシテ守旧派ニ属シ知事トシテハ地方議會ヲ苦メテ有名ナル人ナリ、知事辭職後ハ「真正露国人團」「Ligue des Vrais Russes」ニ入りタルガ是レ守旧派ノ団体ニシテ露国近代ノ風潮ニ逆行スル輩ナリ、特ニ外交ニ何等ノ經驗モナキ同氏ガ外相ヲ兼ねタルハ大間違ニシテ特ニ此大戦争中ノ外交ニ当ルニハ最モ不向ナリシナリ、今度「サゾノフ」氏ノ片腕タリシ「ネラトフ」氏ガ外相ニ新任セラレタルハ賀スベキナリ、又内政ニ関シテハ「ストールマー」ハ時ノ必要ヲ理解スルノ明ヲ欠キ此大戦争ニ當リ市民ノ設立セル私立団体及組織ガ軍隊ニ大貢獻ヲ為シツツアルニ拘ハラズ、守旧復古ノ頑固ナル思

露国新内閣總理大臣「トレボフ」氏下院ニ於テ施政方針演説ノ件

第九四八号

(十二月五日接受)

四四五 十二月三日

在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

想ヲ有スル「ストールマー」ハ寧ロ之ヲ厭ヒテ一切ヲ政府ノ手ニテ官僚式ニ遣ラント欲シタリ是レ彼ノ辭職セザルヲ得ザルニ至リタル所以ナリ
(此第三ノ説明ハ十一月三十日ノ「ガゼット、ド、ローザヌ」新聞ニ掲載サレタル匿名露国人ノ寄書ナルガ此種ノ投書ハ在当地露国公使館ノ指図ニ出ヅルコト多シ)
右及報告候 敬具

十二月二日新總理大臣「トレボフ」氏ハ下院ニ於テ内外施政ノ方針ヲ演説シタリ總理ノ交迭ノミヲ以テ満足セサル社會進取党及労働黨議員ハ總理ノ演説ヲ妨害セシヲ以テ議長ハ數名ノ議員ニ退場ヲ命シタリ右演説ニ引続キ改進派議員ノ政府殊ニ内務大臣攻撃ノ演説アリシモ各派議員ノ演説ヲ終ラスシテ散会セリ尚總理ハ其宣言中此際政府ト議會トノ提携ノ必要ナルコト、露国ハ聯合國ト共ニ勝利ヲ得ル迄戰

争ヲ継続スルノ決心ヲ有スルコトヲ明カニシ「ダーダネルス」「ボスフォラス」海峡及君斯坦丁堡問題ニ関シテハ一九一五年英露仏三国間ノ協約ニ拠リ露国ノ權利ハ確保セラレタル旨声明シタリ右問題ニ関スル總理ノ声明ハ一般議員ニ満足ヲ与ヘ下院改進黨及同派ニ同情ヲ表スル各派ノ代表者ハ連名シテ右協約締結者タル「サゾノフ」氏ニ感謝ノ電報ヲ送レリ

四五六 十二月六日 在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国新首相ノ施政方針演説ニ対スル下院ノ論議終結並改進黨提出決議案可決ノ件

附記一 十二月六日參謀總長ヨリノ通報

露国新首相下院ニ於テ施政方針演説ノ件

二 十二月六日在ベトログラード小田切少將ヨリ參謀次長宛電報

露国議會ノ政府ニ対スル反感等ノ件

第九五二号

(十二月七日接受)

往電第九四八号ニ関シ新總理ノ施政方針ニ対スル下院各派ノ論議ハ十二月五日終結セリ右党ヲ除クノ外諸党派ハ何レモ内閣ノ一部改造ヲ以テ不充分トシ同院ノ多数党タル改進黨

團ハ

一、隠レタル無責任ノ勢力ヲ一掃スルコト
二、議會ハ統一アリ且下院多数党ノ綱領ヲ実行スル内閣組織ノ目的ヲ達スルコト

ヲ期スルトノ決議案ヲ提出シ大多数ヲ以テ之ヲ可決セリ

(附記一)

十二月六日參謀總長ヨリノ通報

露国新首相下院ニ於テ施政方針演説ノ件

參謀第二一六二号

大正五年十二月六日

歐洲戦争其二二七九

參謀總長

露都發電報十二月

四日午前十時五十分發
六日午前十時十分發

露曆十一月十九日露国下院ハ首相任命後議會ノ開會ヲ行ヒ当日首相始め閣員ノ大部列席ス劈頭行ハレタル新首相「トレポフ」ノ披露演説ハ甚シク極左党ノ妨害ヲ受ケ数名ノ議員ヲ退場セシメタル後五度目ノ登壇ニ於テ始メテ之ヲ實施スルヲ得タリ、首相ノ演説ハ戦争カ必ス終局ノ勝利ヲ達セラルル迄続行サルヘキコト、軍隊ノ整理及公共事業ノ發展ヲ図ルヘキコト等ニ及ヒ又独逸勢力ノ排斥ヲ唱ヘ最後ニ昨

年締結セラレタル露国ト英仏トノ間ニ於ケル「ダーダネルス」海峡及「コンスタンチノーブル」ノ占領權ニ関スル協約ノ實現ヲ宣言シ各々目的ヲ達スル為メ国家全体ノ一致協力ヲ求メタリ、此演説ハ其内容ニ拘ハラズ一般ニ冷静ヲ以テ迎ヘラレ僅カニ右党一部ノ喝采ヲ得タルノミナリキ、次テ前日右党ヲ脱シタル「プリシケウイチ」及副議長「ボプリンスキー」ノ演説アリ共ニ露国官僚ノ弊風ヲ摘発シ内相ヲ攻撃シ殊ニ後者ハ現内相ノ在職スル間ハ議會ハ政府ト共ニ事ヲ執ルヲ辞スト謂ヘリ要スルニ新首相任命後ノ議會形勢依然險惡ニシテ内相ニ対スル反抗ハ殊ニ甚シ

(附記二)

十二月六日在ベトログラード小田切少將ヨリ參謀次長宛電報

露国議會ノ政府ニ対スル反感等ノ件

第一六〇号

(十二月九日參謀本部着)

五日ノ議會ニ於テ首相政綱演説討論アリ此際極右黨議員「マルコフ」ト大同團結派出身ノ議長トノ間ニ紛議ヲ生シ議長ハ辭職セシカ再撰セラレ「マルコフ」ハ決議ノ結果今後十五回ノ出席ヲ禁ゼラル是レ等ノ現象ト其後ニ於ケル議會内ノ反響ニ徴スルモ議會ノ大多数ノ政府ニ対スル反感ハ

殆ト前内閣ニ対スルモノト異ラサルノ状態ニアリ希臘ニ於テハ一方政府親独派ノ窺カニ動員ヲ準備スルヲ伝ヘ又聯合側公使ハ其艦隊ニ移リ雅典ニアル聯合國ノ人民ハ居住地ヨリビレイ(ビレウス?)又ハ聯合國船舶ニ移転スルコトヲ提供セラレタリトノ報アルモ他方聯合國ノ支隊ハ其輸送船ニ復帰シ希臘國王ノ許ニハ直接機關ヲ設ケ露国ノ代表者モ之ニ加ハレル等狀況ノ変リヲ示スモノアリ
要スルニ過般ノ騷擾ニヨリ民心激昂尚甚シキモノアルヲ以テ同国ノ形勢ハ尚不安定ノ状態ニアリ

四五七 十二月十二日

在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛

露国新トレポフ内閣ニ対シ議會ハ其政策ト現

制度ヲ攻撃シ閣員ノ更迭ヲ要求シ政界ノ風雲

險惡ナル政情調査報告ノ件

附屬書 露国政況内情報告書(第八)

機密第二五号

(大正六年一月六日)

大正五年十二月十二日

在露臨時代理大使 丸 毛 直 利(印)

外務大臣子爵 本野一郎殿

露国政況内情ニ関スル別紙調査報告書差進候 敬具

(附屬書)

露国政況内情(第八)

本年十一月十四日議會召集当日下院ハ「スチュルメル」内閣ト衝突シ政府ノ施設方針問題ニ関スル討議ニ於テ同院多數党ニ属スル諸議員ハ拳ツテ「スチュルメル」内閣ノ政策殊ニ總理大臣「スチュルメル」氏其人ノ人身ヲ攻撃シ以テ同氏カ其職ニ在ル間ハ政府ト議會ト提携ハ不可能ナリト断言シテ内閣ニ更迭ヲ促シタリ茲ニ於テ右多數党ハ此際内閣ヲ更迭セシムルノ目的ヲ貫カンカ為メ議事ヲ休ミ本問題ニ関スル討議ヲ本月二十四日マテ延期シテ以テ一方ニハ政府ニ進退ヲ促スト同時ニ又他方ニハ議長ヲシテ政府ト議會トノ關係ニツキ直奏セシムルコトセリ乍併内閣ハ何等辭職スルノ模様無クシテ又皇帝ハ議長ニ容易ニ拝謁ヲ許サレサリシヲ以テ下院ハ休会期ヲ更ニ延長スルコトニ内決シタリ然ルニ休会満期ノ日(十一月二十三日)ニ至リ皇帝ハ勅令ヲ以テ十二月二日マテ議會ニ停会ヲ命シ同時ニ同日附辭令ヲ以テ總理大臣「スチュルメル」氏ニ依願其職ヲ免シテ式部長官ノ宮内最高名譽職ヲ賜ヒ之カ後任トシテ交通大臣

トノ衝突ハ氏ノ辭職ニテ一段落ヲ附ケ此後ノ問題ハ新總理カ内閣ノ更迭ヲ完成シテ前總理ノ政策ヲ革ムヘキヤ否ヤニ歸着シ而シテ本問題ノ解決ハ議會開会后ニ延ハサルニ至レリ茲ニ於テ皇帝ハ下院議長「ロドジャンコ」氏ニ拝謁ヲ許サンコトニ決シ十一月二十八日議長ハ大本營ニ伺候シ親シク拝謁上奏ノ目的ヲ達シ十二月二日帰京シタリ同夜議長ハ下院各党代表者ヲ議長室ニ集メテ代表者一同ニ拝謁ノ模様及結果ヲ報告セリ

是レヨリ先キ皇帝カ「トレボフ」氏ヲ總理大臣ニ任命スルヤ十一月二十四日同氏ハ下院議長「ロドジャンコ」氏ヲ訪問シテ氏ニ向ヒテ語ルニ目前ニ外敵ヲ控フルノ今日政府ハ切ニ議會ト提携スルヲ欲スルモノナリト言ヲ以テシタリ議長「ロドジャンコ」氏ハ之ニ對シ下院多數党ノ態度ハ同院改進黨ノ宣言ニテ既ニ明白ニシテ議會ハ政府ト提携スルニハ之カ必要条件トシテ第一ニ内閣ノ更迭カ完全ニ而モ充分ニ行ハルルコトヲ希望スル者ナリト答フルト同時ニ總理ニ反問スルニ今回内閣ノ更迭ハ如何ナル程度ニ行ハルヘキヤトノ言ヲ以テシタルニ總理ハ此質問ニ對シテハ議長ニ具體的ノ回答ヲ与ヘサリシト云フ

「トレボフ」氏ヲ現職ノ儘總理大臣ニ任セリ新總理大臣「トレボフ」氏ハ「スチュルメル」内閣ノ重鎮ニシテ本年十月十六日皇帝陛下^{スライシツケリ}附國務參贊官ノ文官名譽職ヲ授ケラレタリ本年夏總理大臣代理ノ任ヲ帶ヒタル内務大臣「フウォストフ」氏カ其職ヲ去ルヤ「トレボフ」氏ハ總理大臣代理ノ任ヲ拝シテ「スチュルメル」總理ヲ補佐シ以テ今日ニ至リタリ斯ノ如ク新總理「トレボフ」氏ハ前總理「スチュルメル」氏ノ政策ヲ援ケタル人タルノミナラス「トレボフ」氏ハ上院議員トシテ前總理「ゴレムイキン」「スチュルメル」諸氏ト同シク右党ニ属シタル人ナリシヲ以テ今回ノ總理更迭ニ関シ下院多數党及同党ヲ支持スル諸新聞ハ「スチュルメル」總理ノ辭職ヲ喜ビタルモ新總理ノ政策カ果シテ一変スヘキヤ否ヤヲ疑問トシテ新總理ヲ少シモ歡迎スルコトナカリキ然レトモ同院ノ少數派タル右党及国民党并ニ其機關紙ハ新總理ヲ以テ前總理以上ニ意思強硬ノ人ナリトシテ氏ノ任命ヲ歡迎シタリ

前總理大臣「スチュルメル」氏ハ願ニ依リテ其職ヲ免セラレタリト雖モ其辭職ノ原因カ氏カ議會多數党ヨリ反對ヲ受ケタル為メタルコトハ明ナル事実トス故ヲ以テ政府ト議會

下院多數党議員ノ意見ニ依レハ露国力聯合軍國ト共ニ戰爭ヲ継続シテ外敵ニ對シ最後ノ勝利ヲ制スルニハ政府ト議會トノ提携最モ必要ナルモ此提携ハ國民ニ信用ナキ人士カ内閣ニ在リテ而モ其内閣力統一ヲ欠ク間ハ到底不可能ナルヲ以テ苟モ政府ニシテ誠實ニ議會ト提携セント欲セハ政府ハ須ラク先ツ國民ノ信用ナキ人士ヲ内閣ヨリ卻ケテ國民ノ信任ヲ有スル人士ヲ内閣ニ入レ以テ内閣ヲ統一スルコト必要ナリトアリ然ルニ今回單ニ總理ノ更迭ニ止マリテ而モ其更迭ハ閣員間ノ異同ニ外ナラサルノミナラス内務大臣「プロトボポフ」氏ノ如キ全ク國民ノ信用ヲ失ヒタル人士ハ依然其職ニ留リ加フルニ上院ニ在リテ上下兩院改進黨ノ綱領ニ反對ナル同院右党議員タリシ司法大臣「マルコフ」氏ノ如キハ總理代理ノ資格ヲ以テ其任ニ留マリ又其他ニモ現制度維持論ヲ固執スル人士ハ内閣ニ多キヲ以テ下院多數党ハ總理更迭ノ日ヨリ此際新總理「トレボフ」氏カ議會開会ノ日マテニ如何ナル程度マテニ内閣員ノ更迭ヲ行ヒテ以テ議會開会ノ日ニ其施政方針ノ宣言ヲ為スヘキヤニ注目シタリ乍併内閣ニ於テハ議會開会ノ日マテニ其職ヲ去リタル者ハ農務大臣「ポープリンスキー」伯ノミニシテ而モ次官「リツ

「ヒ」氏ハ臨時代理ヲ命セラレ其他ニハ何等閣員ノ更迭無
ヘリキ加之順序トシテ第一ニ其職ヲ去ルヘシト世ニ期待セ
ノレタル内務大臣「プロトポポフ」氏ハ何等其事無キヲ以
ノ上下両院議員殊ニ下院改進黨ハ大ニ失望シテ為メニ政府
一対シ依然不満ト惡感トヲ抱クコトナリタリ

如ク内閣更迭ノ範圍カ局限セラレテ新人物ハ一人モ内
閣ニ入ルニ至ラサリシヲ以テ上下両院ノ多数党ハ新総理ノ
施政方針宣言演説ト關係ナク之レノミニテ早ヤ既ニ「トレ
ポフ」内閣ニ反対ノ意向ヲ示シタリ其後十二月二日議會開
キトナリテ新総理「トレポフ」氏カ上下両院ニ施政方針ノ
宣言ヲ為スヤ両院ニ於テハ宣言ニ対スル討議開始セラレ兩
院議員ノ大多数ハ異口同音ニ政府ヲ攻撃シタリ

四日總理大臣「トレポフ」氏カ閣員一同ヲ率ヒ下院ニ出席
シテ施政方針ノ宣言ヲ為サントシテ登壇スルヤ社会民主及
労働兩黨議員ハ一挙シテ机ヲ叩キ「下レ」「失セ上レ」ト
叫ビ又「トレポフ」内閣ハ「スチュルメル」内閣ヨリモ非
ソリト号ヒテ總理ノ演説ヲ妨害シタルヲ以テ議長ハ總理ニ
「壇ヲ乞ヒ社会民主党總理「チヘイドゼ」及労働黨總理「ケ
ーレンスキー」兩氏外二議員ニ八日間ノ退場ヲ命スルノ提

黨議員「スハーノフ」氏ハ又々總理ノ演説ヲ妨害シタリ之
カ為メ議長ハ同氏ニ退場ヲ命スルノ提議ヲ為シテ衆議ハ之
ニ賛成シタルモ同氏ハ退場ヲ拒ミテ容易ニ決議ニ服セサル
ヲ以テ議長ハ議院法ノ規定ニ基キ警察官ニ依頼シテ同氏ニ
退場ヲ強制スルコトニ決シテ議事休憩ヲ宣言シ而シテ議長
ハ休憩中ニ個人ノ資格ヲ以テ同氏ニ退場ヲ勸告シ其結果警
察官ノ強制ヲ俟タス同氏ハ議長ニ対シ敬意ヲ表スル為メ本
議員ハ退場スルモノトナリ叫ビテ議場ヲ退キタリ

右騒動ハ之レニテ一段落ヲ告ケタルヲ以テ議事ハ間モ無ク
開始セラレ茲ニ於テ總理大臣「トレポフ」氏ハ登壇シテ無
事ニ内外施政方針宣言ノ朗読演説ヲ終フルニ至レリ新総理
ノ宣言ハ前總理ノ宣言ハ前總理ノ宣言ト略ホ同一モノニ
シテ其要ハ目前ニ強敵ヲ控ヘ国家艱難ノ今日政府ハ議會ト
ノ提携ヲ必要トシ露國ハ敵ニ対シ聯合軍諸國ト共ニ最後ノ
勝利ヲ制スルニ至ルマテ戰爭ヲ継続スヘシト云フニ在リ此
外總理ハ其宣言中外政問題ニ関シテ聯合軍諸國ノ結束ハ堅
固ニシテ露國ハ英仏諸國トノ協約ヲ以テ「コンスタンチノ
ーブル」及「ダルダネルス」「ボスフォル」海峡ニ於テハ
自己ノ權利ヲ確保シタリト声明シタリ

議ヲ為シタリ右四氏ハ之ニ対シ交ル交ルニ登壇シテ議長ノ
提議ニ反対ノ理由ヲ述ヘタルト同時ニ下院多数派タル改進黨
團ノ政府ニ対スル態度ヲ軟弱ナリトシテ之ヲ攻撃シ且ツ同
國議員ニ告クルニ諸君ハ本年十一月十四日其宣言演説ヲ以
テ現制度ノ下ニ於テハ政府ト事ヲ共ニセスト声明シタリ
「スチュルメル」氏總理ノ職ヲ辞シタリトシテモ「スチュ
ルメル」内閣ノ一員タル「トレポフ」氏之ニ代リテ總理トナ
リテ而モ其制度ニ何等ノ變更ヲ來サス然ルニ今日其總理ノ
施政方針宣言ヲ聴キ政府ト事ヲ共ニセントスルハ何事ソヤ
トノ言ヲ以テシタリ其後議長ハ四氏退場命令ノ提議ヲ衆議
ニ問ヒタルニ改進黨及二三ノ立憲民主党議員ハ之ニ反対シ
タルモ右党及国民党ノ兩政府党并ニ多数派タル改進黨ニ屬
セル諸黨議員ノ大部分ハ之ニ賛成シタルヲ以テ右四氏ハ直
ニ議場ヲ退キタリ茲ニ於テ總理ハ再び登壇シテ演説セント
シタルニ社会民主及労働兩黨議員ハ又々机ヲ叩キテ妨害ヲ
加ヘタルヲ以テ議長ハ更ニ總理ニ下壇ヲ求メテ「チヘンチ
リ」氏外二議員ニ同シク八日間ノ退場ヲ命スルノ提議ヲ為
シタリ其結果衆議ハ之ニ賛成シテ三氏ハ退場スルニ至リタ
ルヲ以テ總理ハ更ニ再び登壇シテ宣言セントシタルカ労働

右總理大臣ノ宣言演説ノ言辭ハ概シテ美ナリト雖是レマテ
既ニ前二總理ノ言行一致セス口約実行セラレサリシ実例ア
リシニ加ヘ新内閣員ノ顔触ハ前内閣員ノ夫レト同一ニシテ
而モ下院改進黨ヲ脱シ同團ノ綱領ヲ無視シ「スチュルメ
ル」内閣ニ入りテ予ノ政策ハ即チ「スチュルメル」氏ノ政
策ナリト声言シタル内務大臣「プロトポポフ」氏カ大臣席
ニ控ヘタルカ為メ「トレポフ」總理ノ宣言演説ハ下院多数
黨議員ニ冷淡ニ迎ヘラレ之ニ対スル拍手喝采ノ声ハ僅カニ
院ノ一角ニ起リタルノミ

以上總理大臣ノ宣言終ルヤ下院ニ於テハ同宣言ニ対スル討
議始マリ各黨議員ハ其党ヲ代表シ又ハ個人ノ資格ニテ連日
演説シテ以テ政府ノ政策、現制度ヲ非難シ又閣員官憲殊ニ
内務大臣「プロトポポフ」氏其人ノ人身ヲ攻撃シ又露國ニ曖
昧無責任ノ勢力カ国政ヲ左右スルヲ以テ同勢力ヲ根本的ニ
一掃スルノ必要アルコトヲ唱道シ又國民ノ信任アル者ヲ以
テ内閣ヲ組織スルノ必要ヲ説キテ政府ニ反対セリ斯ノ如ク
政府反対ノ演説ヲ敢テスル者ハ嘗ニ改進黨并ニ改進黨ニ
屬シテ同團ノ左翼タル立憲民主党議員ニ止マラスシテ同團
ノ右翼タル國民改進黨議員ニ多キノミナラス又甚シキニ至

リテハ政府党タル右党議員中ニモ之ヲ見ルニ至レリ現ニ同党ニ属スル「プレイシケイウィッチ」氏ノ如キハ右党ヲ脱シ個人ノ資格ヲ以テ激烈ナル政府攻撃ノ大演説ヲ試ミテ現制度組織ヲ非難シタリ斯ノ如ク下院多數党ハ一斉ニ今回ノ内閣更迭ヲ不充分不完全ノモノナリトシテ總理ノ宣言ニ満足セサルモ独リ少数派タル右党及国民党ノ両党議員ノミハ總理ノ宣言ニ満足シテ政府ヲ弁護セリ然レトモ少数ノ勢力ハ目下頗ル微々タルモノニシテ殊ニ右党ノ如キハ十二月五日ノ議事ニ於テ同党袖領「マルコフ」氏カ議長「ロドジャンコ」氏ニ対シ失言シテ椿事ヲ演シタル以來前後三十余人ノ脱党者ヲ來シテ一層其勢力ヲ失ヘリ

如上下院多數党ハ總理ノ宣言ニ不満足ナリト雖同宣言中露國ハ英仏諸國トノ協約ニ依リ「コンスタンチノーブル」及「ダルダネルス」「ボスフォル」海峡ニ於ケル自己ノ權利ヲ確保シタリトノ總理ノ声明ハ同党ニ大ナル満足ヲ与ヘタリ同党議員一同ハ右權利ノ確保ヲ以テ下院多數ニ同情ヲ表シタル前外務大臣「サザノフ」氏ノ功勞ノ結果ナリトシテ氏ニ感謝ノ電報ヲ送レリ

下院ニ於テハ總理大臣ノ施政方針宣言ニ對スル討論中改進

右ハ新總理ノ宣言ニ對スル下院ノ態度ニシテ又之ニ對スル上院ノ態度ハ略ホ之ト同一トス上院ニ在リテハ同宣言ニ對スル討論ニ於テ同院左党議員ハ勿論中央党議員モ亦忌憚ナク現制度組織ノ不可ナルコトヲ述ヘテ政府ヲ攻撃シ現ニ温和説者ノ名アル「タガシチェフ」氏ノ如キハ慷慨ノ余リ祖國危險ナル警語ヲ口ニスルニ至リシノミナラス右党ニ属スル議員中ニモ右ト同一ノ演説ヲ為シテ政府ヲ攻撃シタル人士アリキ同院ニ於テハ前司法大臣「シチュエグロウイートフ」氏ハ右党ヲ代表シテ現制度擁護ノ演説ヲ試ミタルモ何等其効無クシテ同院ノ大多數ハ政府反對説ニ傾キ其結果上院ハ總理ノ施政方針宣言ニ對スル討論ヲ終リテ次ノ日程ニ移ルニ際シ外敵ニ對シ最後ノ勝利ヲ制スル為メ全国民ノ全力ヲ纏メ政府ト議會トヲ提携セシメ此提携ヲ全フセシムル為メ一、国家的事業ニ對スル曖昧無責任ノ勢力ヲ一掃シ二、國民ノ信用及同情ヲ得テ一定ノ方針ヲ有シ統一セラレテ政務ニ耐ヘ而モ立法院ト相共ニ行動スルヲ得ルノ政府ヲ組織スルヲ要ストノ意味ノ決議案ヲ可決シタリ

右ノ如ク上下兩院ノ決議案ハ大同小異ニシテ殊ニ上院カ此ノ如キ決議案ヲ議決シ又下院ノ極右党議員トシテ「マルコ

団(國民改進、中央、十月地方派、十月左翼、立憲民主ノ五党)及改進党ハ各自ニ決議案ヲ提出シタリ右兩決議案ノ内容ハ略ホ同一ナリト雖改進党ノ案ハ改進團ノ案ニ比シ強硬のナリ改進党ノ決議案ニ曰ク議會ト一致提携シテ行動シ而モ議會ニ向ツテ政治上ノ責任ヲ負フヘキ政府アリテ始メテ外敵ニ對シテ勝利ヲ制スル為メ全国力ヲ集ムルコトヲ得ヘシ露國ヲ不幸ニ陥ラシムル曖昧暗黒ナル無責任ノ勢力ヲ制止スル力ナキ現政府ハ露國ノ自由改進の生活ノ條件ヲ基成スルノ技術ヲ有セス國民ト一致シテ大ナル力ヲ有スル議會ハ斯カル政府ニ不信任ヲ表示シテ次ノ日程ニ移ルト又改進團ノ決議案ニ曰ク内閣ノ更迭着手セラレタルモ未タ容易ニ完結スルニ至ラス閣員ニハ更迭アリタルモ制度ニ未タ何等ノ變更ナシ故ヲ以テ此更迭ハ政府ニ對スル議會ノ態度ヲ變更スルニ足ラス議會ハ一、曖昧暗黒ナル無責任ノ勢力ヲ一掃シ二、依然自己ノ有スル正当ノ方法ニテ全力ヲ以テ飽クマテ統一アリテ而モ下院多數党ノ綱領ヲ実行スルノ内閣ヲ組織セシムルノ目的ヲ達スルコトヲ期スルモノナルコトヲ声明スト同院ハ以上ニ決議案中改進團提出ノ決議案ヲ可決シタリ

「フ」氏ト共ニ常ニ政府ヲ支持弁護シタル「プレイシケイウィッチ」氏カ忌憚ナク現制度組織ヲ非難シテ政府ヲ攻撃スルニ至リシコトハ露國政界ノ一大變調トシテ大ニ注目ヲ要ス以上決議案ハ政府ト議會トノ關係ヲ判然ナラシメ以テ現在ノ狀態ニテハ政府ト議會トノ提携力不可能ナルコトヲ明カニシタリ故ヲ以テ議會カ其決議案通りニ其本領ヲ固執シテ一步モ譲ラサル場合ニハ「トレポフ」總理ハ議會ニ讓歩セサルヲ得サルヘシ若シ否ラスンハ政府ト議會トノ衝突ハ縱シヤ今日立トコロニ破裂セストシテモ近キ將來ニ於テ破裂スルニ至ルヘシ然レトモ露國ニハ右讓歩ヲ以テ自家ノ利益及露國將來ノ為メ危險ナリトシテ之ニ反對スルノ潛勢力ハ未タ容易ニ侮ルヘカラサルモノアルヲ以テ總理大臣「トレポフ」氏カ直チニ讓歩シテ下院改進團ノ要求ヲ容ルルコトハ一大疑問ニシテ又頗ル難事タルベシ

要之露國政海ノ風雲ハ頗ル險惡ニシテ縱シヤ戰爭中露國ニ騷動無シトシテモ戰後ニハ露國力戰爭ニ勝チテモ又負ケテモ多少ノ騷動ハ免カレサルヘシ

四五八 十二月十六日

在モスコフ平田総領事代理ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国民ノ戦争遂行ノ決意等ニ関スル露国ゼム

ストヴォ聯合会長ノ談話報告ノ件

第五三三号

本月十五日露国「ゼムストヴォ」聯合会長公爵 Livoff ト
会見時局ニ関スル意見ヲ叩キタル処大要左ノ通語レリ
露国民ガ戦争ニ倦キタリト云フハ全ク事実ニ反ス我國民ノ
特性タル忍耐心バ今ヤ極度ニ發揮セラレ最後ノ勝利迄突進
スルノ決心ハ開戦第一年ヨリモ一層鞏固ナルモノアリ物資
ノ欠乏ト物価ノ騰貴カ一般國民ノ生活ヲ困難ナラシメ居ル
ハ事実ナルモ是レ主トシテ需要供給組織ノ不完備ニ基クモ
ノニシテ之カ匡正必シモ難事ニアラス食料品問題ノ如キ殊
ニ然リ國民ハ實際尚豊富ナル資力ヲ有スルモノ只之カ十分
ナル活用ハ結局政府ノ善良ナル施設ニ待ツノ外ナシ併シ如
何ナル場合ニモ露国カ今後両三年内ニ軍事上又ハ經濟上落
伍者トナルカ如キコト断シテ有リ得ヘカラス講和ニ関スル
今回ノ提議ハ独逸カ他ニ為ニセントスル術策ニシテ正面ヨ
リ真面目ニ考量スルノ価値ナシ只偶敵カ其弱味ヲ暴露シタ

変革ノ要望、露国ニ早晚革命起ルベシトノ世

人一般ノ觀測等露国政況内情報告ノ件

附屬書 露国政況内情(第九)

機第二五号

(大正六年一月二十四日接受)

大正五年十二月三十日

在露臨時代理大使 丸 毛 直 利(印)

外務大臣子爵 本野一郎殿

上田書記官ノ調査ニ係ル露国政況ノ内情ニ関スル別紙報告

書差進候 敬具

(附屬書)

露国政況内情(第九)

目 次

一 議會ト政府

二 露国々民

三 歐洲戦争ト露国々民

一、議會ト政府

本年十二月五日露国下院ニ於テハ新総理大臣「トレポフ」
氏ノ政府施政方針宣言ニ対スル討議終結ヲ告ケテ改進黨ノ
提出ニ係レル政府反対ノ決議案可決セラレタリ然レトモ

ルモノトシテ却テ民心ヲ鼓舞シタル痕アルハ寧ロ大ニ喜フ
ヘシ

四五九 十二月二十一日

在モスコフ平田総領事代理ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

モスコフ市會議員改選ニ於ケル左党ノ進出ハ

市民ノ現政府反対ノ氣勢ヲ示ス旨報告ノ件

第五五号

(十二月二十三日接受)

莫斯科市會議員改選本月十八日終了シタル処総員百六十名
ノ内実業團即チ右党十一名ニ対シ進歩派即チ左党百四十九
名ヲ占メ前期改選ニ於テ総百四十六名ノ内右党六十八名左
党七十八名ナリシニ比シ左党ノ驚クベキ増加ヲ示セリ此事
タル市民ノ間ニ現政府反対ノ氣勢如何ニ強大ナルカヲ表明
スルモノニシテ当市ガ常ニ全國民ノ意志ヲ代表セルニ鑑ミ
中央政局ノ推移ニ重大ナル影響ヲ及ボサザレバ已マザルベ
シ

(露都經由十二月二十二日第一〇〇二号)

四六〇 十二月三十日

在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛

露国議會ト政府トノ衝突、國民ノ現制度組織

攻撃ノ衝ニ当レル内務大臣「プロトポポフ」氏ハ依然トシ
テ其職ニ留マリテ未タ容易ニ其職ヲ去ルノ模様無シ同氏ハ
閣員中最モ不評判ノ大臣ニシテ而モ其不評判ノ重ナル原因
ハ氏ニ節操ナシト云フ点ニシテ現ニ下院議員「ボープリン
スキー」伯及「ブルイシケイウィッチ」氏ノ如キハ議會ニ
於テ其演説ヲ以テ此点ヲ指摘シテ氏ヲ攻撃シ就中伯ハ「プ
ロトポポフ」氏カ政府ニ在ル間ハ議會ハ政府ト提携スルヲ
欲セスト断言シタリ

斯ノ如ク「プロトポポフ」氏ハ下院ニ於テ常ニ多数黨議員
ヨリ弾劾セラレタルノミナラス又小數黨議員ヨリモ罵詈
ラレテ而モ彈劾罵詈ハ激烈ナルモノアリシヲ以テ世人ハ氏
カ直チニ其職ヲ辞スヘキコトヲ期待シタリ此故ニ氏カ其後
大本營ニ參内スルヤ世人ハ此參内ヲ以テ辞表呈出ノ為メナ
リト憶測シタリ然ルニ豈図ランヤ氏ノ位置ハ參内ノ結果ト
テ反ツテ堅固トナリテ氏ハ其職ヲ辞セサルコトニ決シタリ
ト云フ併シ同氏ニ対スル世間ノ攻撃ハ依然トシテ大ナル為
メ氏ハ大本營ヨリ帰京後総理大臣ヲ訪問シタルノミニシテ
病ト称シテ引籠リ未タ今日マテ一度モ閣議ニ列スルニ至ラ
ス斯ノ如ク同氏ハ病氣ノ為メ本省ニ出勤セスシテ日常ノ事

務ハ次官ヲシテ之ヲ行ハセツツアリト雖重要ノ政務ハ依然氏自ラ之ヲ官舎ニ於テ行ヒツツアリト云フ昨今新聞紙ノ所報ニ依レハ氏ハ病氣全快ニツキ近々県治視察ノ為メ地方ヲ巡回スヘシト云フ

右ノ如ク内務大臣「プロトボポフ」氏ハ未タ其職ヲ去ラサルノミナラス民間ニ信用無キ宗務院長「ラエフ」氏外一二大臣カ何等其職ヲ辞スルノ模様無キコトハ大ニ議會ノ感情ヲ害シタリ之カ為メ其後下院ニ於テハ同院多數黨議員ハ諸法案ノ議事ニ際シ毎回其演說ヲ以テ政府ヲ攻撃スルヲ常トナシ十二月七日同院ニ於テハ刻下ノ大問題タル糧食法案ノ議事開始セラレタルカ同院ハ同月十八日日本問題ノ議事ヲ一ト先ツ終リ改進黨ノ提出ニ係レル決議案ヲ可決シテ次ノ日程ニ移レリ又上院ニ於テハ十二月五日總理大臣「トレポフ」氏ノ施政方針宣言ニ對スル討論開ケ同日同院議院ノ多數ハ下院議員ノ多數ト同一ノ論鋒ヲ以テ政府ヲ攻撃シタリ同九日上院ハ右宣言ニ對スル討論ヲ終ヘテ下院ニ於テ曩ニ可決セラレタル決議案ト大同小異ノ政府反對的決議案ヲ可決シタリ斯ノ如ク上下兩院ニ於テ其議員ノ大多數ハ政府ノ施政方針宣言ニ對シ異口同音ニ政府ヲ攻撃シタルカ其攻撃

ノ要点ハ同一ニシテ各議員皆口ヲ揃ヘテ曖昧暗黒無責任ノ勢力ノ存在ヲ危險ナリトシテ之ヲ一掃スルノ必要急務ナルコトヲ主張セリ

是レマテ下院議員ノ多數カ政府反對的ノ決議案ヲ可決シタルコトハ再々ナリシト雖モ其議員ノ過半数以上カ勅選議員トシテ而モ官僚ヨリ成レル上院カ此種ノ決議案ヲ可決スルニ至リタルコトハ今日マテ之ヲ見ルヲ得サルノ現象ニシテ此事ヤ内外人ノ大ニ注意ヲ要スル所トス上下兩院議員ハ兩院ニ於テ内閣ノ不統一ヲ攻メテ政府ヲ非難スルト同時ニ政府當局者ニ言行ノ一致ヲ促シ且又兩院議員ハ露國ニ曖昧暗黒無責任ノ勢力カ存スルヲ國家ノ為メ危險ナリトシテ之ヲ一掃スルノ必要ヲ説キ就中改進黨ニ屬スル議院等ハ政府ニ求ムルニ同團ノ綱領ヲ採用シテ國民ノ信任アル者ヲ内閣ニ入ルヘシトノコトヲ以テシ殊ニ下院改進黨議員ノ如キハ其持論タル露國ニ責任内閣ノ制ヲ採用スヘシトノ說ヲ主張シタリ

下院立憲民主黨議員ヲ中心トシ同院十月黨以左ノ諸黨議員カ社会民主及労働兩黨議員ト共ニ下院ニ於テ忌憚無く政府攻撃ノ演說ヲナスコトハ敢テ今日ニ始マリタルニアラスシ

テ此等諸黨議員ハ議會ニ於テ是レマテ既ニ常ニ其演說ヲ以テ政府ヲ攻撃スルヲ事トシタリ然レトモ政府黨タル國民黨ニ屬シテ近年ニ至リ政府反對黨タル改進黨ニ加入シテ一派ヲ立テタル國民改進黨及中央兩黨領袖「シュルギン」氏「ボープリンスキー」伯等カ以前ニハ常ニ政府黨議員トシテ政府弁護ノ演說ヲ事トシタルニ拘ハラス今回此等議員カ激烈ナル言辭ヲ以テ政府ヲ攻撃スルニ至リタルノミナラス又同シク現ニ政府黨議員ニシテ而モ右黨ノ領袖タル「ブルーイシケイウィッチ」氏カ今回同黨ヲ脱シテ政府攻撃ノ大演說ヲ為シタリスノ如ク「シルギン」氏「ボープリンスキー」伯等カ政府攻撃ノ演說ヲ為シ殊ニ「ブルーイシケイウィッチ」氏カ同様ニ此種ノ演說ヲ為スニ至リタルコトハ異例ニシテ此事ヤ確カニ露國現制度ノ基礎カ昨今大ニ薄弱トナリタルコトヲ知ルノ現象ト見テ過チ無カルヘシ「ブルーイシケイウィッチ」氏ハ往年官僚保守主義親獨派ノ為政家トシテ而モ

現制度ノ基礎ヲ固メタル故内務大臣「ブレヴェ」氏ノ部下トシテ同大臣ノ政策ヲ援ケタル人トス然ルニ今日「ブルーイシケイウィッチ」氏ハ有力ナル排獨論者トナリテ而モ現制度基礎ヲ不可ナリトシテ政府ヲ攻撃スルニ至レリ抑モ一極

端ヨリ他ノ一極端ニ馳スルハ露國國民ノ性情ノ然ラシムルトコロニシテ親獨派タリシ「ブルーイシケイウィッチ」氏カ今度排獨派ト化シテ熾ニ官僚政府ヲ攻撃スルニ至リシコトヲ以テ如何ニ露國ノ將來カ官僚政府ニ非ナルモノアルヘキカヲ予知スルニ足レリ之ヲ要スルニ上下兩院議員ノ大多數カ總理大臣「トレポフ」氏ノ施政方針宣言ニ對シテ試ミタル演說ニヨリテ昨今如何ニ議會ト政府トノ關係カ非トナリテ而モ險惡ナルカヲ知ルニ足レリ

又先日「ベトログラード」市ニ開催セラレテ此間閉會トナリタル全露貴族聯合會議ノ席上ニ於テハ地方貴族代表者等ハ時局問題ニ関シ政府反對ノ演說ヲ為シ當局者ノ措置ヲ非難シタリ同會議ニ於テ貴族代表者カ現制度組織ヲ非トシテ政府反對ノ演說ヲ為シタルコトハ是レマテ之ヲ見ルヲ得サリシ所ニシテ又以テ如何ニ時勢力變化シ来リシカヲ知ルヲ得ヘシ

如上議會ニ於テ上下兩院議員カ忌憚ナク政府ヲ非難攻撃シ又全露貴族聯合會議ノ席上ニ於テ地方貴族代表者カ政府反對ノ演說ヲ為スニ至リシ所以ハ畢竟政府ノ威嚴カ全ク地ニ墜チテ而モ當局者ニ對スル國民ノ信用カ全ク地ヲ払フニ至

リタルカ為メニ外ナラス抑モ国民力政府ヲ信用セス又下ガ上ヲ輕ンスルコトハ頗ル危険ノコトニシテ殊ニ戰時ニ於テ最モ然リトス然ルニ今ヤ露国ニ此危険實現セリ加フルニ近年露国ニ於テハ曖昧暗黒ノ勢力一掃ノ必要ヲ論スル者多クシテ此等論者ハ同勢力カ皇室ノ周圍ニ根拠ヲ有ストシテ憤慨セリ特ニ茲ニ注意スヘキハ近年露国ニ於テ皇室ニ對スル国民ノ崇敬心カ著シク薄ラキタルコトニシテ就中今度露国カ独逸ト戰爭スルニ至リタル以來皇后陛下ヲ首メ奉リ独逸聯邦ヨリ露国ニ嫁シ来ラレタル諸内親王ニ對シテ国民力惡感ヲ抱クニ至リタルコトニシテ殊ニ皇后陛下ニ對シ奉リテハ一般ニ而モ公然ト不敬ノ言ヲ放チ甚シキニ至リテハ皇后陛下ヲ独逸ヘ追ヒ還スヘシナドノ言ヲ放チテ怪マサルモノアリテ実ニ形勢ノ危険ナルモノアリ刻下ノ形勢既ニ如此次第ナルヲ以テ今度ノ戰爭ノ結果如何ニ依リテハ一般ニ皇室殊ニ皇后陛下ニ對シ奉リテ意外ノ不敬乃至不祥事件發生セストモ保シ難シ故ヲ以テ宮中派人士間ニハ皇室擁護ノ為メ今ヨリ予防策ヲ講スルヲ必要トスルモノアリト云フ是レ即チ露国ニ露独單独平和ノ風説カ再々世ニ行ハレタル所以ナリ斯ノ如ク近来露国ニ大ナル危険カ内部ニ横リテ而モ実現

スルノ兆アルニ至リシハ畢竟国民ト政府トノ一致提携ヲ見ルヲ得サルカ為メニ外ナラス而シテ其然ル所以ノモノハ露国ニ於テハ独逸又ハ英仏ト事情ヲ異ニシ国民ノ多数カ此戰爭ヲ機會トシテ自國ノ現制度組織ヲ變更セント欲シテ而モ此方ニ重キヲ置クノ傾向アルニ反シ国民ノ少数即チ政府ノ当路者及保守派人士ハ内心私カニ現制度ヲ維持シテ自己ノ利益ヲ圖ラント欲スルカ為メ露国ニ於テハ挙国一致ノ実ヲ見ルコトハ目下容易ノコトニアラサルナリ

二、露国々民

露国々民ハ諸種ノ民族ヨリ成リテ其宗教言語風俗歴史慣習等ヲ異ニシテ未タ同化スルニ至ラサルヲ以テ何等共通ノ目的ヲ有セス故ヲ以テ露国々民ノ愛國心ナルモノハ個々別々ニシテ其軌ヲ一ニセス露国現制度組織ノ結果トシテ国民中ニハ自由ニ其意思ヲ發表スルヲ得シテ常ニ仮面ヲ被リテ忠実ヲ裝フ者少カラス此故ニ外ヨリ之ヲ見レハ露国民ハ恰モ共通ノ目的ヲ有スルカ如クニ映スト雖其實ハ之ニ反セリ之カ為メ一朝外ニ事アリテ政府ノ力ガ弱クナルニ至リタル場合ニハ国民ハ直チニ其本色ヲ發揮スルヲ常トス日露戰爭當時ノ露国ハ之カ最近ノ実例ナリ然レトモ今回ノ欧州戰爭

ノ場合ハ右ト全ク其趣ヲ異ニシ日露戰爭當時革命ノ章タル赤旗ヲ翻シテ冬宮ノ前ニ集リ革命ノ歌ヲ奏シテ戰爭反對ノ示威運動ヲ舉行シタル群集ハ今度ノ戰爭開始當時陛下ノ肖像ヲ戴キテ冬宮前ニ集リ国歌ヲ奏シテ万歳ヲ叫ビ以テ戰爭ニ賛成ノ意ヲ表シタリ斯ノ如ク露国々民カ日露戰爭當時ニ在リテ其本色ヲ發揮シタルニ拘ハラス今度ノ戰爭ニ際会シ何等其本色ヲ發揮スルコト無クシテ挙国一致以テ戰爭ニ賛成ノ意ヲ表スルニ至リタル所以ハ其敵國カ独逸ナルカ為メニシテ若シ独逸カ此戰爭ニ参加セサリシ場合ニハ露国々民ハ此戰爭ニ反對シタルナルヘシ独逸ハ露国々民一部ニ對シテハ親交國ナリト雖同國民ノ多数ノ敵タリ故ヲ以テ國民ノ多数ハ此戰爭ニ賛成シテ官民上下挙国一致以テ敵ニ對シ勝利ヲ制スルヲ必要トシ苟モ戰爭ヲ否認シテ之ニ反對ノ声ヲ發スル者ハ勢ヒ世間ヨリ國賊視セラレテ而モ場合ニ依リテハ危害ヲ加ヘラルル程ノ形勢トナルニ至レリ此故ニ所謂親独派人士并ニ露国臣民タル独逸民族ハ自己ノ利益上内心ニハ露国カ独逸ト戰爭スルコトヲ好マサルニ拘ハラスコニハ主戰説ヲ唱ヘツツアリ露国ニ於テハ内心ニ露独戰爭ヲ好マサル者ハ社会ノ上流ニ多クシテ而モ樞要ノ位置ヲ占ムル人

士間ニ少カラスト称セラル此事ヤ此間下院ニ於テ同院議員「ミリュコフ」氏カ試ミタル演説ニテ其一端ヲ知ルニ足レリ斯ノ如ク露国々民ノ一部人士殊ニ樞要ノ位置ヲ占ムル人士間ニ口ニハ主戰説ヲ唱ヘナガラ内心ニハ戰爭ヲ欲セスシテ而モ独露ノ單独平和ヲ希望スルノ人アリト云フコトハ普通外國人ノ了解ニ苦ム所ナリト雖露国ノ如キ諸民族ヨリ成レル國民ヲ有シテ而モ其民族ノ同化未タ成ラサルノ國ニ在リテハ右様ノコトハ当然有リ得ヘキコトトス是レ即チ昨今露国上下兩院ニ於テ兩院議員カ異口同音ニ曖昧暗黒無責任ノ勢力一掃ノ必要ナルコトヲ唱道スル所以トス要之隠レタル独逸ノ勢力ハ露国ニ未タ侮ルヘカラサルモノアリ右隠レタル独逸ノ勢力ハ實ニ其根拠ヲ上ニ有スルノミナラス又下ニ於テモ深キ根底ヲ有ス故ヲ以テ全然其根拠ヲ破リ根底ヲ覆スコトハ容易ノコトニアラサルヘシ露国ニ於テハ独逸民族ハ其國民トシテノ数大ナラスシテ同民族ノ数ハ僅カニ三、〇〇〇、〇〇〇ニ過キスト雖同民族ハ露国社会ノ各方面ニ勢力ヲ有シテ他ノ民族殊ニ露国固有ノ「スラブ」民族ニ比シ優越ノ位置ヲ占ム就中「バルチック」沿岸男爵貴族ノ如キハ特權ヲ有シ露国皇室ノ周圍ニ集リテ皇室擁護

者ヲ以テ自ラ任セリ

斯ノ如ク男爵貴族ハ露国宮中部内ニ勢力ヲ有シテ直接又ハ間接ニ国政ヲ左右ニスルヲ得ルノ位置ヲ占ムルヲ以テ「スラブ」民族中ノ不平家ハ常ニ同貴族ノ勢力ヲ嫉ミ以テ男爵貴族ハ事実皇室ノ擁護ヲ目的トスルモ露国々民又ハ露国其モノヲ少シモ眼中ニ置カサルノミナラス故意ニ露国々民ヲ愚ニシ之ニ教育ヲ与ヘスシテ固有ノ「スラブ」民族ヲ独逸民族ノ奴隸トナサント欲スルモノニシテ要スルニ男爵貴族ハ露国皇室アルヲ知リテ国家アリ又国民アルヲ知ラサル者ナリトノ怨言ヲ吐クニ至レリ此怨言ハ敢テ今日ニ始マリタルモノニアラスシテ歐洲戦争開始前ヨリ之ヲ耳ニスルヲ得タリ又以テ「スラブ」及独逸両民族關係カ露国内ニ於テ如何ニ平時險惡ナリシカヲ知ルニ足レリ此關係ハ開戦後大ニ其險惡ノ度ヲ加ヘ今ヤ独逸民族排斥ノ声ハ国ノ四方ニ高マルニ至レリ

如上開戦前ヨリ露国ニ於テハ独逸民族ハ「スラブ」民族及其他ノ民族ヨリ嫉マレタリト雖独逸民族ハ社会ノ各方面ニ優勢ノ位置ヲ占メ而モ命令者ノ位置ニ在リシヲ以テ何人モ今日ノ如ク公然独逸民族排斥ノ声ヲ発シ得サリキ加フルニ

民族カ其国民トシテノ数僅少ナルニ拘ハラス他ノ民族ニ比シ優越ノ位置ヲ占メシハ畢竟独逸民族ノ智識カ「スラブ」民族其他ノ智識ニ比シ勝レルカ為メナリトハ云ヘ又自己ト同一民族ノ国タル強国独逸カ隣境ニ在リテ而モ其独逸カ歐洲ニ在リテ一方ノ霸權ヲ執リタルカ為メナリト称セラル此理由ヨリシテ露国ニ於テハ今回開戦以來国内ノ独逸民族ハ一般ニ他ノ民族ヨリ所謂独探ノ嫌疑ヲ受ケ殊ニ朝ニ在リテ独逸血統ヲ有シ又ハ独逸的ノ氏名ヲ有スル高等官ハ露国現制度維持ヲ欲スル保守派人士ト共ニ内々裏面ニ於テ敵国独逸ト単独平和ヲ結ハントスルモノナリトノ嫌疑ヲ受ケ酷シキニ至リテハ物価騰貴糧食欠乏鉄道輸送力ノ不足等其他ノ不整頓不始末ハ右高官保守派人士ノ故意ニ出テタルモノナリトノ言ヲ発スルモノアルニ至レリ此言ヤ固ヨリ当ヲ得タルモノニアラサルヘシト雖此中ニハ多少真理ノ含マルヘキヤ勿論ナリト称セラル今回ノ露独戦争ハ露国皇室并ニ現制度ニ対シテハ頗ル危険ノ業タルヲ以テ皇室擁護及現制度維持ヲ旨トスル朝野ノ人士カ内心ニ此戦争ヲ欲セサルヤ当然ナリ然レトモ露国国民ノ大多數ハ此戦争ニ関シテ政府ノ外政策ニ賛成シ赤心ヨリ独逸ノ「ミリタリーズム」ヲ撲滅ス

男爵貴族中ニハ朝野ノ保守主義人士ト共ニ官僚トシテ露独嶼三帝神聖同盟ノ復活ヲ希望スル者多カリシヲ以テ從ツテ露国ニ於ケル独逸民族ノ位置ハ一層旺盛ヲ極メタリ然ルニ開戦後ニ至リ露国ニ於ケル独逸民族ノ位置カ俄ニ一変シ今ヤ同民族ハ縦シヤ實際ニ露国々民トシテ他ノ民族ト共ニ独逸ト戦ヒツアルニ拘ハラス他民族ノ為メニ排斥セラレ他民族ハ独逸民族ヲ以テ敵国独逸ノ利益ヲ計ルモノナリトスルニ至レリ斯ノ如ク独逸民族ハ開戦以來他ノ民族ヨリ独逸視セラレテ大ニ排斥セラレ而シテ其排斥ノ程度ハ露軍カ独逸軍ニ対シテ勝利ヲ制スル毎ニ甚シキヲ加フルノ傾向アリテ現ニ一時露軍カ「カルバート」方面ニ於テ大勝利ヲ制シタル頃ニ於ケル露国内ノ独逸民族排斥熱ハ頗ル高カリキ然ルニ其後露軍敗戦以來独逸民族排斥熱ハ頓ニ其度ヲ減シ来リタリト雖大体ニ於テハ未タ冷却スルニ至ラス右ノ如ク露国内ニ於テハ露軍カ独逸軍ニ対シテ勝利ヲ制スレハ独逸民族ハ他民族ヨリ益々排斥セラレ又之ニ反シ独逸軍カ露軍ニ対シ勝利ヲ占メタル晩ニハ独逸民族排斥熱ハ冷却スルノ傾向アルヲ以テ露国ニ於ケル独逸民族カ其敵国タル独逸ノ大敗戦ヲ好マサルヤ自然ノ勢ナリ現ニ開戦前露国ニ於テ独逸

ルコトヲ欲シテ戦争ニ反対スル者ハ将来ハ兎モ角現在ニ於テハ世ニ容レラレサルノ有様ナルヲ以テ右内心ニ戦争ヲ欲セサル人士ト雖皆口ニハ均シク独逸ノ「ミリタリーズム」ヲ撲滅スヘシト唱ヘツツアリ故ヲ以テ此度ノ歐洲戦争ハ英仏諸国ニ於ケルト同シク露国ニ於テモ亦国民的ナリ併シ乍ラ英仏諸国ニテハ戦争ノ目的カ一ナルヲ以テ此戦争ハ名実両ラ国民的ナリト雖露国ニ於テハ其目的ニ二アルヲ以テ此戦争ハ名ノミ国民的ニシテ未タ国民的ノ実無シ

三、歐洲戦争ト露国々民

凡ソ一国民カ一民族ヨリ成レル国ニ在リテハ對外戦争ハ通常国民ヲシテ国家ノ為メ自国政府ノ政策ヲ支持スルニ至ラシメテ以テ其国ニ官民上下挙国一致ノ実ヲ見ルニ至ラシムルモノナリト雖一国民カ諸民族ヨリ成レル国ニ於テハ對外戦争ハ嘗ニ其国民ヲシテ容易ニ自国政府ノ政策ヲ支持スルニ至ラシメサルノミナラス又場合ニ依リテハ国民中ノ或民族ヲシテ政府カ事ヲ外ニ構フルヲ機トシ政府ニ対シテ反抗ヲ企ツルニ至ラシメテ以テ官民上下挙国一致ヲ見ルヲ得サラシムルコト少カラス露国々民ハ諸民族ヨリ成レルヲ以テ苟モ露国カ国ヲ傾ケテ強外敵ト戦争スルノ必要アル場合ニ

其国民中ノ或民族ハ政府力事ヲ外ニ構ヘテ内ヲ顧ミルヲ得サルヲ機トシ現制度變更又ハ独立運動ヲ企ツルノ危険無シトセス故ヲ以テ露国ニ於テハ対外戦争ハ内政上頗ル危険ノ業トシテ世々政府当局者ハ斯ル危険ナル戦争ヲ避クルノ方針ニ出テタリ然レトモ対外戦争力敢テ国ヲ傾グルヲ要スル程ノ大ナルモノニアラスシテ而モ其戦争力所謂遠征的ニシテ単ニ領土拡張ノ性質ヲ有スルニ過キサルモノタル場合ニハ斯ル戦争ハ内政ニ何等危険ヲ惹起スルコト無クシテ反ツテ政府ノ権力ヲ大ニスルノミナルヲ以テ政府ハ此種ノ戦争ハ自己ノ為メ有利ナリトシテ之ヲ欲シタリ去リ乍ラ斯カル場合ハ先ツ例外ニシテ要スルニ露国ニ於テハ政府ハ内政關係上一般ニ対外戦争ヲ危険トシタリ

以上ハ対外戦争ニ対スル政府ノ態度ニシテ国民モ亦露国ニ於テハ一般ニ対外戦争ニ反対ニシテ殊ニ国民ハ政府ニ有利ナル遠征的ノ領土拡張ノ戦争ニハ大反対ナリ斯ノ如ク露国々民ハ政府力外国ト戦争スルコトニ反対ナリト雖自国政府力独逸ト戦争スル場合ニ此露独戦争ニ対スル国民ノ態度ハ一種特別ニシテ右ト全ク其趣ヲ異ニセリ現ニ露国々民ノ多数ハ平素露国政府力独逸ト戦争スルコトニ大ナル賛成ヲ表

以テ現制度維持ヲ欲セサル露国々民ノ多数ハ此際之ヲ好機トシテ先ツ馬ヲ射テ而シテ後ニ人ヲ射テ以テ根本的ニ自国ノ現制ヲ打破スルノ目的ヲ有スト云フ此故ニ今回ノ歐洲戦争即チ露独戦争ハ現制度打破ヲ希望スル露国々民多数ノ為メニハ復活のナリト雖又現制度ノ維持ヲ欲スル官僚政府即チ国民ノ少数ノ為メニハ自殺のタルヲ免カレス

右ノ如ク今回ノ歐洲戦争ハ官僚政府ノ為メニハ自殺のナルニ拘ハラス何故ニ官僚政府ハ此戦争ヲ極力防止スルノ態度ニ出テサリシカ換言スレハ露国政府ハ何故ニ奥匈国カ「セルビヤ」ト戦争スルコトヲ傍觀セサリシヤト云フニ若シ露国政府ニシテ此際奥匈国ヲシテ「セルビヤ」ト戦争セシメ以テ「セルビヤ」ニ一任シタリシトセハ独逸ハ露国ニ向ツテ宣戦ヲ布告セサリシナルヘク從ツテ歐洲大戦争ハ發生スルコト無カリシナルヘシト雖此場合ニハ露国ハ「バルカン」半島殊ニ「スラブ」民族諸国ニ対スル独逸兩國ノ優越權ヲ認ムルヲ要スルハ勿論又半島全体ヲ小亜細亞ト共ニ独逸ニ一任シテ「ダルダネルス」及「ボスフォル」ノ両海峡及「コンスタンチノーブル」ノ領有ヲ永久ニ断念セサルヲ得サリシナルハシ尤モ露国ニ於テ所謂親独派人士トシテ独逸ノ東

シテ同戦争ヲ是認シ之カ為メ議會ハ歐洲戦争前露国ノ軍備擴張法案ヲ可決シタリ

如上露国々民ノ多数ハ政府力独逸ト戦争スルコトヲ予メ是認セルカ為メ今度露国カ独逸ト戦争スルコトト成ルニ至ルヤ国民ノ多数ハ其政見主義目的ノ如何ヲ問ハス自国政府ノ外政策ニ賛成シテ以テ露独戦争ヲ是認シタリ国民ノ多数カ同戦争ヲ是認スル所以ノモノハ此戦争カ内政關係上国民多数ノ為メニ有益ナレハナリ尤モ此戦争ニテ国民ハ大ナル犠牲ヲ払フヲ要スト雖モ其代償トシテ国民ノ多数ハ露国ノ現制度組織ヲ變更スルノ目的ヲ達スルヲ得ヘケレハナリ斯ノ如ク露独戦争ハ露国ノ現制度ノ變更ヲ希望スル国民多数ノ為メニハ有利ナリト雖政府殊ニ現制度ノ維持ヲ欲スル官僚保守派人士ノ為メニハ大ニ不利ノモノトス何トナレハ露独戦争ハ露国ノ現制度ニ対シテ大ナル打撃ヲ与フヘキモノナレハナリ

抑モ露独ノ親交ハ露国政府ノ現制度ヲ維持スル上ニ於テ露国ニ必要ナルモノニシテ又露国ノ現制度ヲ維持スルハ独逸ノ政策ニ必要ナルモノナリ然ルニ今回露国政府ハ露国ニ現制度ヲ維持セシムルヲ自己ノ為メ利益トスル独逸ト戦フヲ

漸ハ自然的ニシテ人カヲ以テ之ヲ如何トモシ難シトノ意見ヲ有スル者ハ夙ニ半島ヲ独逸ニ一任シテ可ナリトノ説ヲ有シタリト云フト雖露国々民ノ多数ハ此説ニ反対ナリキ此故ニ千九百十四年ノ夏ニ於テ若シ露国政府カ奥匈国ノ「セルビヤ」ニ対スル最後通牒ヲ默認シテ消極的態度ニ出テタリトセンカ此場合ニハ露国政府ハ今回ノ歐洲大戦争ノ發生ヲ防止スルコトヲ得タリトシテモ露国々民ノ多数ハ政府ノ外交ヲ軟弱ナリトシテ外務当局者ヲ熾シニ攻撃シタルナルヘシ其結果少クトモ時ノ外務大臣「サザノフ」氏ハ其職ヲ辞セサルヲ得サルニ至リシナルヘシ然ルニ氏ハ積極的外交ニ出テテ而モ「セルビヤ」ヲ援助スルノ政策ニ出テタルヲ以テ露国々民ノ多数ハ氏ノ外交政策ヲ歡迎シテ殊更ニ氏ヲ稱賛シタリ乍併国民ノ一部殊ニ所謂宮中派人士ハ「サザノフ」氏ノ積極的外交政策ヲ喜ハスシテ之ヲ以テ露国ノ現制度維持ヲ困難ナラシムルモノナリトシテ当初ヨリ陰然之ニ反対シタリト云フト雖當時露国ノ輿論ハ早ヤ既ニ積極的外交乃至主戰説ニ傾キ平素非戰論ヲ主張スル政府反對党ハ極力政府ノ積極的外交ヲ支持シテ而モ非戰論ヲ唱フル者ハ独探視セラレ又国賊ヲ以テ目セラルルノ勢ナリキ故ヲ以テ露

独戦争ヲ内心ニ於テ非トスル人士ト雖其意ニ反シテ口ニハ主戦論ヲ唱ヘタリト称セラル

斯ノ如ク歐洲戦争即チ露独戦争ハ露国ノ現制度維持ヲ困難ニスルモノナルカ為メ此戦争ハ内政關係上露国々民ノ多数ニ対シテハ利益ノモノタルヘキモ国民ノ小數換言スレハ官僚官中派保守党人士ニハ不利益ナルモノナルヲ以テ当初宮中部内ニ於テハ勿論府中部内ニ於テモ亦露独戦争ニ反对シタル人士無キニシモアラサリシト云フト雖此等人士中ニハ何人モ忌憚無ク堂々ト自己ノ意思ヲ發表シ得ルノ人士無カリシニ加ヘ内閣ハ不統一ニシテ閣員ハ各々皇帝ニ直奏シテ自己ノ政策ヲ行ヒタルカ為メ戦争ハ遂ニ防止セララルニ至ラサリキ然ルニ若シ露国内閣ニ統一アリテ而モ其内外政策カ名実共ニ一ニ閣議ヲ經テ總理大臣ヨリ上奏セラレテ裁可ヲ乞ハルルコトト成リ居リタリシトセハ「サザノフ」氏ノ積極的外交ハ或ハ時ノ司法大臣「シチエグロウイートフ」、内務大臣「マクラコフ」諸氏ヨリ反对ヲ受ケテ遂ニハ物トナラサリシヤモ計リ難カリシト雖露国ノ内閣ハ故總理大臣「ストルイピン」氏死去後爾來全ク統一ヲ欠キテ恰モ無キカ如キ状態ニシテ日露戦争開始當時ト殆ント同一ナリト評ス

ルモ亦過言ニアラサルヲ以テ今回戦争ハ容易ニ發生スルニ至リタル次第ナリト称セラル要之今回ノ戦争ハ露国々民ノ多数ノ為メニハ必要上而モ一定ノ目的アリテ發生シタルモ国民ノ少數即チ官僚官中派保守主義人士ニ対シテハ害ニ必要タルニ止マラスシテ有害ノモノニ外ナラストノ同人士等ノ見解ヨリシテ露独戦争ノ發生ハ此等人士間ニ於テハ一種ノ誤解間違ヒ事ニ外ナラストノ断定ヲ下ス者無シトセス斯ノ如ク露独戦争ノ發生ハ国民一部人士ノ為メニハ誤解間違ヒノ結果ニ外ナラスシテ騎虎ノ勢ヲ以テ今日ニ至リタルモノナリトスルモ国民多数ノ為メニハ此戦争ハ内政問題解決ノ具トシテ必要ナルモノナルヲ以テ国民ノ多数ヲ代表スル下院改進黨ニ屬スル人士ハ同団カ組織セラルル前ヨリ政府反对党ニ在リ乍ラ政府ノ外交政策ニ賛成シテ「サザノフ」氏ノ積極的外交ヲ支持シタリ殊ニ此等人士ハ開戦前ニ於テ時ノ軍事当局者ノ説明ニテ自国ノ軍備ハ充実シテ此点ニ於テハ露ハ独逸ヲ凌駕スルモノナリト確信シ從ツテ露独戦争ハ当然自国側ノ勝利ニ歸シテ而モ二年ヲ出テスシテ終局ヨ告クヘシト察シタリ故ヲ以テ同人士ハ此際政府ヲ支持シテ独逸ノ「ミリタリーズム」ヲ撲滅シ而シテ戦後之カ支

持ノ代償トシテ政府ヨリ一定ノ内政改革ヲ要求スルヲ以テ得策トシタリ尤モ戦争開始当初此等人士中ニモ社会民主及労働両黨員ト同シク苛モ政府カ国民ノ力ニ依頼セスシテ専ラ自己ノ力ヲ以テ外敵ト戦ヒテ勝利ヲ制シタル場合ニハ仮令国民カ戦争ヲ支持シテ声援ヲ与ヘタリトシテモ政府ハ戦後ニ至リ国民ニ何等ノ代償ヲモ与ヘサルヘキヲ以テ若シ此代償ヲ要求スルモノトスレハ其時期ハ戦争中ノ今日ニ如カストノ意見ヲ主張シタル者アリシト云フ然レトモ此等人士ノ大多数ハ露国民ノ進歩発達ヲ妨ケテ露国ノ利益ヲ蚕食セシカ為メ露国ニ現制度ヲ維持セシメントスル独逸カ此度ノ戦争ニテ敗戦スルニ至レハ露国官僚保守派人士ハ当然独逸露三帝神聖同盟ノ復興ヲ夢ミル能ハサルヘキヲ以テ其咄ニハ国民ハ容易ニ内政改革ニ関スル要求ヲ政府ニ容レシムルヲ得ヘキヲ以テ寧ロ此際最初ヨリ何等要求ヲ提起スルコト無クシテ單純ニ政府ヲ道德的ニ支持スルニ如カストノ意見ヲ有シタリト云フ同意見ハ其後直チニ政府反对諸黨員間ニ勢力ヲ得テ間モ無ク実現スルニ至リ茲ニ於テ国民ハ此戦争ヲ是認シテ戦争ニ関シテ政府ヲ道德的ニ支持スルニ至レ

然ルニ其後露軍敗戦ノ結果トシテ露国ニ實際軍備カ充実シ居ラサリシコト明白トナリタルト同時ニ此儘ニテハ露軍カ急ニ独逸軍ニ対シテ勝利ヲ制スルコト能ハサルコト力蔽フヘカラサルノ事実トナルニ至ルヤ露国々民ハ此戦争ヲ是認シタル關係上はレマテ通りニ事ヲ政府ニ一任スルヲ危険ナリトシテ自ラ進ンテ兵器彈藥ノ製造及物資ノ供給ニ嘴ヲ容ルルノ必要ヲ認メタリ又政府ノ側ニ於テモ此事ニ関シテハ自ラ進ンテ国民ニ物質的ノ支持ヲ求ムルノ已ムヲ得サルコトトナリタルヲ以テ是レマテ国民ヨリ物質的ノ支持ヲ求メテ国民ニ兵器彈藥ノ製造及物資供給等ノ問題ニ嘴ヲ容レシムルハ国家将来ノ為メニ危険ナリトノ意見ヲ有シタル政府ハ今ヤ国民ニ右問題ニ嘴ヲ容レシメテ物質的ノ支持ヲ求ムルコトトナリタリ茲ニ於テ是レマテ戦争ニ関シテ道德的ニ政府ヲ支持シタル国民ハ物質的ニモ亦政府ヲ支持スルコトトナレリ之カ為メ当初戦争ニ賛成シ政府ヲ支持シテ戦後ニ至リ之カ支持ノ報償トシテ政府ニ内政改革ヲ要求スルコトニ決心シタル露国々民ハ今ヤ物質的ニ政府ヲ支持スルノ条件トシテ戦争ノ終局ヲ俟タス直チニ一定ノ要求ヲ提起スルニ至レリ斯ノ如ク国民ハ是レマテ戦争ニ関シ單ニ道德上政

府ヲ支持シタリシモ今ヤ物質上之ヲ支持スルニ至リタルヲ以テ当初ヨリ名ノミ国民的ニシテ国民的ノ実無クシテモ事足りタル歐洲戦争ハ名実兼備ノ国民的戦争ト化セサルヲ得サルコトトナリタリ

国民カ此戦争ヲ名実両ラ国民的トシテ而モ国民カ物質的ニ犠牲ヲ払ヒテ政府ヲ支持スルコトハ露国政府ノ今日大ニ希望スル所ナリト雖政府ハ国民カ現制度組織ヲ變更スルノ条件ヲ以テ政府ヲ物質的ニ支持スルコトヲ欲セサルナリ然レトモ国民ノ支持ハ今日政府ニ必要ナルヲ以テ政府ハ議會ト妥協ヲ欲スト雖妥協ノ条件カ過大ナリトシテ政府ハ容易ニ之ヲ容ルルヲ欲セス故ヲ以テ議會ハ政府ト衝突シテ官民上下挙国一致ノ実ヲ見ルニ至ラス從ツテ戦争ハ名ノミ国民的ニシテ未タ国民的ノ実ヲ有スルニ至ラス之カ為メ戰線軍隊内ノ空氣ハ縦シヤ健全ナリトシテモ背後ノ空氣不健全ナルヲ以テ国民ハ糧食欠乏物価騰貴等ノ為メニ生活ニ困難シテ不平ヲ訴ヘ不満ヲ漏ラス者少カラス斯カル状態ニテハ露国カ独逸ニ對シテ勝利ヲ制スルコトハ容易ノコトニアラサルヲ以テ此際官民上下挙国一致ノ実ヲ見ルニ至ラシムルコトハ露国刻下ノ急務トス物価騰貴糧食欠乏ノ原因ハ種々ナリ

ト雖制度組織ニ不可ナルモノアルコトハ之カ重ナル原因ノ一ニシテ此制度組織カ其宜シキヲ得ルニ至レハ物価騰貴糧食欠乏等モ今日ノ如キ甚シキ状態ニ至ラサルヘキト同時ニ露国カ独逸ニ對シテ勝利ヲ制スルコトモ強チ難事ニアラサルヘキモ今日目前ニ急ニ戰場ニ於テ独逸ヲ屈伏セシムルコトハ難カルヘシ然レトモ露国ハ独逸ト異リ農牧産国トシテ糧食ニ富ミ且又尚充分ニ壯丁ヲ有スルヲ以テ制度組織其宜シキヲ得テ分配供給ノ方法備ハルニ至レハ露国ニ糧食ノ不足ヲ来スカ如キコト万々之レ無カルヘキヲ以テ縦シヤ露国カ独逸ニ對シテ戰場ニ於テ急ニ勝利ヲ制スルヲ得ストシテモ露国ハ戦争ヲ永ク継続シ持久戰ヲ以テ勝利ヲ制スルヲ得ヘシ併シ之カ為メニハ今日ノ如キ状態ニテハ不可ニシテ先ツ第一ニ官民上下挙国一致ノ実ヲ全フシ次ニ露国ノ無限ナル民力ヲ一団トナシテ之ヲ組織的ニ活動セシムルノ方法ヲ講スルコト必要ナリ

テ小敵ト雖場合ニ依リテハ容易ニ露国ヲ破ルコトヲ得ヘシ斯ノ如ク露国ニ於テ民力カ集合セスシテ四方ニ離散スルコトハ其制度組織ノ罪トス然ルニ若シ一朝露国ニ於テ其制度組織カ改善セラレテ民力カ集合スルニ至ランカ如何ナル大敵ト雖容易ニ露国ヲ破ル能ハサルヘシ現在露国ノ制度組織ハ實際其国民タル諸民族ヲシテ悉ク露国ヲ自国ト思フコトヲ得サラシムルモノニシテ現ニ露国ニ於テハ露国ハ「スラブ」民族ノ露国ナリトノ狹隘ナル国民主義ニ基キテ或民族ハ其權利ヲ制限セラレ而モ政治問題ニ関シテハ充分ニ嘴ヲ容ルルノ自由ヲ有セサルナリ故ヲ以テ此等民族ハ自ラ進ンテ其力ヲ國ノ為メニ尽スニ由無クシテ自然「コスモポリット」トナルノ傾アリ然レトモ諸民族各自ヲシテ露国ヲ自国ト思ハシムルニ足ルノ制度カ露国ニ設ケラルル場合ニハ諸民族ハ自ラ進ンテ其力ヲ國ノ為メニ尽スヘキヲ以テ官民上下挙国一致ノ実ハ容易ニ之ヲ見ルヲ得ヘシ從ツテ今回ノ戦争ニ際シテモ背後ノ不始末ハ今日ノ如キ程度ニ立至ラサリシナルヘシ

勝利ヲ制スルヲ得ストシテモ持久戰ニ於テ敵ヲ疲ラシテ勝利ヲ制スルヲ得ヘシ然レトモ之カ為メニハ現制度組織ヲ一變スルノ必要アリ若シ否ラサル場合ニハ国内不穩トナリテ露国ハ持久戰ニ於テモ亦勝利ヲ制スルヲ得サルヤモ計リ難シ之カ為メ多少ニ拘ハラズ現制度組織ヲ革ムルコトハ露国刻下ノ急務トス併シ乍ラ現制度ヲ一變スルコトハ舊ニ政府ニ對スル大ナル打撃タルノミナラス又此事ヤ遂ニハ皇室ニ危險ヲ及ボスニ至ルヘシトノ見解ヨリシテ官僚ハ宮中派保守主義人士ト共ニ現制度組織變更ノコトニ極力反對シツツアリ故ヲ以テ四方ニ離散セル国民ノ力ハ未タ容易ニ集合シテ組織体ヲ構成スルニ至ラス從ツテ不平ヲ訴フル者ノ數ハ次第ニ増加スルノ傾アリ斯カル状態カ今後永ク継続スル場合ニハ戰爭中露国内ニ如何ナル事變發生セストモ保シ難キヲ以テ昨今官僚間ニハ此際政府ハ或程度マテ議會ニ讓歩シテ議會ト妥協スヘシトノ説ヲ主張スル者アリト云フト雖官僚ノ大部分ハ議會ニ讓歩セハ議會ハ更ニ新要求ヲ提起シ来リテ停止スル所無カルヘシトシテ妥協説ニ反對セリト云フ加フルニ官僚中二三ノ人士ハ現制度ヲ變更スル位ナレハ独逸ト單独講和スルニ如カストノ意見ヲ未タ抱持スト云フ然

レトモ昨今ノ勢ニテハ単独平和ハ到底不可能ニシテ政府カ若シ単独平和ヲ締結セント欲スル場合ニハ国民ハ直チニ蜂起シテ革命ヲ起スヘキヲ以テ同意見ハ到底今日實現セラレ得ルノ見込無シ故ヲ以テ官僚中ノ重ナル人士ハ今日政府カ危険ヲ冒シテ独逸ト單独講和ヲ為サストモ孰レ遠カラス国民ハ物価騰貴糧食不足ノ為メ生活困難ノ余リ戰爭ニ飽キテ自ラ平和ヲ叫ビ出スヘキヲ以テ其時ニ於テ政府ハ講和ノ責ヲ自ラ負ハスシテ平和ヲ締結スルニ如カストノ意見ヲ有スト云フ斯ノ如ク国民カ平和ヲ叫ビ出ス場合ニハ政府ハ或ハ單独平和ヲ独逸ト締結スルヲ得ヘシト雖今日ノ形勢ニテハ此種ノ場合ハ急ニ到來スルノ模様無シ尤モ露国民ハ一般ニ平和ヲ希望スルモ戰爭ノ目的カ複雑ナルニ加ヘ今日此儘ニ平和ヲ締結セハ何等ノ目的ヲモ達シ得サルヘキヲ以テ露國ニ於テハ社会党ノ一部人士ヲ除ク外未タ何人モ平和ヲ口ニスルニ至ラス

既ニ述ヘシ如ク露独戰爭ハ露國々民多數ノ是認スル所ニシテ此等國民ノ多數ハ飽クマテ独逸ヲ屈伏セシムルヲ目的トスト雖必ズシモ之ノミカ右露國々民ノ戰爭ノ唯一ノ目的ニアラスシテ此外ニ目的ノ存スル在リ此目的ハ即チ露國ノ現

制度組織ヲ一変スルコトニシテ而モ此目的ハ自由改進黨人士ニ對シテハ寧ロ主タルモノトス故ヲ以テ此等人士ノ多數ハ若シ露國カ独逸ト戰爭スルヲ要セスシテ此目的カ達シ得ラルル場合ニハ此戰爭ニ反對シタルヤモ計リ難カリシナリ此等人士カ露独戰爭ニ賛成セシハ露國政府カ独逸ト戰爭スルコトハ政府カ自ラ現制度ノ基礎ヲ危険ナラシムルモノニ外ナラサルヲ以テ此戰爭こそ現制度組織ヲ改善スルノ好機會ニシテ又場合ニ依リテハ之ヲ根本的ニ打破スルノ好機會トナシタレハナリ此ノ如ク自由改進黨人士カ露独戰爭ヲ是認セシハ内政問題ニ關係シテ現制度一変打破ノ為メナルヲ以テ此等人士ハ官僚カ現制度維持ノ為メ独逸ト單独平和ヲ締結セントスルコトニ極力反對シテ此際戰爭ヲ繼續シテ独逸ヲ充分ニ屈伏セシムルコトヲ必要トセリ要スルニ露國々民多數ノ希望ハ独逸ヲ屈伏セシメテ且ツ露國ノ現制度ヲ打破スルニ在ルヲ以テ此等國民多數ハ国内ニ不意偶然ノ出來事無キ限り何レカノ目的即チ独逸屈伏又ハ現制度打破ノ何レカノ一ノ目的ヲ達スルマテ戰爭ヲ繼續スルナルヘシ

カラサルヲ以テ同制度組織ノ維持ヲ欲スル官僚殊ニ独逸派ハ独逸ヲ程度以上ニ屈伏セシムルコトヲ欲セサルナリ何トナレハ独逸ハ自己ノ利益ノ為メ露國ニ現制度ヲ維持セシムルヲ欲シ而シテ此独逸ノ希望ハ露國官僚ノ目的ニ符合スルヲ以ナリ此故ニ世間ニ於テハ此等官僚ハ上下ノ親独派人士ト共ニ陰ニ陽ニ敵國ノ利益ヲ計リツツアリト說ヲナス者少カラス此等ノ說ヲナス者ノ言ニ依レハ露國背後ノ不整頓即チ糧食欠乏物価騰貴等ハ右人士ノ投機商人独逸銀行家等ト提携シテ露國民ヲシテ生活困難ノ余リ政府ニ向ツテ平和ノ締結ヲ要求セシメンカ為メノ故ノ「プロウオカーチャ」ナリトアレトモ此說ハ少シク極端ニシテ容易ニ信ヲ措キ難シ然レトモ露國ノ如キ其國民中ニ複雜ナル異分子ヲ有スル國ニ於テ此種ノ傾向アルコトハ怪シムニ足ラサルナリ露國ハ農業國トシテ而モ糧食ヲ外國ニ輸出シテ國家經濟ヲ維持スルノ國ナルヲ以テ露國ニ糧食品欠乏スヘシトハ戰前何人モ考ヘサリシ所ナリ然レトモ独逸ハ平素糧食品ヲ露國ヨリ仰キタルヲ以テ世人ハ此度ノ戰爭ニテ独逸こそ糧食ニ欠乏シテ到底戰爭ヲ永ク繼續シ得サルベシト考ヘタルモ豈國ランヤ独逸ニ糧食足りテ露國ニ糧食不足シ今ヤ糧食問題

ハ露國朝野ノ一大問題トナルニ至レリ斯ノ如ク平年ニ於テ糧食品ヲ有セスシテ外國ヨリ輸入ヲ仰ク独逸ニ於テ兎モ角モ糧食品カ足りテ独逸カ戰爭ヲ繼續シ得サル程ノ困難ノ境遇ニ立至ラサルハ畢竟独逸ニ官民上下挙國一致成リテ而モ萬事組織系統的ニシテ國民力愛國心ニ富ムカ為メニ外ナラス又露國カ實際ニ糧食品ヲ国内ニ有シ乍ラ之カ不足ヲ感スルハ畢竟露國ニ官民上下挙國一致ノ実無ク萬事不組織不系統的ニシテ而モ國民ニ共通ノ愛國心無クシテ加フルニ交通不完全輸送力不足ナルカ為メニ外ナラス要スルニ露國ト独逸トハ萬事正反對ニシテ而モ兩者相違ノ因テ来リシ原因ハ独逸ニハ國民ハ一民族ヨリ成リ而シテ其國民ハ独逸カ戰爭ニ負クレハ其國カ滅亡スヘキコトヲ念頭ニ置クニ反シ露國ニハ國民ハ諸民族ヨリ成リテ而モ其國ノ制度組織ハ或民族ニ厚クシテ又或民族ニ薄キカ為メ國民ノ多數ハ常ニ現制度ヲ打破シテ新制度ヲ設クルコトヲ希望スルノ余リ今回ノ戰爭ヲ機會トシテ之カ目的ヲ達セント欲スルヲ以テナリ

右ノ如ク現制度ヲ打破シテ露國ヲ新制度ノ國トナスコトハ國民多數ノ希望スル所ナリト雖露國內ノ諸民族一同ニ均一ノ満足ヲ与フルノ制度ヲ發見スルコトハ頗ル困難ナルヘシ

露國ノ現制度組織ニ欠点アルコトハ事實ナリト雖國民多數カ今日要求シツツアル制度ハ果シテ露國ノ国情ニ適合スルヤ否ハ疑問ナリ然レトモ現制度組織ニ既ニ欠点アリテ而モ之カ為メ國民ノ代表者タル議會ハ政府ニ行政改革ヲ要求シテ此要求カ政府ニ容レラレサレハ政府ト提携セスト宣言シタル以上ハ政府ハ露國カ目前ニ大戦争ヲ控フル關係上此際議會ニ讓歩シテ議會ト妥協スルノ外無カルヘシ然レトモ内閣ハ未タ今日マテ讓歩ノ態度ニ出テスシテ政府ト議會トハ依然衝突中ナリ尤モ政府ハ一時讓歩ノ態度ヲ示シタルモ其後更ニ其態度ヲ強フシ現ニ此間政府カ「モスクワ」ニ於テ開カレタル全露地方代表者會議及全露市代表者會議ニ對シテ執リタル措置ハ之カ一例ニシテ此措置ハ政府ニ對スル國民ノ感情ヲ大ニ害スルノ因トナリタリ此外政府カ市都ニ於テ言論取締ニ関スル嚴酷ナル予戒令ヲ發布シ又投機疑獄事件ノ張本人トシテ本夏獄ニ繋カレタル銀行家「ルビンスティン」カ仮出獄ヲ許サレタルコト等ハ更ニ一層國民ノ感情ヲ害シ殊ニ内務大臣「プロトポポフ」氏カ其職ヲ去ルノ模様無キコト等ハ政府ニ對スル議會ノ感触ヲ大ニ害シタリ

是レヨリ先キ議會カ現「トレポフ」内閣ト衝突シテ決議案ヲ可決スルニ至ルヤ世人ハ國家艱難ノ今日政府ト議會トヲ是非トモ妥協セシムルノ必要アルヲ以テ當時戰地ヨリ王村ニ御還幸中ナリシ皇帝ハ十二月十九日御聖名ノ祝日ヲ期シ車駕ヲ議會ニ枉ケサセラレテ上下兩院議員一同ニ優渥ナル詔勅ヲ下シ賜フヘントシテ十九日ヲ期シタリ然ルニ皇帝ハ右祝日ノ前日即チ十二月十八日王村ヲ發シテ戰地ニ向ハレタリ此事ヤ皇帝ニ對シ奉ル下院議員一般ノ感情ヲ害シ同議員等ハ之ヲ以テ皇后陛下ノ御意ニ出テタルモノナリトシテ皇后陛下ヲ恨メリ尚此外ニ皇帝カ世間ニ於テ例ノ「ラスプーチン」ト同シク問題ノ人タル「ペトログラード」大主教「ブチリム」ニ詔勅ヲ下サレタルコトモ亦皇室ニ對シテ議會ノ感触ヲ害スルノ因トナリ議會ハ右等ノコトヲ以テ議會ニ對スル皇帝ノ一種ノ「デモンストラシヨン」ナリトセリ斯ノ如ク議會ハ政府ト衝突シテ政府ト議會トノ關係ハ頗ル險惡ナルヲ以テ此有様ニテハ官民上下挙國一致ノ実ヲ見ルコト能ハサルヘキハ勿論又其衝突ハ何時破裂セストモ保シ難ク加フルニ近來社会民主及労働両党ハ労働者職工間ニ大ナル勢力ヲ扶植スルニ至リタリト稱セラルルヲ以テ何時最

後ノ手段ニ訴ヘテ労働者職工等ニ政治的同盟罷工ヲ起サスルヤモ計リ難シ併シ乍ラ幸ナルコトニハ戰時産業動員ノ結果トシテ職工労働者ノ給料ハ比較的大ナル増加ヲ來シ從ツテ彼等ノ生活狀態ハ國家ノ健全分子タル中流社会ノ生活狀態ノ右ニ出ツルカ為メ物価騰貴シテモ彼等ハ未タ左程大ナル苦痛ヲ感スルニ至ラスト云フ此故ニ社会民主及労働両党ハ彼等ヲ未タ煽動スルニ至ラサルモ近來両党ハ政府ニ對シテ大ニ激昂シ來リタルヲ以テ右両党ハ何時彼等ヲ煽動スルノ拳ニ出テストモ保シ難シ又近年軍隊内ノ空氣ハ旧ト一變シタリト稱セラルルヲ以テ政府反對党ハ之ヲ機トシ軍隊内ニ自党ノ勢力ヲ扶植スルノ方法ヲ講シツツアリト云フ以上ノ形勢ナルヲ以テ世人ハ一般ニ異口同音ニ露國ニ於テハ戰爭中カ又ハ戰爭後ニ革命ハ免ルヘカラストセリ然レトモ此革命ハ現政府ニ對シテハ固ヨリ大打撃ナルモ露國ヲ進歩セシムルノ一徑路ニ外ナラスシテ敢テ露國ヲ滅亡セシムルモノニアラサルヘキヲ以テ識者ハ露國ノ將來ヲ樂觀シテ而モ斯カル革命ハ露國ノ發達ニ当然伴フヘキモノトセリ又此等識者ハ露國ハ「クリミヤ」戰爭ニテ農奴制ヲ廃止スルヲ得又日露戰爭ニテ立憲君主制ヲ得タルヲ以テ今度ノ戰爭ニテ

ハ当然是レ以上ノモノヲ得ヘントシテ露國ノ將來ヲ樂觀セリ

今度ノ戰爭ニテハ兩交戰國トモ早ヤ既ニ今日マテ精神的及物質的ニ大ナル損失ヲ蒙リタルカ就中精神的ニ最モ大ナル損失ヲ蒙リタル國ハ發達進歩ヲ極メタル英仏独諸國ニシテ進歩發達ニ後レ居レル露國ハ此点ニ於テハ嘗ニ損スル所無キノミナラス反ツテ利益シタリ現ニ露國ハ此戰爭カ原因トナリテ將來發達進歩スルノ傾向ヲ有セリ又露國ハ兩交戰諸國ト同シク今度ノ戰爭ニテ是レマテ既ニ莫大ナル財政上ノ負担ヲ有スルニ至リタルモ戰後其負債ヲ償却シテ財政ノ恢復ヲ計ルコトハ他ノ諸國ニ比シテ案外ニ早キヤモ計リ難シ何トナレハ露國ハ天産ニ富ミテ開發スヘキ富源ハ殆ント無尽蔵ナリト雖是レマテ内政關係上政府ハ容易ニ何人ニモ之ヲ開發セシムルコト無クシテ特ニ「コンセシヨン」ヲ与ヘテ之カ開發ヲ許可シタルノミナレトモ今回國庫ノ負担重クナリタルニ就テハ負担償却財政整理上右天産ヲ自由ニ開發セシムルノ必要アルヲ以テ將來露國政府ハ天産開發ヲ奨励スル為メ一方ニハ鉄道ヲ布設シテ交通ヲ便ニスルト同時ニ又他方ニハ株式諸会社創立天産採掘等ニ関スル現行法ヲ改

正シテ是レマテノ願出「コンセション」主義ヲ廢シテ準則主義ヲ採用スルニ至ルヘシ果シテ然ラハ今日マテ開發ヲ許可セラレサリシ天産ハ次第二開發セラレ從ッテ露国ノ国庫

ハ富ミテ負債ハ容易ニ償却セラレテ財政ハ速カニ恢復セラ
ルルニ至ルヘシ

事項一七 「メキシコ」革命動乱關係一件

四六一 一月八日 在ロスアンゼルス大山領事代理ヨリ
石井外務大臣宛

墨国ノ一部米国ニ割讓計畫ニ關スル新聞記事
送附ノ件

公第四号 (二月十二日接受)

大正五年一月八日

在ロスアンゼルス

領事代理副領事 大山 卯次郎 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

合衆国「アリゾナ」州知事及同地商業団体ニ於テ北「メキシコ」ノ一部ヲ同国ニ割讓セシメ之レヲ「カリフォルニヤ」及「アリゾナ」ノ兩州ニ併合シ以テ曩ニ合衆国力墨国内乱ヨリ受タル損害補償ニ充填セントノ計畫アル旨本月五日当地発行ノ米紙「タイムス」ニ記載致候間為御参考右切抜御送付申進候 敬具

附 属

一、新聞切抜 一葉

一七 「メキシコ」革命動乱關係一件 四六一 四六二

本信發送先 在米大使、在墨国公使
註 新聞切抜省略

四六二 二月三日 在墨国岩崎臨時代理公使ヨリ
石井外務大臣宛

カランサ政府汎米諸国ニ依ル承認後ノ形勢ニ
關シ報告ノ件

公第一八号 (三月九日接受)

在 墨

臨時代理公使 岩 崎 三 雄 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

「カランサ」將軍ハ昨年十月十九日汎米諸国ノ承認ヲ得テヨリ政府ヲ当首府ニ移スト同時ニ「ウエラクルス」「モンテレイ」等ヲ巡回シツツアル趣ハ曩キニ公第八五号ヲ以テ及報告置候処其後同將軍ハ引統キ北部諸州ノ重ナル都市ヲ巡回シ到ル処盛大ナル歡迎ヲ受ケ当首府ニ於テモ幾十ノ凱旋門ヲ設ケ「カランサ」將軍歡迎ノ熱心準備中ニ有之候処同將軍ハ首府ヲ当分「ケレタロ」ニ置クト称シ同市ニ在リ

五四九